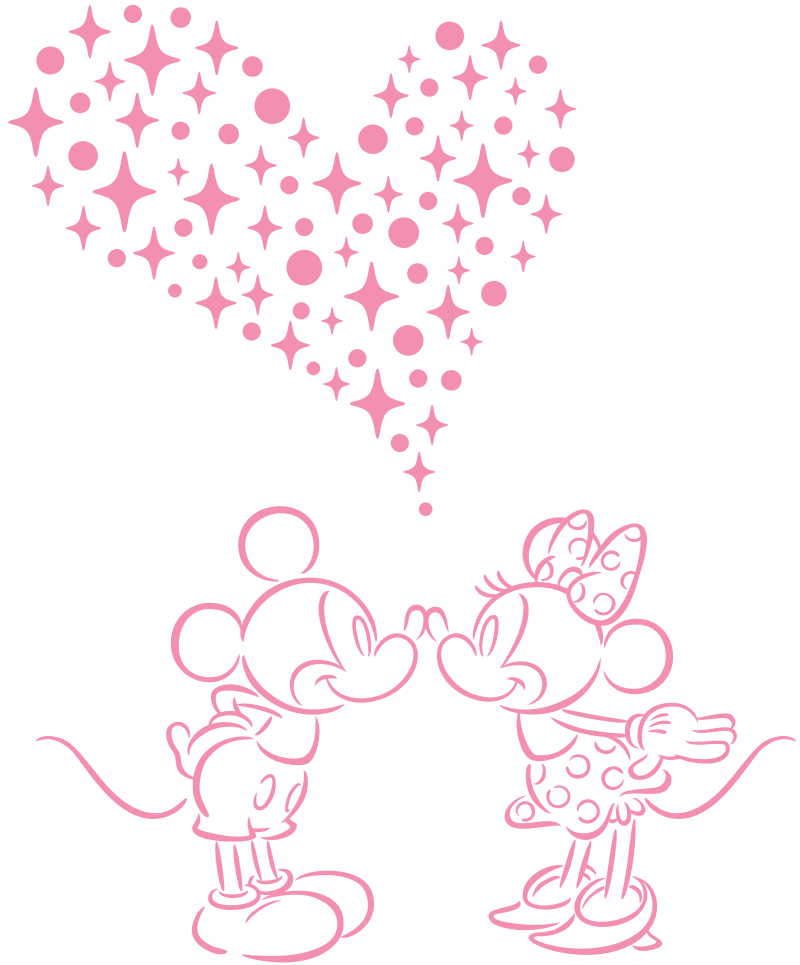
DM-02H

取扱説明書　’16.6



Disney mobile on docomo

© Disney

はじめに

DM-02Hをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作説明

本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。また、本端末から取扱説明書の最新情報を見ることができます。

■**「クイックスタートガイド」（本体付属品）**
各部の名称と機能について説明しています。

■**「取扱説明書」（本端末のアプリ）**
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ホーム画面で「アプリ」▶「取扱説明書」
※「取扱説明書」アプリを削除した場合、再度インストールするには、ホーム画面で「Playストア」から「DM-02H取扱説明書」で検索し、「取扱説明書」アプリをダウンロードしてください。

■**「取扱説明書」（PDFファイル）**
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロード
https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書のご使用にあたって

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の本文中においては「DM-02H」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

操作説明文について

本書では、タッチスクリーンで表示されるアイコンや項目の選択操作を次のように表記して説明しています。

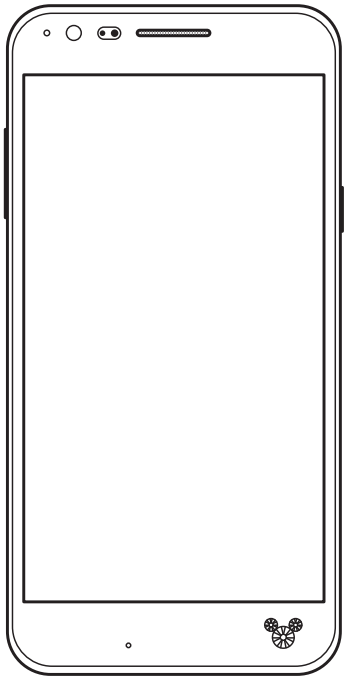
表記	操作内容
ホーム画面で「アプリ」	ホーム画面に表示されている をタップする • ホーム画面のアイコンは、以下のように表記しております。 :「アプリ」 :「電話」 :「ドコモメール」 :「カメラ」 :「ギャラリー」
ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「表示」	ホーム画面に表示されている をタップして、続けて「設定」、「表示」をタップする
をロングタッチ	画面に表示されている を長めに（1 ～ 2秒間）触れたままにする

お知らせ

- 本書の操作説明は、ホーム選択が「ホーム」に設定されていて、ホーム画面の内容がお買い上げ時の場合で説明しています。ホーム画面の内容を変更した場合は、アプリを開く操作などが本書の説明と異なることがあります。
- 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面と異なる場合があります。

本体付属品

■ DM-02H本体
（保証書付き）



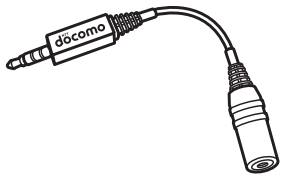
■ クイックスタートガイド／ご利用にあたっての注意事項



■ Welcome Card



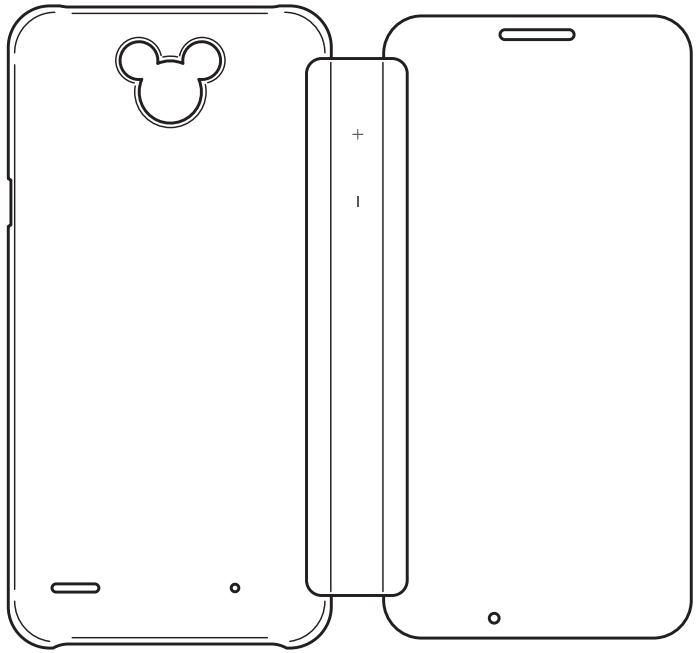
■ テレビアンテナケーブル L01



■ SIM取り出しツール
（試供品）



■ ディズニーオリジナルカバー L01



本端末に対応するオプション品（別売）は、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/product/option/

目次

本書のご使用にあたって…… 1
本体付属品 …… 2
本端末のご利用について…… 6
安全上のご注意（必ずお守りください）…… 8
取り扱い上のご注意…… 22
防水／防塵性能…… 29

ご使用前の確認と設定…… 35
各部の名称と機能…… 35
ドコモnanoUIMカード …… 37
充電 …… 40
電源を入れる／切る …… 43
ディズニーオリジナルカバー…… 45
基本操作 …… 46
文字入力 …… 51
初期設定 …… 57
通知LEDライト …… 58
画面表示／アイコンの見かた …… 58
ホーム画面…… 65
アプリ画面…… 67
タスクマネージャー …… 75
ホームアプリの切り替えかた…… 75

docomo LIVE UX …… 76
ホーム画面の見かた …… 76
ホーム画面の管理…… 77
アプリ画面の見かた…… 80
アプリの管理…… 81
「おすすめ」アプリのインストール …… 82
すべてのアプリ表示…… 83
ホーム画面のバックアップと復元…… 83
マイマガジン…… 84
ホームアプリの情報…… 85

電話 …… 86
電話をかける …… 86
電話を受ける…… 91
通話中の操作…… 93
履歴…… 95
伝言メモ …… 96
通話設定…… 97
電話帳 …… 99

メール／ウェブブラウザ …… 105
ドコモメール…… 105
SMS …… 105
Eメール …… 108
Gmail…… 112
緊急速報「エリアメール」…… 113

ブラウザ …… 115

アプリ…… 118
dメニュー …… 118
dマーケット …… 118
ディズニーマーケット…… 119
Playストア …… 120
おサイフケータイ …… 122
トルカ…… 125
iDアプリ …… 126
テレビ（ワンセグ）…… 126
カメラ …… 136
ギャラリー …… 140
メディアプレイヤー …… 142
GPS／ナビ …… 150
時計 …… 153
カレンダー …… 155
Qメモ＋ …… 157
電卓 …… 158
ドコモバックアップ …… 159

本体設定…… 162
設定メニュー…… 162
無線ネットワーク…… 162
デバイス…… 177
パーソナル…… 186
システム…… 196

ファイル管理…… 201
ストレージ構成…… 201
ファイル操作 …… 204

データ通信…… 206
Bluetooth®通信 …… 206
NFC通信 …… 210

外部機器接続…… 212
パソコンとの接続 …… 212
プリンターとの接続 …… 214
その他の機器との接続…… 215

海外利用 …… 217
国際ローミング（WORLD WING）の概要 …… 217
海外で利用可能なサービス…… 217
海外でご利用になる前に…… 218
滞在先で電話をかける／受ける…… 220
国際ローミングの設定…… 223
帰国後の確認…… 224

付録／索引…… 225
トラブルシューティング（FAQ）…… 225
あんしん遠隔サポート…… 236
保証とアフターサービス…… 237
ソフトウェアアップデート …… 240
アプリの更新…… 243
主な仕様…… 244
携帯電話機の比吸収率（SAR）について …… 249
Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones…… 250
Radio Frequency (RF) Signals …… 252
Regulatory information (FCC ID number, etc.) …… 253
FCC Statement for the USA …… 254
Declaration of Conformity …… 255
Important Safety Information …… 256
輸出管理規制…… 258
知的財産権…… 258
SIMロック解除 …… 261
索引…… 262

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波レベルアイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードや本端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリなどによっては、端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され、不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上、ご利用ください。
- 本端末では、ドコモnanoUIMカード（ピンク色）のみご利用できます。ドコモnanoUIMカード（赤色）、ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

- 本端末はｉモードのサイト（番組）への接続やｉアプリなどには対応しておりません。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi®通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本端末では、マナーモード（バイブレートのみ、サイレント）設定中でも、着信音や各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生、シャッター音など）は消音されません。
- お客様の電話番号（自局番号）は以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「端末情報」▶「ステータス」をタップしてください。
- ご利用の端末のソフトウェアバージョンは以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「端末情報」▶「ソフトウェア情報」をタップしてください。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態にすることができます。詳細については、「ソフトウェアアップデート」（P240）をご参照ください。
- 本端末は、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップにより機能が追加されたり、操作方法が変更になったりすることがあります。機能の追加や操作方法の変更などに関する最新情報は、ドコモのホームページでご確認ください。
- OSをバージョンアップすると、古いバージョンのOSで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、その他のウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 利用規約などが表示された場合は、画面に従って操作してください。
- 紛失に備え、画面ロックを設定し本端末のセキュリティを確保してください。詳しくは「画面のロック」（P180）をご参照ください。
- 万が一本端末を紛失した場合は、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスやSNSなどのサービスを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、moperaUおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用には、パケットパック／パケット定額サービスの加入を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※2を負う可能性が想定される場合および物的損害※3の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指します。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の項目に分けて説明しています。

本端末、アダプタ、テレビアンテナケーブル、ディズニーオリジナルカバー、ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて（共通） …… P9
本端末の取り扱いについて …… P12
アダプタの取り扱いについて …… P16
ディズニーオリジナルカバーの取り扱いについて …… P19
ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて …… P19
医用電気機器近くでの取り扱いについて …… P19
材質一覧 …… P20
試供品（SIM取り出しツール）の取り扱いについて …… P21

本端末、アダプタ、テレビアンテナケーブル、ディズニーオリジナルカバー、ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→P29「防水／防塵性能」


禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→P29「防水／防塵性能」


分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→P29「防水／防塵性能」


水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→P29「防水／防塵性能」


指示

オプション品は、NTT ドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 警告


禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。


指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。


指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（NFC ／おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。


指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。
- 電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。
- 本端末の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意


禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。


禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。


禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→P29「防水／防塵性能」


禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。


禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。


指示

本端末を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようご注意ください。
アプリ、通話、データ通信、テレビや動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

本端末の取り扱いについて

⚠ 危険


禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。


禁止

釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。


指示

内蔵電池内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
内蔵電池内部の物質などの影響により、失明などの原因となります。


指示

ディスプレイ内部の物質などが目や口の中に入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
ディスプレイ内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。
視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。

禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。

禁止

本端末内のドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。


指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると難聴などの原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。


指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。


指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。


指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。


指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。


指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。


指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようご注意ください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意


禁止

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人、周囲の物に当たり、けがなどの事故の原因となります。


禁止

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。


禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合には、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。


禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火による火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。
不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。


禁止

内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。


指示

ドコモnanoUIMカードの取り外しの際は、指などの体の一部を傷つけないよう、SIM取り出しツールまたはペーパークリップの先端にご注意ください。
SIM取り出しツールまたはペーパークリップの先端に触れると、けがなどの原因となります。


指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。


指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については以下をご参照ください。
→ P20「材質一覧」


指示

本端末のスピーカー、受話口（レシーバー）／サブマイク、バイブレータ部（音量キー付近）に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。
付着物により、けがなどの原因となります。


指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

アダプタの取り扱いについて

⚠ 警告


禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。


禁止

アダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。


禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。


禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電などの原因となります。


禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。


禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。


禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。


禁止

ACアダプタに海外旅行用の変圧器（トラベルコンバーター）を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。


禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。


指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）


指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。


指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。


指示

アダプタをコンセントやシガーライターソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。


指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。
アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。


指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


電源プラグを抜く

使用しない場合は、アダプタの電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が入った場合は、直ちに電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電などの原因となります。


電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠ 注意


禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態でアダプタに長時間触れないでください。
やけどなどの原因となります。

ディズニーオリジナルカバーの取り扱いについて

⚠ 注意


禁止

ディズニーオリジナルカバーを取り付けるときは、指を挟まないでください。
けがなどの事故の原因となります。

ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて

⚠ 注意


指示

ドコモnanoUIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
けがなどの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠ 警告


指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。


指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。


指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。


指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

■ DM-02H本体

使用箇所	材質	表面処理
ディスプレイ	強化ガラス	AFコーティング
外装ケース（側面）	PC+GF20%	UVコーティング
スロットキャップ、電源キー、音量キー	PC	UVコーティング
外装ケース（背面）	PC+GF10%	IML
トレイ	PC+GF5%	なし
カメラ部	強化ガラス	AFコーティング
カメラレンズ周囲	AL	陽極酸化処理
フラッシュ部	透明PC	なし
スピーカー部、受話口（レシーバー）／サブマイク部	SUS	焼付塗装

■ テレビアンテナケーブル L01

使用箇所	材質	表面処理
イヤホン マイク端子（先端部）	銅	ニッケルメッキ
イヤホン マイク端子（外装）	TPE_ JS400-78A	Non PVC
ケーブル	TPE_ JS400-78A	Non PVC
接続プラグ（先端部）	銅	金メッキ
接続プラグ（外装）	TPE_ JS400-78A	Non PVC

■ ディズニーオリジナルカバー L01

使用箇所	材質	表面処理
フリップ部（外側）	クリアポリカーボネート	蒸着後UVコーティング
フリップ部（内側）	クリアポリカーボネート	Blast
リア部	クリアポリカーボネート	Pearl UVコーティング
背表紙部	PU Leather	なし
センサーマグネット	PCシート	印刷

■ SIM取り出しツール

使用箇所	材質	表面処理
本体	ステンレス	なし

試供品（SIM取り出しツール）の取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

SIM取り出しツールの先端部は尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。

本人や他の人に当たり、けがや失明などの原因となります。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ **DM-02Hは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、付属品、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。**
アダプタ、テレビアンテナケーブル、ドコモnanoUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ **本端末に無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、破損、故障の原因となります。

■ **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。

■ **対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

■ **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

本端末についてのお願い

■ **タッチスクリーンの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
タッチスクリーンが破損する原因となります。

■ **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■ **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

■ **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、外部メモリーカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ **通常はスロットキャップを閉じた状態でご使用ください。**
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。

■ **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

■ **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■ **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

■ **内蔵電池は消耗品です。**
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申し込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■ 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。

■ 内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。
本端末が内蔵電池の膨らみによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ 本端末を保管される場合は、次の点にご注意ください。
- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管

内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をおすすめします。

■ 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

アダプタについてのお願い

■ 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■ 次のような場所では、充電しないでください。
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■ 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■ DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■ 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■ 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

ディズニーオリジナルカバーについてのお願い

■ 背表紙部分が汗や水を含んだ場合には、柔らかい布などで軽く拭き、陰干しを行ってください。

■ ご利用頻度により色落ちする場合があります。

■ 磁気カードなどをディズニーオリジナルカバーに近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

ドコモnanoUIMカードについてのお願い

■ ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

■ 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモnanoUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■ IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■ お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■ お客様ご自身で、ドコモnanoUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 環境保全のため、不要になったドコモnanoUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■ ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■ ドコモnanoUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

■ ドコモnanoUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

■ ドコモnanoUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth®機能を利用する場合のお願い

■ 本端末は、Bluetooth®機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth®機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。

■ Bluetooth®機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 周波数帯について

本端末のBluetooth®機能／無線LAN機能が利用する周波数帯は、次のとおりです。



2.4	：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
FH/DS/OF	：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDM方式であることを示します。
1	：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
4	：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
■ ■ ■	：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャネルは国により異なります。
航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetooth®機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

■ 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。

■ 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。
- WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては利用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 5GHz機器使用上の注意事項

本端末は、5GHzの周波数帯において、5.2GHz帯（W52）、5.3GHz帯（W53）、5.6GHz帯（W56）の３種類の帯域を使用できます。

- W52（5.2GHz帯／36、40、44、48ch）
- W53（5.3GHz帯／52、56、60、64ch）
- W56（5.6GHz帯／100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch）

本端末に内蔵の無線ＬＡＮを5.2／5.3GHzでご利用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。

FeliCaおよびNFCリーダー／ライターについてのお願い

■ 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター，P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。

■ 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライター，P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。
また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

■ 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

試供品（SIM取り出しツール）についてのお願い

■ SIM取り出しツールに無理な力がかからないように使用してください。
故障、破損の原因となります。

■ 廃棄の際は、それぞれの地域ルールにしたがって分別廃棄を行ってください。

■ SIM取り出しツールは他の携帯端末には使用しないでください。
携帯端末の故障、破損の原因となります。

注意

■ **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク ㊣ 」が本端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。

ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「端末情報」▶「規制と安全に関する情報」

本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■ **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**

運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

■ **本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。**

■ **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

DM-02Hは、スロットキャップをしっかり閉じた状態で、IPX5※1、IPX7※2の防水性能、IP6X※3の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところにDM-02Hを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

DM-02Hが有する防水性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話ができます（1時間の雨量が20mm 程度）。
- 洗面器などに張った真水・常温（5℃～35℃）の水道水に浸けて、静かに振り洗いできます。
  - スロットキャップが開かないように押さえたまま、強くこすらずに洗ってください。
  - 洗うときは、ブラシやスポンジ、せっけん、洗剤などは使用しないでください。
  - 洗ったあとは、表面を乾いた布でよく拭いて、水抜きを行ってください。→ P32
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

ご使用にあたって

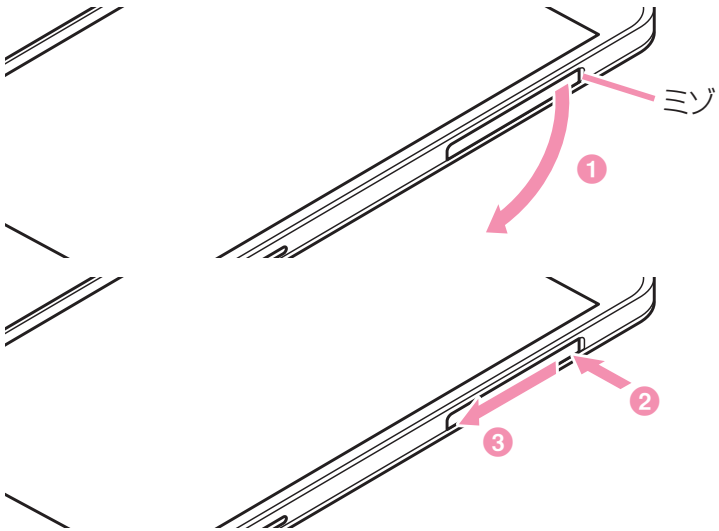
防水／防塵性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

- スロットキャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が入る原因となります。
- 受話口（レシーバー）／サブマイクや送話口（マイク）、通気口、スピーカー、イヤホンマイク端子、外部接続端子、スロットキャップを尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- スロットキャップのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

■ スロットキャップの開きかた／閉じかた

ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードの取り付け／取り外し時は、ミゾに指先をかけてキャップを矢印（❶）の方向に開け、使用後はキャップを矢印（❷）の方向に押し込み、矢印（❸）に沿って指でなぞりながらしっかり押して閉じます。

キャップの浮きがないことを確認してください。



防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、２年に１回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

注意事項

次のイラストのように、常温の水以外の液体などをかけたり浸けたりしないでください。

＜例＞



また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

■ 本端末について

- お湯に浸けたり、サウナで使用したり、ドライヤーなどの温風を当てたりしないでください。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。外部接続端子がショートする恐れがあります。また、寒冷地では、本端末が凍結し、故障の原因となります。
- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へは、本端末が常温になってから持ち込んでください。
- 水中で本端末を使用しないでください。
- 濡れている状態で絶対に充電しないでください。
- 洗濯機などで洗わないでください。

- 本端末は水に浮きません。
- 砂浜などの上に直接置かないでください。
  - 受話口（レシーバー）／サブマイクや送話口（マイク）、通気口、スピーカー、イヤホンマイク端子などに砂などが入り、音が小さくなる恐れがあります。
  - 外部接続端子、イヤホンマイク端子の穴などに砂などが入り、防水性能が損なわれることがあります。
  - 水滴や砂などが付着したままご使用になると、音が割れる場合があります。
- 受話口（レシーバー）／サブマイクや送話口（マイク）、通気口、スピーカー、イヤホンマイク端子に水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- 外部接続端子、イヤホンマイク端子に水滴を残さないでください。ショートする恐れがあります。

■ その他

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。
- 実際の使用にあたって、すべての状況の動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水に濡れたときの水抜きについて

本端末を水に濡らした場合、必ず下記の手順で水抜きを行ってください。

- 水滴が付着していると、スピーカーなどの音量が小さくなり、音質が変化する場合があります。

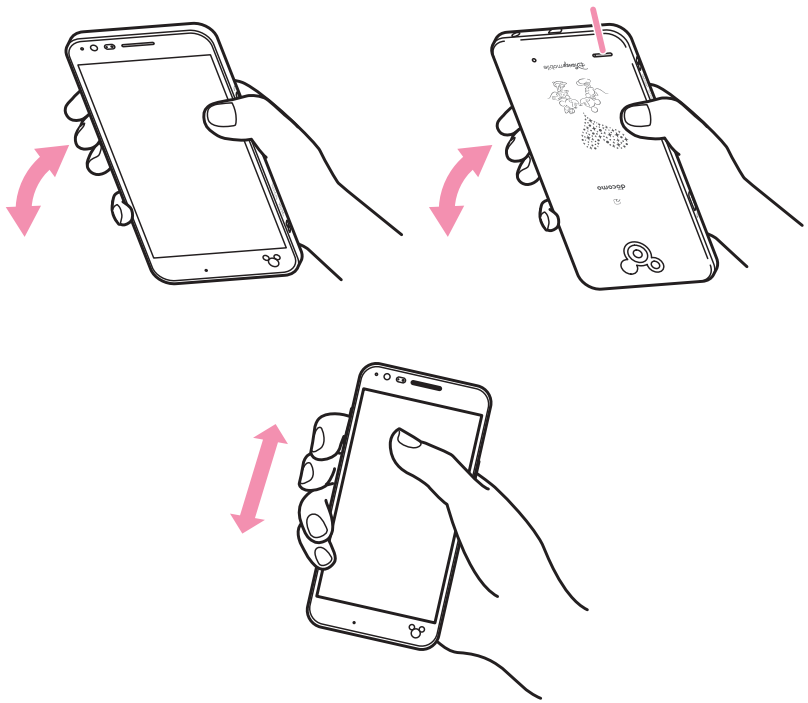
1 本端末表面の水分を乾いたきれいな布でよく拭き取る



2 **本端末をしっかりと持ち、各面を20回程度、水滴が飛ばなくなるまで振る**

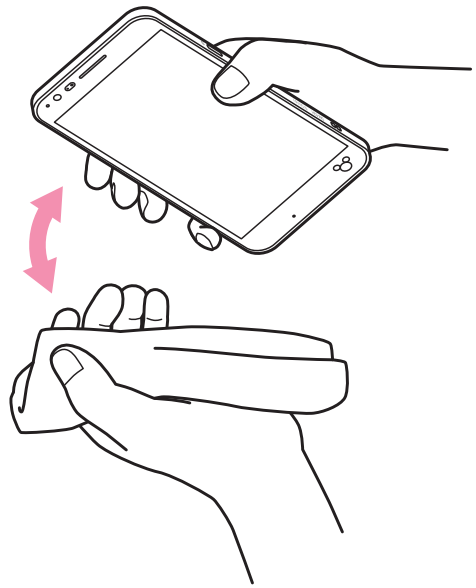
- 本端末に水滴が付着していないことを目視で確認してください。

スピーカーの水抜きのために
スピーカーを上にして振る



3 **乾いたきれいな布に本端末を軽く押し当て、受話口（レシーバー）／サブマイクや送話口（マイク）、通気口、スピーカー、イヤホンマイク端子、外部接続端子、キー、スロットキャップなどのすき間に入った水分を拭き取る**

- すき間に溜まった水分を綿棒などで直接拭き取らないでください。



4 **本端末から出てきた水分を乾いたきれいな布などで十分に拭き取り、しばらく自然乾燥させる**

- 水を拭き取ったあとに本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

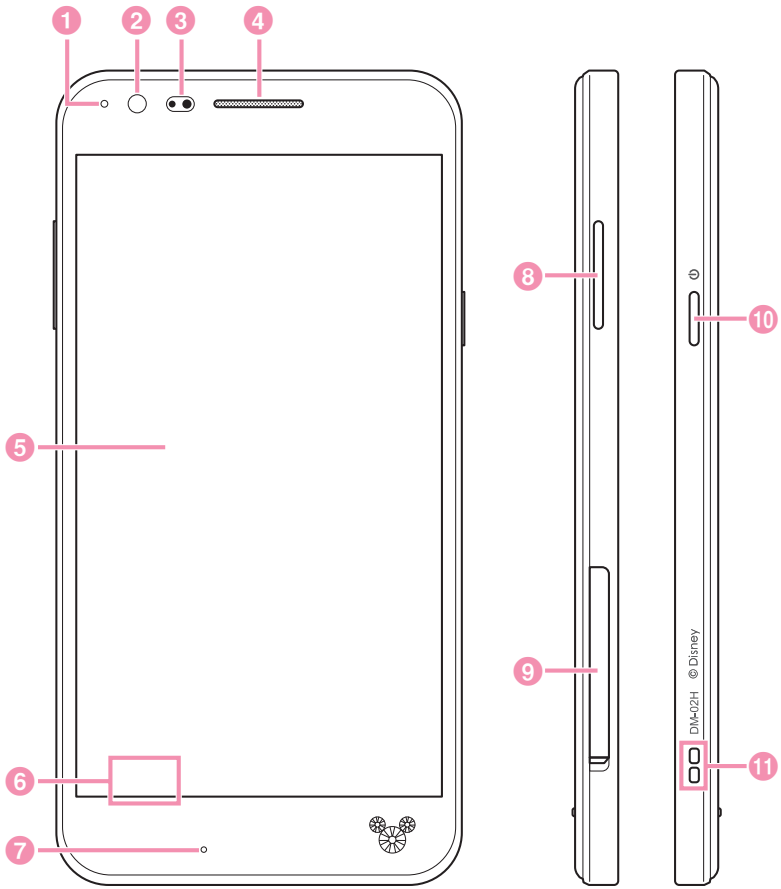
充電のときには

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には必ず次の点を確認してください。

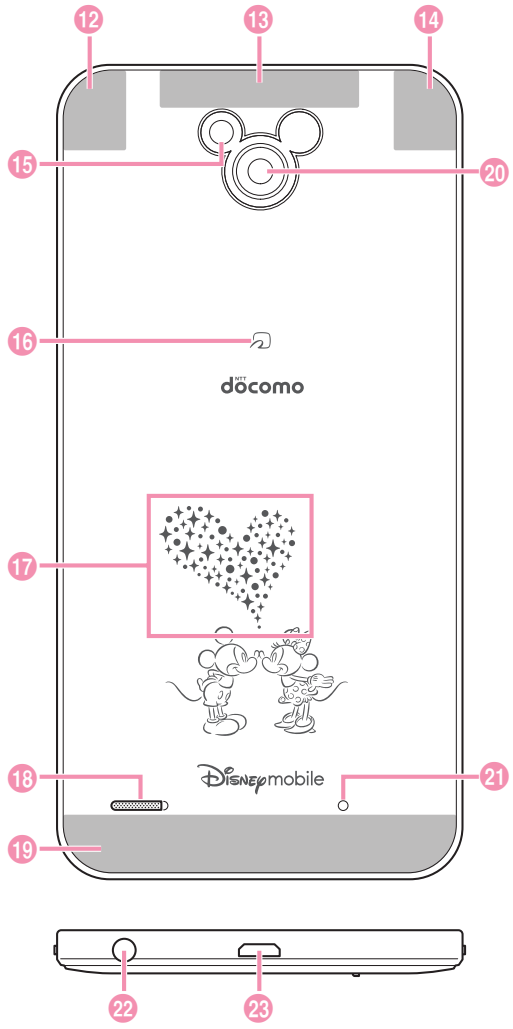
- 本端末が濡れていないか確認してください。本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 濡れた手でACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプタは、風呂場、シャワー室、キッチン、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



1. 通知LEDライト
2. フロントカメラ
3. 近接センサー※1／照度センサー※2（一体型）
4. 受話口（レシーバー）／サブマイク
5. ディスプレイ（タッチスクリーン）
6. Hall-ICセンサー※3
7. 送話口（マイク）
8. 音量キー
9. スロットキャップ
   - スロットキャップを開くと、ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口（トレイ）があります。
10. 電源キー
11. ストラップホルダー



⑫ **Bluetooth® ／ Wi-Fi® アンテナ部※4**

⑬ **サブアンテナ部※4**

⑭ **GPS ／サブアンテナ部※4**

⑮ **フラッシュ**

⑯ **マーク**

⑰ **背面イルミネーション**

- 電話着信時やドコモメール受信時などにイルミネーションでお知らせします。

⑱ **スピーカー**

⑲ **LTE ／ FOMA アンテナ部※4**

⑳ **メインカメラ**

㉑ **通気口**

- 本端末の内部と外部の圧力を調整します。

㉒ **イヤホンマイク端子**

㉓ **外部接続端子**

※1 タッチスクリーンのONとOFFを切り替えて、通話中に顔がタッチスクリーンに触れても誤動作しないようにします。

※2 周囲の明るさを検知して、画面の明るさを自動調整します。

※3 ディズニーオリジナルカバーの開閉を認識するためのセンサーです。

※4 アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

お知らせ

- 各センサー部分にシールなどを貼らないでください。

ドコモnanoUIMカード

ドコモnanoUIMカードとは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。

- 本端末では、ドコモnanoUIMカードのみご利用できます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモnanoUIMカードが取り付けられていないと、本端末で電話の発着信やSMSの送受信、パケット通信などの機能が利用できません。
- 日本国内では、ドコモnanoUIMカードを取り付けないと緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- ドコモnanoUIMカードについて詳しくは、ドコモnanoUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

ドコモnanoUIMカードの暗証番号について

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。ドコモnanoUIMカードの暗証番号について詳しくは「PINコード」（P191）をご参照ください。

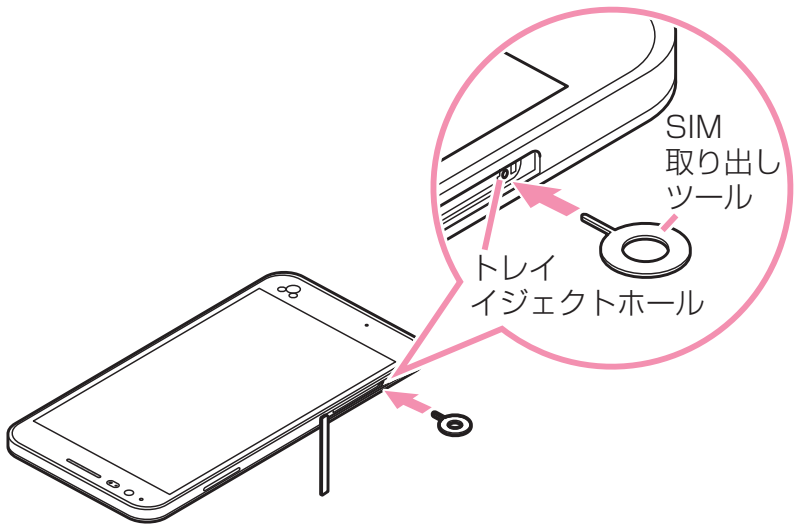
ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外し

- ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しは、必ず本端末の電源を切ってから行ってください。充電している場合はACアダプタから取り外してください。
- トレイの取り外しは、付属のSIM取り出しツール（試供品）をご使用ください。

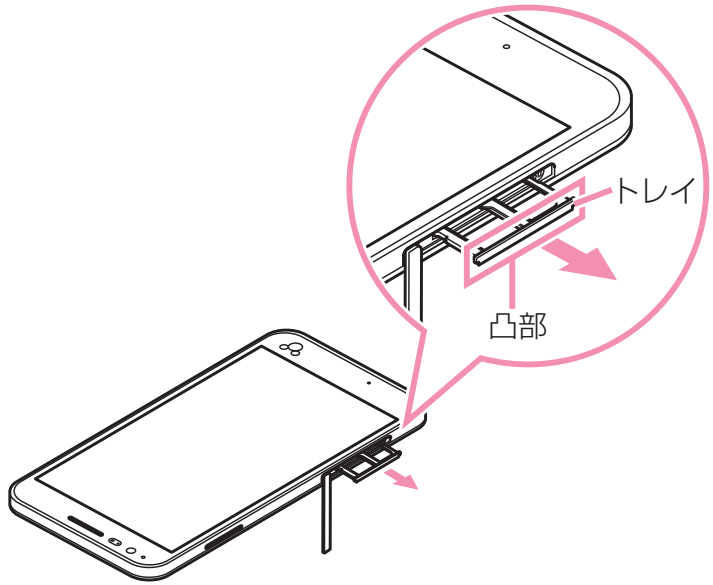
■ 取り付けかた

1 スロットキャップを開く（P31）

2 SIM取り出しツールをトレイイジェクトホールに水平に差し込む

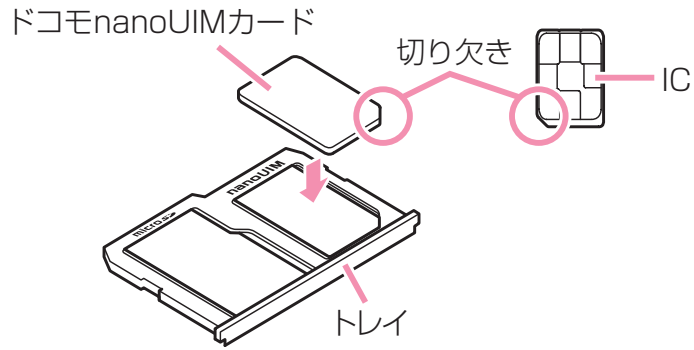


3 トレイの凸部に指先をかけてまっすぐに引き出し、本端末からトレイを取り出す

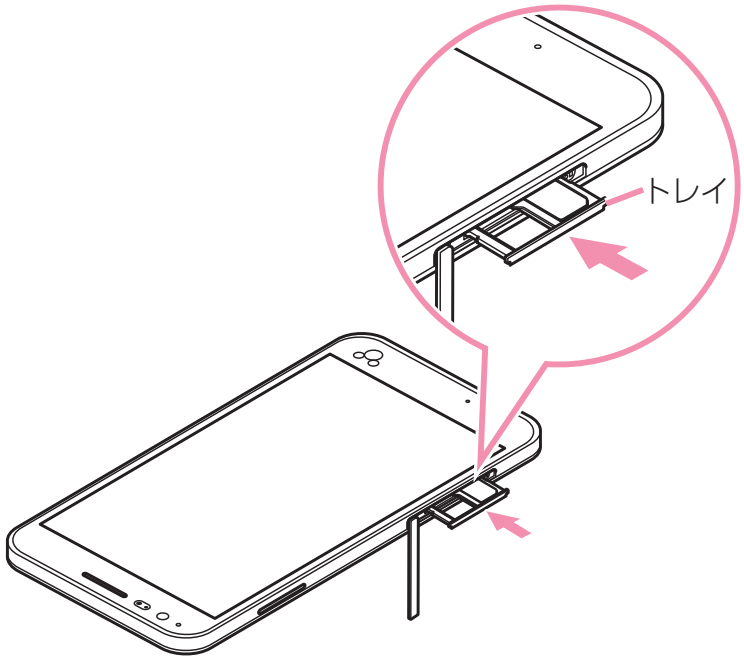


4 ドコモnanoUIMカードのIC面を下に向けてトレイに乗せる

- 切り欠きの方向にご注意ください。



5 トレイを本端末に差し込み、奥までまっすぐ押し込む



6 スロットキャップをしっかり押して閉じる（P31）

■取り外しかた

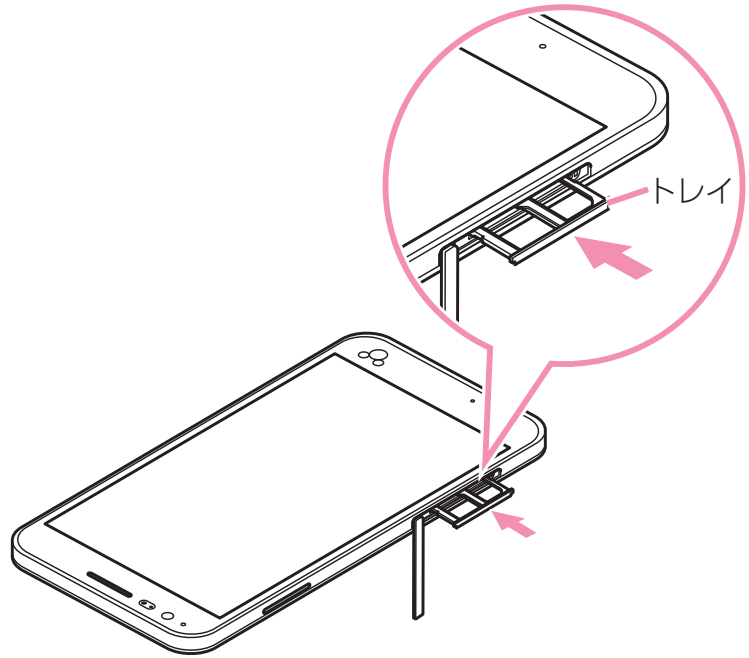
1 スロットキャップを開く（P31）

2 SIM取り出しツールをトレイイジェクトホールに水平に差し込む（P38）

3 トレイを本端末から取り出す（P38）

4 トレイからドコモnanoUIMカードを取り外す

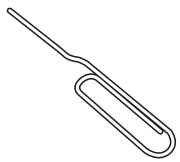
5 トレイを本端末に差し込み、奥までまっすぐ押し込む



6 スロットキャップをしっかり押して閉じる（P31）

お知らせ

- ドコモnanoUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。
- ドコモnanoUIMカードを無理に取り付けたり取り外したりしようとすると、ドコモnanoUIMカードが破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したドコモnanoUIMカードはなくさないようご注意ください。
- SIM取り出しツールを紛失した場合には、ペーパークリップで代用できます。



ペーパークリップの例

充電

充電について

- ACアダプタ05（別売）、DCアダプタ04（別売）について、詳しくは該当の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ05はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電中でも本端末の電源を入れておけば、本端末を操作することができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電時間が長くなります。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようにゆっくり確実に行ってください。
- 内蔵電池が空の状態で充電を開始すると、しばらくの間、本端末の電源が入らない場合があります。
- 充電が完了したら、必ずACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 定格電圧が保持されていない状態で充電した場合、充電がされていなかったり、充電が中断されたりする場合があります。

長時間（数日間）充電はおやめください

- 充電したまま本端末を長時間おくと、充電が終わった後、本端末は内蔵電池から電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池が切れてしまうことがあります。このようなときは、改めて正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、本端末を一度ACアダプタから外し、改めてセットしてください。

内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに１回で使える時間が次第に短くなります。
- 充電しながらワンセグ視聴などを長時間行うと、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
- １回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申し込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

充電時間（目安）

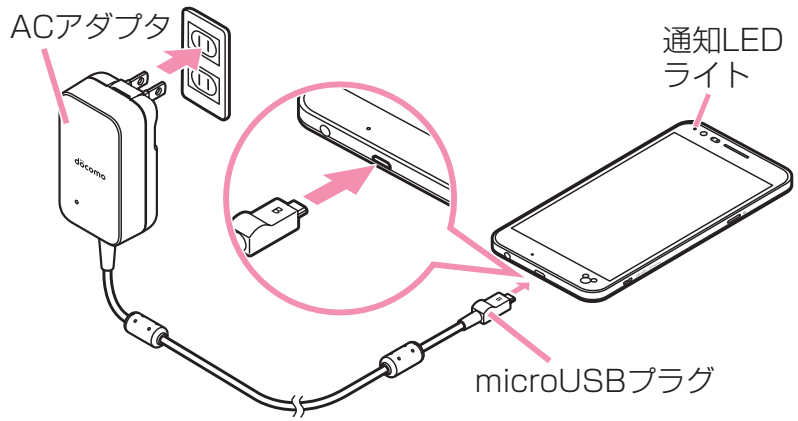
充電時間の目安については、「主な仕様」（P244）をご覧ください。

利用可能時間（目安）

利用可能時間の目安については、「主な仕様」（P244）をご覧ください。

ACアダプタで充電する

ACアダプタ 05（別売）を使って充電する方法を説明します。



1 本端末の外部接続端子に、ACアダプタのmicroUSBプラグをBの刻印面を上にして水平に差し込む

2 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む

- 充電中は、本端末の通知LEDライトが赤色に点灯します。
- 充電が完了すると、本端末の通知LEDライトが消灯し、ステータスバーの通知アイコン表示エリアに [充電] が表示されます（P58）。

3 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから引き抜く

4 本端末からACアダプタのmicroUSBプラグを水平に引き抜く

■ DCアダプタ 04

DCアダプタは、自動車のシガーライターソケット（12V／24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。

パソコンで充電する

本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01（別売）で接続すると、本端末をパソコンから充電できます。

1 本端末の外部接続端子に、microUSB接続ケーブル 01のmicroUSBプラグを差し込む

- microUSBプラグは、Bの刻印面を上にして水平に差し込んでください。

2 microUSB接続ケーブル 01のUSBプラグをパソコンのUSBポートに差し込む

- USB接続画面が表示されます。必要に応じて「充電のみ」を選択し、「1回のみ」／「常に使用」をタップします。

3 充電が終わったら、microUSB接続ケーブル 01のUSBプラグをパソコンのUSBポートから引き抜く

4 microUSB接続ケーブル 01のmicroUSBプラグを本端末から引き抜く

お知らせ

- パソコンの状態により、充電に時間がかかる場合や充電できない場合があります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源キーを２秒以上押し続ける

- 本端末が振動し、しばらくするとロック画面が表示されます。
- お買い上げ後に初めて本端末の電源を入れたときは、画面の指示に従って初期設定を行います（P57）。

電源を切る

1 電源キーを２秒以上押し続ける

2 「電源を切る」

3 「OK」

バックライトを点灯する

本端末では、誤動作の防止と省電力のため、一定時間が経過すると、バックライトが消灯され、画面がロックされます。

1 電源キーを押す

- バックライトが点灯し、ロック画面が表示されます。
- 再度、電源キーを押すと、バックライトが消灯し、画面がロックされます。

■ **ノックオン／ノックオフ**

消灯した画面を素早く２回タップすると、バックライトが点灯します。また、ホーム画面※やロック画面でアイコンなどがない領域、もしくはステータスバーを素早く２回タップすると、バックライトが消灯します。

※ ホームアプリが「ホーム」の場合のみ動作します。

お知らせ

- バックライトが消灯するまでの時間と、消灯後に画面がロックされるまでの時間は設定できます。詳しくは「表示」内の「バックライト点灯時間」（P179）と「画面のロック」内の「ロックタイマー」（P181）をご参照ください。

画面ロックを解除する

電源を入れたときやディスプレイを表示させたときはタッチスクリーンはロックされています。

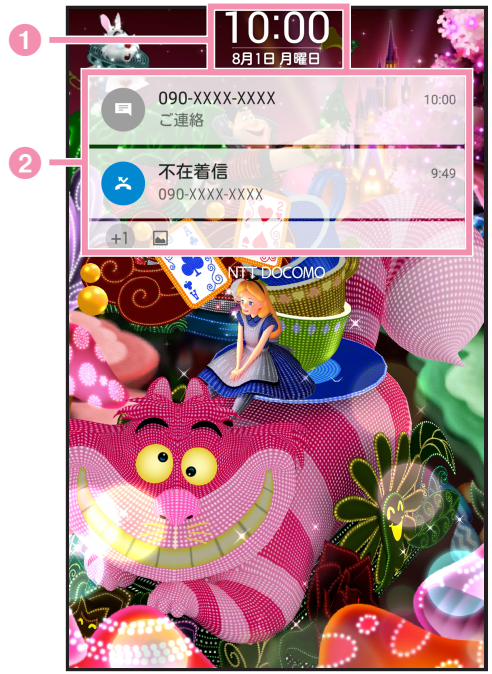
1 画面を上下左右のいずれかの方向にスワイプする

- 画面ロックの解除方法は変更できます（P180）。

お知らせ

- 画面ロックを「タッチ」／「スワイプ」に設定している場合は、画面ロックを解除していない状態で、ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプして通知パネルを開くことができます。

ロック画面について



ロック画面（表示例）

1 日付と時刻

2 通知情報表示エリア

最大２つの最新通知情報の詳細と、未確認の通知件数を表示します。

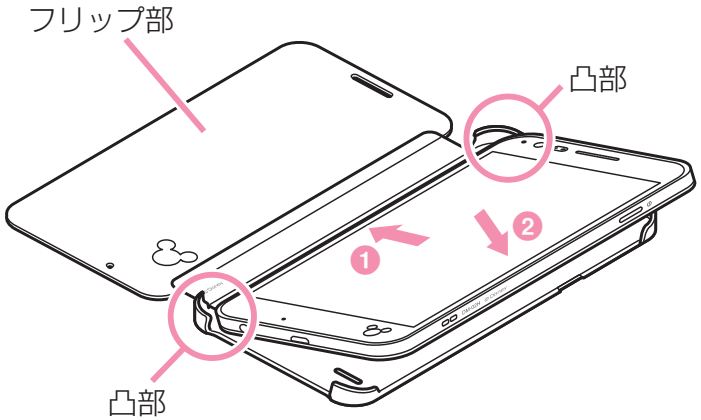
ディズニーオリジナルカバー

ディズニーオリジナルカバー L01 を取り付け、フリップ部を閉じると、ディスプレイに時計やアニメーションが表示されます。また、電話着信時やドコモメール／メッセージ受信時、Disneyきせかえアラーム鳴動時にアニメーションでお知らせします。

- 電話着信時、フリップ部を閉じたまま音声電話の応答／応答拒否ができます。
- ドコモメール受信時はメールのタイトルと送信者が表示され、メッセージ受信時には送信者と本文が表示されます。

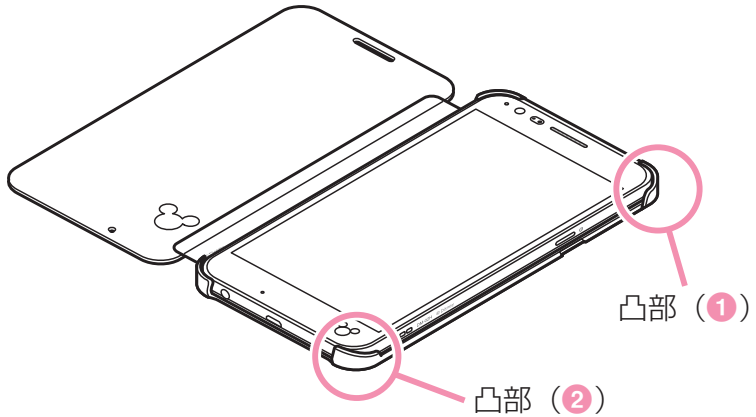
■ 取り付けかた

1 本端末の向きを確認して、ディズニーオリジナルカバーの凸部と合わせるように❶の方向へ押しつけながら、❷の方向へ押し込む



■ 取り外しかた

1 ディズニーオリジナルカバーの凸部（❶または❷）に指先をかけて取り外す



基本操作

本端末は、ディスプレイにタッチスクリーンを採用しており、スクリーンに触れることでさまざまな操作を行うことができます。

タッチスクリーンの使いかた

タッチスクリーン利用上の注意

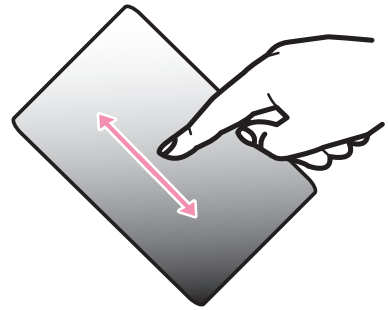
タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。以下の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- タッチパネルが濡れたままでの操作
- 指が汗や水などで濡れた状態での操作

タッチスクリーンの操作

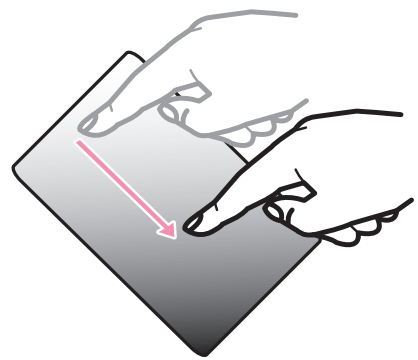
タッチスクリーンでは以下の操作ができます。

■ **タップ**　：画面に軽く触れる
■ **ダブルタップ**　：画面に２度続けて軽く触れる
■ **ロングタッチ**　：画面に１秒以上触れる
■ **スワイプ**　：画面を軽くなぞる
- スワイプすると画面がスクロールします。



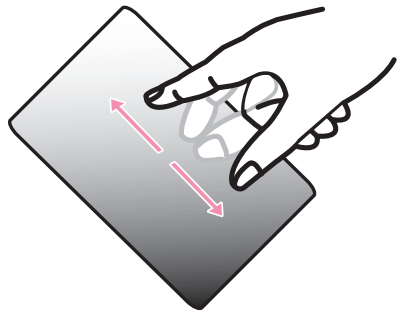
■ **ドラッグ**　：画面に触れたままなぞって指を離す
- アイコンやウィジェットなどを移動できます。

■ **フリック**　：画面に触れて指をすばやく払う
- フリックすると画面が高速でスクロールします。スクロール中に画面に触ると、スクロールが停止します。



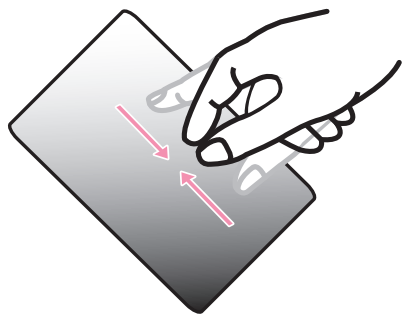
■ **ピンチアウト**：２本の指で画面に触れ、触れたまま指の間を広げる

- ピンチアウトすると画面が拡大表示されます。



■ **ピンチイン**　：２本の指を開いて画面に触れ、触れたままつまむように指を近づける

- ピンチインすると画面が縮小表示されます。



ホームタッチボタン

ホームタッチボタンの配列やカラーを変更できます。

- ホームタッチボタンは最大５つまで配置可能です。

1　ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「表示」▶「ホームタッチボタン」

2　「ボタンの配列」／「カラー」のいずれかをタップする

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

	**戻るキー** タップすると、直前の画面に戻ります。または、ダイアログボックス、オプションメニュー、通知パネル、ソフトウェアキーボードを非表示にします。
	**ホームキー** • タップすると、ホーム画面が表示されます。 • ロングタッチすると、Googleアプリが起動します。
	**履歴キー** • タップすると、最近使用したアプリの一覧が表示されます。 • ロングタッチすると、現在の画面またはアプリで実行できるオプションメニューが表示されます。

	お知らせキー タップすると、通知パネルを表示／非表示します。
	キャプチャーキー タップすると、キャプチャー＋アプリが起動します。
	Qスライドキー タップすると、画面下部にQスライドアプリ選択画面が表示されます。

画面の表示方向を自動的に切り替える

本端末を横向き／縦向きにすると、自動的に横画面表示／縦画面表示に切り替わるように設定できます。

- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても表示方向が切り替わらない場合があります。
- 本端末が地面に対して水平に近い状態で向きを変えても、横画面表示／縦画面表示は切り替わりません。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「表示」

2 「縦横表示の自動回転」にチェックマークを付ける

スクリーンショットを撮る

表示している画面を画像として保存できます。

1 電源キーと音量キー（下）を同時に1秒以上押し続ける

- 撮影したスクリーンショットは、「ギャラリー」の「Screenshots」で見ることができます。
- ワンセグ視聴画面など、画面によっては画像を保存できない場合があります。

Qスライドアプリ

他の操作をしながら、動画、メッセージ、カレンダー、Eメールなどをポップアップで利用できます。

- Qスライドアプリのポップアップウィンドウは同一画面上に2つまで表示できます。

Qスライドアプリを利用する

1 通知パネルを開く（P62）

2 「Qスライド」

- 通知パネルにQスライドアプリ欄が表示されます。

3 Qスライドアプリを選択する



Qスライド画面（例：メッセージの場合）

❶ 全画面表示します。

❷ 背景の透明度を調整します。
左にドラッグすると、Qスライドアプリの画面をタッチしても反応しなくなるため、他の機能を利用できます。

❸ Qスライドアプリを終了します。

❹ 表示サイズを調整します。

Qスライドアプリを編集する

1 通知パネルを開く（P62）

2 Qスライドアプリ欄の「編集」をタップする

- Qスライドアプリの並び替えや、通知パネルへの表示／非表示を設定できます。

非常用節電モード

非常用節電モードを有効にすると、端末の設定や機能を制限して電池の消費を抑えることができます。

非常用節電モードを有効にする

1 電源キーを２秒以上押し続ける

2 「非常用節電モード」▶「OK」▶ 画面の内容を確認 ▶「OK」

- 本端末が再起動し、非常用節電モードが有効になります。

お知らせ

- ホーム画面で「アプリ」▶「災害用キット」▶「SAVE」▶「OK」をタップしても、非常用節電モードを有効にすることができます。
- 非常用節電モードを有効にした場合でも、Wi-Fi®やBluetooth®機能をONにすることができます。

非常用節電モードを解除する

1 電源キーを２秒以上押し続ける

2 「非常用節電モード」▶「OK」▶「OK」

- 非常用節電モードのホーム画面で、「節電解除」▶「OK」をタップしても、非常用節電モードを解除することができます。
- 本端末が再起動し、非常用節電モードが解除されます。

アプリの権限を設定する

本端末の機能や情報にアクセスするアプリや機能を初めて起動すると、アクセス権限を許可するかの確認画面が表示されます。アクセス権限を許可すると、アプリや機能で該当する機能や情報を利用できるようになります。

- アプリや機能によって表示される確認画面が異なります。表示内容をよくご確認のうえ操作してください。

＜例＞「メモ」アプリを初めて起動する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「メモ」

機能利用の許可画面が表示されます。

2 「OK」▶「許可しない」／「許可」

以降は画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- アクセス権限を許可しないとアプリや機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- 権限の設定を変更するには、ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「アプリ」▶ アプリを選択 ▶「許可」▶ 変更する権限をON ／ OFFにします。

文字入力

本端末では、タッチスクリーンに表示されるソフトウェアキーボードで文字を入力することができます。

ソフトウェアキーボードでの文字入力

画面上のテキストボックスをタップすると、タッチスクリーンにソフトウェアキーボードが表示されます。本端末では、10キーキーボードとQWERTYキーボード、手書き入力の3種類のソフトウェアキーボードを切り替えて使用できます。

あ/AB をタップすると、文字種の変更など、入力操作の切り替えができます。

10キーキーボード／ QWERTYキーボード

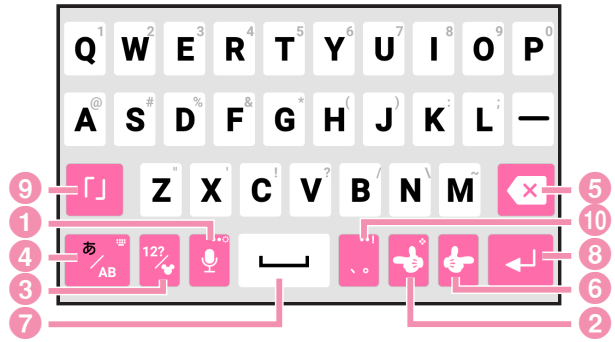
● **10キーキーボード**

一般の携帯電話のような入力方法（マルチタップ方式）のキーボードです。入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が入力されるまで数回タップします。



● **QWERTYキーボード**

パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードです。日本語をローマ字で入力します。



❶ 音声入力キー／キーボードタイプキー／手書き入力キー／クリップボードキー／設定キー／逆順キー

- 音声入力モードに切り替わります。
- ロングタッチすると、キーボード機能ボタンパネルが表示されます。
  - をタップすると、音声入力モードに切り替わります。音声入力を使用しない設定の場合には表示されません。
  - （QWERTYキーボード時）／（10キーキーボード時）をタップすると、「10キーキーボード」／「QWERTYキーボード」に切り替えることができます。
  - をタップすると、手書き入力キーボードを表示します。
  - をタップすると、クリップボードを表示します。
  - をタップすると、入力拡張プラグインを使うことができます。
  - をタップすると、「LG日本語キーボード」メニューを表示します。「キーボード設定」で音声入力キーを非表示にできます。非表示にすると ／ が表示されます。

  ※ 詳しい操作方法は、「キーボード設定」の「ヘルプ」を参照してください。
- 10キーキーボードの場合、文字を入力すると が表示されます。 をタップすると、1つ前の文字を表示（逆順）します。

❷ 左カーソルキー／十字キー

- 左へカーソルを移動します。
- 変換時は変換範囲を狭めます。
- ロングタッチすると十字キーモードに切り替わります。

❸ 記号／英数カナキー

- 数字キーを表示します。もう一度タップすると、絵文字／記号／顔文字／絵文字Dリストを表示します。10キーキーボードの場合、右にフリックしても、絵文字／記号／顔文字／絵文字Dリストを表示することができます。
- 「英数カナ」と表示されているときは、英数字またはカナの候補を表示します。

④ **文字種切替**
- 入力（文字種）を切り替えます。
- ロングタッチすることで「入力言語」と「キーボードスタイル」を選択できます。
  - （縦画面時）／（横画面時）をタップすると、「片手操作モード」／「スプリットキーボード」に切り替えることができます。
  - をタップすると、標準のキーボードに戻ります。

⑤ **削除キー**
- カーソル位置の左の文字を削除します。
- ロングタッチすることで連続して削除できます。

⑥ **右カーソルキー**
- 右へカーソルを移動します。
- ロングタッチすることで連続移動します。
- 変換時は変換範囲を広げます。

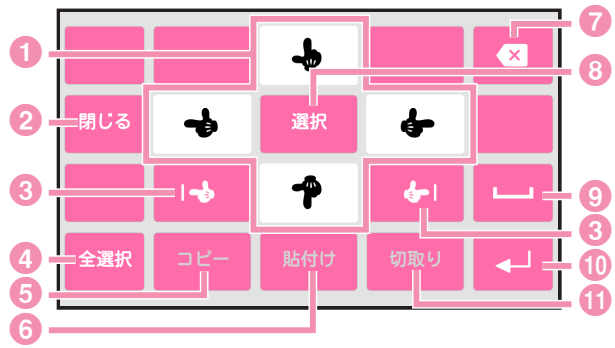
⑦ **スペース／変換キー**
- スペースを入力します。
- ひらがな入力中は「変換」と表示され、連文節変換候補リストを表示します。

⑧ **確定／実行／改行／検索／次へ／完了キー**
- 入力文字／変換文字を確定します。
- すでに入力文字／変換文字が確定されている場合には、入力したテキストボックスの機能（実行・改行・検索・次へ・完了）を実行します。

⑨ **括弧／シフトキー**
- 括弧を入力します。
- 英字入力時、タップすると大文字キーと小文字キーを切り替えることができます。
  - ：小文字
  - ：文頭だけ大文字
  - ：全部大文字

⑩ **句読点キー**
- 句読点を入力します。
- ロングタッチすると、記号の一覧が表示されます。

十字キーモード



① **十字（上下左右）キー**
カーソルを上下左右に移動します。

② **閉じる**
十字キーモード表示前のソフトウェアキーボードに切り替わります。

③ **クイックカーソルキー**
文頭／文末にカーソルを移動します。

❹ **全選択**
すべての文字を選択します。

❺ **コピーキー**
選択範囲の文字をコピーします。

❻ **貼付けキー**
コピー／切り取りした文字を貼り付けます。

❼ **削除キー**
- カーソル位置の左の文字を削除します。
- ロングタッチすることで連続して削除できます。

❽ **選択／選択解除キー**
- 選択状態にします。
- 十字キーで範囲を変更できます。
- 選択解除キーでは、選択範囲を解除できます。

❾ **スペースキー**
スペースを入力します。

❿ **実行／改行／検索／次へ／完了キー**
入力したテキストボックスの機能（実行・改行・検索・次へ・完了）を実行します。

⓫ **切取りキー**
選択範囲の文字を切り取ります。

手書き入力キーボード



❶ **手書き入力領域**
- 文字を書くと、文字の下に ^ が表示されます。^ をタップすると認識候補一覧が表示され、文字を訂正することができます。
- 文字を書くと、手書き入力領域右側に > が表示されます。> をタップすると、引き続き文字を手書きで入力することができます。

❷ **メニューキー**
- 入力モード（文字の種類）と実行モード（手書き入力の方式）を選択できます。
- ロングタッチすることで、手書き入力の詳細設定ができます。
- 実行モードを 文 字 に設定すると、２つの手書き入力領域が表示されます。交互に１文字ずつ入力します。

❸ **記号キー**
絵文字／記号／顔文字／絵文字Dリストを表示します。

❹ **キーボードタイプキー／クリップボードキー／設定キー**
- 手書き入力キーボード表示前のソフトウェアキーボードに切り替わります。
- ロングタッチすることで、クリップボードキー、設定キーを表示します。

❺ **スペースキー**
半角スペースを入力します。

❻ **左カーソル／右カーソルキー**
- カーソル位置を移動します。
- 左カーソルキーをロングタッチすると十字キーモードに切り替わります。

❼ **確定／改行キー**
- 入力文字／変換文字を確定します。
- すでに入力文字／変換文字が確定されている場合には、入力したテキストボックスの機能（改行）を実行します。

❽ **削除キー**
- カーソル位置の左の文字を削除します。
- ロングタッチすると連続して削除します。
- 手書き入力領域に入力中は、ロングタッチすると削除方法が選択できます。
  ：領域内の文字をすべて削除
  ：１文字削除
  ：一画ごとに削除

お知らせ
- キー表示は入力画面や文字種により変わります。
- キーボードが不要な場合は、 をタップすることで閉じることができます。再び表示するには、画面上のテキストボックスをタップしてください。

文字入力の設定を変更する

文字入力画面で をロングタッチして をタップすると「LG日本語キーボード」メニューが表示されます。ここで「キーボード設定」をタップすると、文字入力に関する設定が変更できます。

キーボード設定（共通）	
入力言語及びキーボード種類	入力言語の設定や画面の向き、入力モードごとのキーボードの種類を設定します。
10キーキーボード	フリック入力、自動カーソル移動を設定します。
候補	入力した語句を学習したり、入力ミスを補正したり、ワイルドカード予測をしたりできます。
自動大文字変換	チェックマークを付けると、入力支援機能で対応しているアプリは、英字入力の際、文頭文字を自動的に大文字にすることができます。
ピリオド自動挿入	英字入力の際、スペースキーを２回タップすると、ピリオドを挿入します。
タッチフィードバック	文字入力の際のキーポップアップ、キー操作音およびキー操作バイブレートの設定をします。

音声入力	音声入力を有効にするかどうかを設定します。
手書き入力	手書き入力に関する設定ができます。
フルスクリーンモード	横画面表示のときに、専用の入力画面を表示するかどうかを設定します。 一部のアプリでは制限により、動作しない場合があります。
詳細設定	
スプリットキーボード	横画面表示のときに、キーボードを画面の両側に分割表示するかどうかを設定します。
片手操作モード	縦画面表示のときに、キーボードの位置を左右に移動できるようにするかどうかを設定します。
外部アプリケーション	
入力拡張プラグイン	入力拡張プラグインを使用するかどうかを設定します。
辞書	
ユーザー辞書	ユーザー辞書の単語を編集します。
学習辞書リセット	学習辞書の内容をすべて消去します。

リセット	
設定リセット	キーボード設定で変更した設定をリセットします。
IMEについて	
ヘルプ	LG日本語キーボードのヘルプを表示します。 ヘルプでは、機能ボタンの使用、スプリットキーボード、片手操作モードなどの説明を確認できます。
キーボードバージョン	LG日本語キーボードの詳細情報が表示されます。

初期設定

初めて電源を入れたときの設定

お買い上げ後、初めて本端末の電源を入れたときは、画面の指示に従って使用する言語やGoogleアカウントなどの設定、およびドコモサービスの初期設定を行います。

- ネットワークとの接続や設定の省略などによっては手順が異なります。

1 「ようこそ」画面で「次へ」

- 「日本語（日本）」をタップすると、言語を変更できます。
- 以降は画面の指示に従って以下の設定を行い、「次へ」をタップします。
  - Wi-Fi®
  - Googleアカウント
  - メール
  - スマートフォンの保護
  - EULA（エンドユーザーライセンス契約）
  - LGにログ情報の収集を許可するかどうか

2 「ソフトウェアアップデート」画面で「OK」

3 「ドコモサービスへようこそ」画面で注意事項や利用規約などの内容を確認し、「すべてのリンク先の内容に同意する」にチェックマークを付ける▶「設定をはじめる」

- 以降は画面の指示に従って以下の設定を行い、「進む」をタップします。
  - dアカウント
  - ドコモクラウド
  - ドコモアプリパスワード
  - ドコモ位置情報
  - 遠隔初期化※
  - アプリを一括インストールするかどうか

※ ドコモアプリパスワードを設定していない場合は表示されません。

4 「使いはじめる」

お知らせ

- 設定した各機能は後から変更できるものもあります。
- オンラインサービスを設定する前に、データ接続が可能な状態（LTE／3G／GPRS）であることをご確認いただくか、Wi-Fi®ネットワークに接続されていることをご確認ください。
- Googleアカウントを設定しない場合でも本端末をお使いになれますが、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。

通知LEDライト

通知LEDライトの点灯／点滅で、端末の状態をお知らせします。通知LEDライトの動作は次のとおりです。

- 赤色で点滅：不在着信、エリアメールの通知
- 赤色で点灯：充電中、着信時

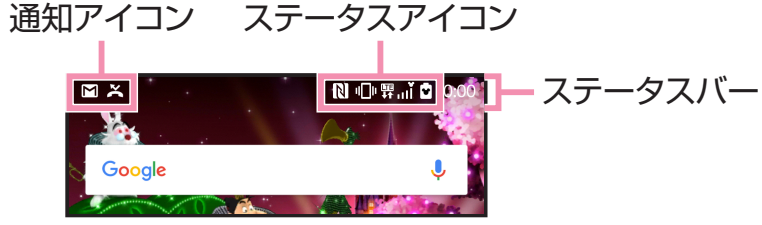
お知らせ

- 充電中の点灯は、本端末の電源のON／OFFにかかわらず動作します。
- 充電中の状態で通知があると、通知の点滅が優先して動作します。

画面表示／アイコンの見かた

ステータスバー

ステータスバーは画面上部に表示されます。ステータスバーには本端末のステータスと通知情報が表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側にステータスアイコンが表示されます。



主なステータスアイコン

	電波レベル
	圏外
 （灰色）	Bluetooth® 機能ON
 （白色）	Bluetooth® デバイスに接続中
	国際ローミング中
 ／ 	3G使用可能／通信中 （待機中は矢印がグレー、受送信中は矢印が白色）
 ／ 	LTE使用可能／通信中 （待機中は矢印がグレー、受送信中は矢印が白色）
 ／ 	FOMAハイスピード／HSDPA使用可能／通信中 （待機中は矢印がグレー、受送信中は矢印が白色）
 ／ 	Wi-Fi® 接続中／通信中
	電池残量
	充電が必要
	充電中

	機内モード設定中
	ドコモnanoUIMカードロック状態、またはドコモnanoUIMカード未挿入
	マナーモード（バイブレートのみ）
	マナーモード（サイレント）
	アラーム設定中
	Reader/Writer, P2P機能ON
	ハンズフリー通話中
	伝言メモ設定中
	GPS測位中
	本端末とドコモnanoUIMカードにNFC／おサイフケータイ ロックを設定中
	本端末またはドコモnanoUIMカードにNFC／おサイフケータイ ロックを設定中
	VPN接続中

主な通知アイコン

	新着Gmailあり
	新着Eメールあり
	新着メッセージ（SMS）あり
	新着エリアメールあり
	メッセージ（SMS）の配信に問題あり
	新着ハングアウトメッセージあり
	着信中、発信中、通話中
	ビデオコール着信中、発信中、通話中
	不在着信あり
	伝言メモあり
	留守番電話あり
	アラーム通知あり
	カレンダーに設定された予定あり
	音楽アプリで音楽を再生中
	メディアプレイヤーで音楽を再生中

	オープンネットワーク（Wi-Fi®）を検出
	インターネット利用不可のWi-Fi®に接続中
	USB接続中
	充電完了
	本端末のメモリの空き容量低下
	データアップロード完了
	データダウンロード完了
	ログインに問題あり
	利用可能なアップデートあり
	アプリのインストール完了
	ワンセグ視聴中
	ワンセグ録画中
	ワンセグ録画終了
	その他の通知あり
	Wi-Fi®テザリング使用可能

	USBテザリング使用可能
	Bluetooth®テザリング使用可能
	Wi-Fi Direct®接続中
	LG Electronics Inc. が提供するアプリのアップデートあり
	バッテリーセーブ機能ON
	おまかせロック中
	docomo LIVE UXからの通知あり
	dアカウント設定の連携開始
	dアカウント設定の認証失敗
	ドコモバックアップアプリの通知あり
	ドコモアプリの位置情報機能ON

お知らせ

-  は、内部ストレージの容量が不足している場合に表示されます。
-  が表示されているときは、アプリをダウンロードしてもインストールができない場合があります。空き容量を確保してから再度アプリのインストールを行ってください。

通知パネル

通知パネルでは、通知アイコンの内容を確認したり、アプリの起動や機能のON／OFFを行ったりすることができます。

通知パネルの見かた

1 ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプする



❶ **日付と時刻**
日付と時刻を表示します。

❷ **キャプチャー＋**
キャプチャした画面に直接文字やイラストを書き込んで編集し、「Qメモ+」や「ギャラリー」に保存できるアプリを起動します。

❸ **Qスライドアプリ欄**
タップしてQスライドアプリ（動画、メッセージ、カレンダー、Eメール、ファイルマネージャー、電卓）を起動します。
- クイック設定アイコン欄で「Qスライド」をタップすると表示されます。

❹ **画面の明るさ調整欄**
スライドバーで画面の明るさを調整します。
- 「自動」をON（アイコンがピンク色の状態）にすると、画面の明るさを自動で調整します。

❺ **着信時の音量調整欄**
- 着信時の音量を調整します。
- をタップすると、音量設定のウィンドウが開きます。
- クイック設定アイコン欄の「編集」から「音量」にチェックマークを付けると表示されます。

❻ **通知情報**
通知情報の詳細を表示します。

❼ **通信事業者名**

❽ **設定ボタン**
「設定」画面が表示されます。

❾ **クイック設定アイコン欄**
各種機能のON／OFFを切り替えます。
- ONの状態ではピンク色、OFFの状態ではグレーで表示されます。
- 左右にスクロールすると、表示されていないアイコンを表示できます。
- ロングタッチすると、各機能の設定メニュー画面が表示されます。
- 「編集」をタッチすると、アイコンのカスタマイズや並べ替えができます。

❿ **通知を消去**
通知情報と通知アイコンの表示を消去します。
通知内容によっては通知を消去できない場合があります。

通知内容の詳細を表示する

1 通知パネルの通知情報をタップする
- 最適なアプリが開き、通知内容の詳細が表示されます。

通知パネルを閉じる

1 通知パネルを上にドラッグまたはスワイプする

お知らせ
- をタップして閉じることもできます。

クイック設定アイコンを並び替える

1 クイック設定アイコン欄の「編集」をタップする

2 並び替えたい項目の ≡ を移動先までドラッグする

クイック設定アイコンをカスタマイズする

1 クイック設定アイコン欄の「編集」をタップする

2 表示したい項目にチェックマークを付ける

アイコンのカスタマイズ

ホーム画面で使用するショートカットのアイコンを自分好みにカスタマイズできます。

お知らせ

- ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「ホームスクリーン」▶「ホーム選択」▶「ホーム」を選択した場合にのみ利用できます。docomo LIVE UXをご利用の場合はアイコンをカスタマイズできません。

標準ホームアプリのアイコンを変更する

1 ホーム画面で、ショートカットのアイコンをロングタッチする

- アイコンの右上に が表示されます。

2 もう一度、ショートカットのアイコンをタップする

- アイコン変更画面が表示されます。

3 お好みのアイコンをタップ▶「OK」

写真アイコンに変更する

カメラやギャラリーの写真をホーム画面のアイコンとして設定することもできます。

1 ホーム画面で、ショートカットのアイコンをロングタッチする

- アイコンの右上に が表示されます。

2 もう一度、ショートカットのアイコンをタップする

- アイコン変更画面が表示されます。

3 「新規追加」▶ ピンク色枠の右下端をドラッグしてアイコンサイズを設定▶「OK」

- ギャラリーが起動します。

4 ギャラリーで設定したい画像を選択▶ サイズを調整▶「OK」

ホーム画面

ホーム画面の見かた



❶ **ウィジェット**

❷ **アプリ**

❸ **現在位置表示**
ホーム画面のページ枚数と現在の位置を示します。ページを切り替えるにはホーム画面を左右にフリックします。

❹ **ドック**
アプリなどが配置されています。ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。
- アプリ：アプリ画面を表示します。

❺ **マチキャラ**

❻ **フォルダ**
複数のアプリが格納されています。

お知らせ

- ホーム画面をピンチアウトすると壁紙が全画面表示されます。ホーム画面に戻すには、全画面表示された壁紙をピンチインしてください。

ホーム画面の管理

ホーム画面の追加

1 ホーム画面でピンチインする
- ホーム画面一覧が表示されます。

2 「+」
- 最大７枚まで追加できます。

お知らせ

- 削除するホーム画面をロングタッチ ▶ 画面上部の「ホームから削除」までドラッグすると、ホーム画面を削除することができます。

アプリやウィジェットなどの追加

1 **ホーム画面で、アプリのアイコンやウィジェットなどがない領域をロングタッチする**

2 **「アプリ」または「ウィジェット」をタップする**

3 **追加するアプリのアイコンまたはウィジェットをタップする**

アプリやウィジェットなどの移動

1 **ホーム画面で、移動するアプリのアイコンまたはウィジェットをロングタッチする**

2 **移動先までドラッグする**

お知らせ

- 画面の右端または左端にドラッグすると、隣のページに移動することができます。

アプリやウィジェットなどのホーム画面からの削除

1 **ホーム画面で、削除するアプリのアイコンまたはウィジェットをロングタッチする**

2 **画面上部の「ホームから削除」までドラッグする**

- 注意画面が表示されます。

3 **「OK」**

- 「今後表示しない」にチェックマークを付けて「OK」をタップすると、注意画面は表示されなくなります。

壁紙の変更

1 **ホーム画面で、アプリのアイコンやウィジェットなどがない領域をロングタッチする**

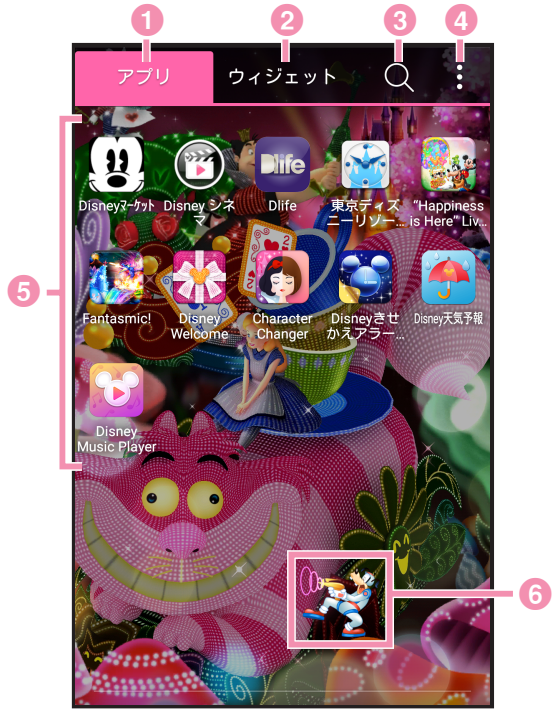
2 **「壁紙」▶「ギャラリー」／「マルチフォト」／「ライブ壁紙」／「Photos」、またはディズニー壁紙一覧からいずれかの壁紙をタップする**

- 「ギャラリー」／「マルチフォト」／「ライブ壁紙」を選択した場合は、必要に応じて編集や画像の範囲の設定などをしてください。

アプリ画面

アプリ画面の見かた

1 ホーム画面で「アプリ」



1 「アプリ」タブ
2 「ウィジェット」タブ
3 「検索」ボタン
4 「メニュー」ボタン
5 アプリアイコン一覧
6 マチキャラ

アプリ一覧

一部のアプリの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがございます。

フォルダに格納されていないアプリ		
	あんしんスキャン	ウイルス検知、個人データを利用するアプリの確認支援、危険サイトアクセス時の注意喚起などにより、スマートフォンを安心してご利用いただくためのアプリです。
	遠隔サポート	「あんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「あんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの端末の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです（P236）。
	音楽	アルバムやアーティストごとに音楽ファイルを整理することができます。

	**おサイフケータイ**	本端末を店などの読み取り機にかざすだけでお支払いなどができます（P122）。
	**おすすめアプリ**	ドコモがお客様のアプリ利用状況にあわせておすすめするアプリを確認・インストールできるアプリです。
	**カメラ**	静止画や動画を撮影できます（P136）。
	**カレンダー**	カレンダーを表示したり、スケジュールを管理したりできます（P155）。
	**ギャラリー**	静止画や動画を閲覧・整理できます（P140）。
	**災害用キット**	災害用伝言板と災害用音声お届けサービス、緊急速報「エリアメール」をご利用いただくためのアプリです（P113）。

	**しゃべってコンシェル**	話しかけるだけであなたの意図を読み取り、天気や乗換情報を調べたり、電話発信やアラーム設定などが簡単にできます。また、豊富なキャラクターとの会話もお楽しみいただけます。
	**スケジュール**	スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています。ｉコンシェルに対応しています。
	**設定**	各種設定を行うことができます（P162）。
	**ダウンロード**	ダウンロードしたデータを確認、表示、または再生できます。
	**タスク**	予定などのタスクを管理できます。
	**データ保管BOX**	データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。

	**テレビ**	ワンセグの視聴などができます（P126）。
	**電卓**	四則演算などができます（P158）。
	**電話**	電話の利用や、通話の設定をすることができるアプリです（P86）。
	**東京ディズニーリゾート®待ち時間ナビ**	東京ディズニーランド® ／東京ディズニーシー®のマップ上で現在地を確認したり、アトラクションの待ち時間を始め、色々な情報をチェックできるアプリです。
	**時計**	アラーム、タイマー、ワールドクロックの設定、およびストップウォッチ測定ができます（P153）。
	**ドコモバックアップ**	「データ保管BOX」もしくは「microSDカード」へのバックアップ・復元を行うためのアプリです（P159）。

	**ドコモメール**	ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。dアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます（P105）。
	**ドコモ電話帳**	ドコモが提供する電話帳アプリです。docomoのアカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます（P99）。
	**取扱説明書**	本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。
	**トルカ**	お気に入りのお店のお得なクーポン・便利な情報などをまとめておくことができるアプリです（P125）。
	**はなして翻訳**	お互いの言葉を相手の言語に翻訳するアプリです。言語の異なる相手とのコミュニケーションを楽しむことができます。

	**ファイルマネージャー**	内部ストレージ、microSDカード内のデータを検索、編集、または削除できます（P204）。
	**フォトコレクション**	写真や動画を無料で5GBまでクラウドにバックアップし、スマートフォン、タブレット、パソコンなどからアクセスできるサービスです。
	**ボイスレコーダー**	音声などを録音できます。
	**マイマガジン**	マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです（P84）。
	**マネレコ**	銀行口座の残高やクレジットカードの明細などをまとめて確認できる家計簿アプリです。
	**メッセージ**	SMSの送受信ができます（P105）。
	**メディアプレイヤー**	音楽や動画を再生することができるアプリです（P142）。

	**メモ**	メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています。iコンシェルに対応しています。
	**Character Changer**	ディズニーキャラクターに変身できるフォトアプリです。
	**dポイント**	dポイントを「確認する」「ためる」「つかう」ことができるアプリです。
	**dマーケット**	音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています（P118）。
	**dメニュー**	「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます（P118）。

	**Disneyきせかえアラーム**	デザインテーマや目覚まし音がカスタマイズできる、シンプルで直観的に使えるアラームです。
	**Disneyシネマ**	「Disneyシネマ」は、人気の長編アニメーション作品からライブアクション映画まで、とっておきの映像コンテンツが見放題の動画サービスです。
	**Disney天気予報**	天気や時間に応じてキャラクターが変化する楽しい天気アプリ。便利なウィジェット機能も搭載。
	**Disneyマーケット**	ディズニーマーケットは、さまざまな「Disneyアプリ」やディズニーおすすめの情報を配信する便利なポータルアプリです（P119）。
	**Disney Music Player**	ディズニーの音楽はもちろん、ディズニー以外の楽曲も再生・管理できるオリジナル音楽プレイヤーです。

	**Disney Welcome**	DM-02Hユーザー限定のスペシャルウェルカムムービー！季節やイベントに応じて変化するメッセージもお楽しみいただけます。
	**Dlife**	BSテレビ局「Dlife」で放送された番組をオンデマンドで視聴できるアプリです。話題の国内外のドラマや情報バラエティ番組をいつでもどこでも視聴いただけます。
	**Eメール**	Eメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます（P108）。
	**Fantasmic!**	メディテレーニアンハーバーを舞台に、魔法使いの弟子となったミッキーが繰り広げる壮大なナイトエンターテイメント「ファンタズミック！」のライブ壁紙です。

	"Happiness is Here" Live Wallpaper	すべての年代の子供たちへ音楽、夢、友情…とびきりの"ハピネス"を分かち合おう。東京ディズニーリゾート®のデイパレード「ハピネス・イズ・ヒア」のライブ壁紙です。
	iコンシェル	スマートフォンがまるで「執事」や「コンシェルジュ」のように、あなたの生活をサポートするサービスです。あなたのスケジュールやお住まいのエリア、現在地に応じて、雨雲アラームや鉄道運行情報、おでかけスポットなど、毎日の生活に役立つ情報を最適なタイミングでお届けします。
	ICタグ・バーコードリーダー	ICタグやバーコードに書き込まれた情報を読み取ることができるアプリです。

	iDアプリ	ドコモが提供する電子マネー「iD」を利用するためのアプリです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。
	Playストア	Google Playからアプリをダウンロードできます（P120）。
	Qメモ＋	メモを作成・管理できるアプリです（P157）。
	Twitter	Twitterの公式クライアントアプリです。サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。

Google		
	スプレッドシート	スプレッドシートの作成や編集ができます。また、他のユーザーと共同編集することもできます。
	スライド	プレゼンテーションの作成や編集ができます。また、他のユーザーと共同編集することもできます。
	ドキュメント	ドキュメントの作成や編集ができます。また、他のユーザーと共同編集することもできます。
	ドライブ	画像や動画などをGoogleドライブに保存したり、共有したりすることができます。
	ハングアウト	Googleハングアウトでチャットができます。
	フォト	写真や動画を閲覧できます。Googleフォトに同期してバックアップしたり、他人と共有したりすることもできます。

	マップ	Googleマップで現在地の確認や目的地の検索などができます（P152）。
	Chrome	Googleのウェブブラウザアプリです。
	Gmail	Googleや一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます。
	Google	クイック検索ボックスで各種情報を検索できます。
	Playムービー&TV	Google Playから映画を購入できます。
	Play Music	音楽を再生します。
	YouTube	動画の再生・投稿ができます。

お知らせ

- このアプリ一覧は、お買い上げ時にプリインストールされているものです。プリインストールされているアプリには一部アンインストールできるアプリがあります。一度アンインストールしても「Playストア」（P120）などから再度ダウンロードできる場合があります。
- ソフトウェアアップデートを行うと、アプリの内容やアイコンの位置が変わることがあります。
- アプリによっては、アイコンの下に名前が最後まで表示されない場合があります。

アプリの管理

アプリのホーム画面への追加

1 **ホーム画面で「アプリ」**

2 **ホーム画面へ追加したいアプリのアイコンをロングタッチする**

3 **そのまま追加したい位置までドラッグし、移動先で指を離す**

- ホーム画面にアプリが追加されます。

アプリのアンインストール

1 **ホーム画面で「アプリ」**

2 **⋮ ▶「アプリの編集／削除」**

- アンインストールできるアプリには、アイコンの右上に ⊗ が表示されます。

3 **アンインストールするアプリをタップ ▶「アンインストール」▶「はい」**

タスクマネージャー

起動中のアプリの確認／終了をします。

1 をタップする

- アプリのサムネイルをタップすると、アプリを起動できます。
- サムネイルを左右にスクロール／フリックすると、一覧から削除できます。
- サムネイルの「×」をタップすると、そのアプリを終了します。
- 「すべて消去」をタップすると、起動中のアプリをすべて終了します。

ホームアプリの切り替えかた

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「ホームスクリーン」

2 「ホーム選択」▶「docomo LIVE UX」／「ホーム」

docomo LIVE UX

ホーム画面の見かた

ホームアプリをdocomo LIVE UXに切り替えたときのホーム画面の見かたを説明します。



1 ウィジェット

2 アプリ
アプリを起動します。

3 現在位置表示
ホーム画面のページ枚数と現在の位置を示します。ページを切り替えるにはホーム画面を左右にフリックします。

4 ドック
アプリなどが配置されています。ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。
- アプリボタン：アプリ画面を表示します。
- マイマガジンボタン：マイマガジンを表示します（P84）。

5 マチキャラ

ホーム画面の管理

ホーム画面に追加できるもの

ホーム画面を自分好みにカスタマイズできます。

1 ホーム画面で、アプリのアイコンやウィジェットなどがない領域をロングタッチする

アプリを表示	アプリ一覧を表示します。追加するアプリをロングタッチして画面下部へ動かすと、ホーム画面に配置できます。
ウィジェットを表示	ウィジェット一覧を表示します。追加するウィジェットをロングタッチして画面下部へ動かすと、ホーム画面に配置できます。
フォルダを作成	フォルダを作成できます。
きせかえを変更	背景や壁紙、文字の色、インジケーターのイメージなどが変更されます。
壁紙を変更	壁紙一覧を表示します。設定する壁紙をタップするか、ロングタッチしてホーム画面に配置すると、設定できます。
マチキャラ設定	マチキャラの表示／動作設定などを行います。 • ホーム画面上のマチキャラをロングタッチしても設定できます。
ホーム画面一覧	ホーム画面の一覧が表示されます。画面の移動や追加／削除を行えます。

アプリなどの移動

1 ホーム画面で、移動するアプリのアイコンまたはウィジェットをロングタッチする

2 そのままドラッグし、移動先で指を離す

アプリをホーム画面からアプリ画面に戻す

1 ホーム画面で、アプリ画面に戻すアプリのアイコンをロングタッチする

2 そのまま上の「アプリ一覧に戻す」にドラッグして指を離す

ウィジェットなどのホーム画面からの削除

1 ホーム画面で、削除するウィジェットをロングタッチする

2 そのまま上の「ホーム画面から削除」にドラッグして指を離す

アプリやウィジェットのアンインストール

1 ホーム画面で、アンインストールしたいアプリのアイコンまたはウィジェットをロングタッチする

2 そのまま上の「アンインストール」にドラッグして指を離す

3 「OK」

お知らせ

- アンインストールできない一部のアプリやウィジェットの場合は、手順2で「アプリ無効化」にドラッグして指を離す▶「無効」▶「はい」をタップすると、アプリを無効化することができます。

フォルダ名の変更

1 ホーム画面で、名前を変更するフォルダをタップする

2 フォルダ名をタップする

3 フォルダ名を入力して「完了」▶ 画面をタップする

きせかえの変更

ホーム画面の壁紙を変えて、イメージを着せ替えます。

1 ホーム画面で、アプリのアイコンやウィジェットなどがない領域をロングタッチ▶「きせかえを変更」

2 設定するテーマを選択▶「設定」

壁紙の変更

1 ホーム画面で、アプリのアイコンやウィジェットなどがない領域をロングタッチ ▶「壁紙を変更」

2 壁紙を選択 ▶「OK」

- 「きせかえを見る」をタップすると、きせかえの変更（P77）ができます。
- 「他の壁紙を見る」をタップすると、「ギャラリー」／「フォト」／「壁紙ギャラリー」／「マルチフォト」／「ライブ壁紙」から選択できます。
- 選択した壁紙によっては、「位置調整」をタップしてサイズを調整したりできます。

ホーム画面の追加

1 ホーム画面で、アプリのアイコンやウィジェットなどがない領域をロングタッチ ▶「ホーム画面一覧」

- ホーム画面でピンチインしてもホーム画面一覧が表示されます。

2 「+」

- 最大７枚までページを追加できます。

ホーム画面の並べ替え

1 ホーム画面で、アプリのアイコンやウィジェットなどがない領域をロングタッチ ▶「ホーム画面一覧」

- ホーム画面でピンチインしてもホーム画面一覧が表示されます。

2 ホーム画面のサムネイルをロングタッチ

3 移動したい位置までドラッグして離す

ホーム画面の削除

1 ホーム画面で、アプリのアイコンやウィジェットなどがない領域をロングタッチ ▶「ホーム画面一覧」

- ホーム画面でピンチインしてもホーム画面一覧が表示されます。

2 削除したいホーム画面のサムネイルの をタップする

アプリ画面の見かた

1 ホーム画面で

- ホーム画面を下にドラッグまたはスワイプしてもアプリ画面が表示されます。



❶ **「アプリ」タブ**
搭載されているアプリのうち、ホーム画面に貼り付けられていないものがアイコンで表示されます。アイコンを選んで、アプリを起動することができます。

❷ **「ウィジェット」タブ**
ホーム画面にウィジェットを追加することができます。

❸ **「壁紙」タブ**
壁紙を変更することができます。

❹ **「おすすめ」ボタン**
ドコモがおすすめするアプリをインストールできます（P82）。

❺ **メニュー**
検索や各種設定、ヘルプなどのメニューを表示します。

❻ **アプリアイコン一覧**

❼ **アプリ画面の現在位置を表示**
左右にフリックして表示を切り替えます。

❽ **ホーム画面領域**

アプリの管理

アプリのホーム画面への移動

1 ホーム画面で

2 ホーム画面へ移動したいアプリのアイコンをロングタッチする

3 そのままホーム画面領域までドラッグし、移動先で指を離す

アプリの移動

1 ホーム画面で

2 移動するアプリのアイコンをロングタッチする

3 そのままドラッグし、移動先で指を離す

アプリのアンインストール

1 ホーム画面で
2 アンインストールしたいアプリのアイコンをロングタッチする
3 そのまま上の「アンインストール」にドラッグして指を離す
4 「OK」

お知らせ

- アンインストールできない一部のアプリやウィジェットの場合は、手順3で「アプリ無効化」にドラッグして指を離す▶「無効」▶「はい」をタップすると、アプリを無効化することができます。

「おすすめ」アプリのインストール

「おすすめ」画面には、ドコモがおすすめするアプリが表示されます。

1 ホーム画面で
2 「おすすめ」ボタン
- 初めて起動するときは、おすすめアプリの説明画面が表示されます。「おすすめアプリを見る」をタップすると、おすすめアプリ一覧が表示され、おすすめアプリの通知がONになります。

3 インストールしたいアプリをタップする
- 画面の指示に従ってアプリをインストールしてください。

お知らせ

- ホーム画面で ▶「おすすめ」ボタン▶ をタップすると、「通知設定」でおすすめアプリの通知のON／OFFを切り替えられます。

すべてのアプリ表示

アプリの位置を検索する機能です。

1 ホーム画面で ▣ をロングタッチ ▶「すべてのアプリを表示」

- すべてのアプリが一覧になったページが表示されます。そのページでアプリをタップすると、ホーム画面やアプリ画面、フォルダで、そのアプリのある画面に遷移し、アイコンにフォーカスが当たった状態で表示されます。

ホーム画面のバックアップと復元

ドコモクラウドにバックアップされたdocomo LIVE UXのデータを使って、ホーム画面のアプリやウィジェット等の配置を復元することができます。その際、ホーム画面の最後にドコモサービスのページが追加されます。

ホーム画面のバックアップ

1 ホーム画面で ▣ をロングタッチ ▶「配置のバックアップと復元」

- ホーム画面の設定情報をバックアップ／復元するには、dアカウントの設定が必要です（P186）。

2 ⚙ ▶「バックアップ」

ホーム画面の復元

1 ホーム画面で ▣ をロングタッチ ▶「配置のバックアップと復元」

2 「最新のバックアップデータを復元」▶「復元する」▶「OK」

- バックアップデータが複数ある場合は、「バックアップデーター覧から復元」をタップしバックアップデータを選択します。

マイマガジン

マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって使えば使うほどお客様の好みに近づいていきます。お知らせの通知や位置情報、ドコモサービス契約情報などを利用したマイマガジンのカスタマイズが利用できるように設定することもできます。

1 ホーム画面で ▦

- マイマガジン画面が表示されます。
- ホーム画面で上にフリックしても、マイマガジン画面を表示することができます。
- 初回起動時にはジャンル設定画面が表示されます。表示するジャンルにチェックマークを付けて「OK」をタップしてください。
- Twitter連携や情報のご利用についての確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

ジャンル設定

1 マイマガジン画面で ⋮ ▶「表示ジャンル設定」

2 表示したいジャンルにチェックマークを付ける

- ⇕ をタップして、ジャンルの ≡ をドラッグすると表示ジャンルを並び替えることができます。

記事の見かた

1 マイマガジン画面で左右にフリックする

- 表示ジャンルが切り替わります。
- マイマガジン画面で下にフリックするとホーム画面に戻ります。
- 「もっと見る」をタップすると、ジャンル内の他の記事が表示されます。

2 表示する記事をタップする

- 記事の概要が表示されます。
- 記事によっては、外部サイトへ直接アクセスすることがあります。

3 「元記事サイトへ」

- 記事の配信元にアクセスします。

ホームアプリの情報

バージョン情報

docomo LIVE UXの提供者やバージョン情報、ライセンス情報などが確認できます。

1 ホーム画面で ▣ をロングタッチ ▶「アプリケーション情報」

ヘルプ

docomo LIVE UXについての詳細説明や操作方法などが確認できます。

1 ホーム画面で ▣ をロングタッチ ▶「ヘルプ」

電話

電話をかける

1 ホーム画面で「電話」▶「ダイヤル」タブ



❶ **「電話帳」ボタン**
「ドコモ電話帳」アプリが起動します。

❷ **タブ**
「ダイヤル」タブ：ダイヤル画面が表示されます。
「履歴」タブ：履歴画面が表示されます（P95）。
「お気に入り」タブ：お気に入りに追加した連絡先の一覧が表示されます。

❸ **電話番号入力欄**
入力した電話番号が表示されます。

❹ **ダイヤルキー**

❺ **電話発信ボタン**

❻ **メニュー**
メニューを表示します。

❼ **削除ボタン**
一番右側の番号を削除します。ロングタッチすると、入力された番号をすべて削除できます。

❽ **「電話帳登録」ボタン**
入力した電話番号を電話帳に登録します。

2 電話番号を入力▶

■ ビデオコールを発信する場合

⋮▶「ビデオコール」をタップします。

3 通話が終了したら「終了」

お知らせ

- VoLTEは、通話やビデオコールを高品質でご利用いただけます。VoLTEのご利用には、自分と相手が以下の条件を満たす必要があります。
  - VoLTE対応機種であること
  - VoLTE利用可能エリアであること
  - モバイルネットワーク設定※1がLTE／3G／GSM（自動）に設定され、通話モード設定※2がVoLTE ONに設定されていること

  ※1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「優先ネットワークタイプ」

  ※2 ホーム画面で「電話」▶⋮▶「通話設定」▶「通話モード設定」
- ビデオコールは、お互いの映像を見ながら通話ができます。また、音声通話に切り替えられます。
  - ビデオコールの発信時は音声通話料およびパケット通信料がかかります。また、着信時にもパケット通信料がかかります。
  - 映像はベストエフォート通信（通信の混雑具合に応じた最適速度となる）のため、通信環境により品質は異なります。
  - 音声通話中にビデオコールへ切り替えができなかった場合は、画面上にビデオコール切り替えに失敗した旨が表示され、音声通話が継続されます。
  - ビデオコールの映像は、ご利用機種により表示処理に違いがあるため、本端末で表示される自分の映像と相手に表示される映像の範囲が異なる場合があります。

ポーズを入力する

銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、あらかじめメインの電話番号と追加番号を一度に入力して発信するためには、「2秒間の停止を追加」または「待機を追加」を使用します。

2秒間の停止「,」を追加する

電話発信後、2秒間一時停止してから、自動的にサービスの番号をダイヤルします。

1. ホーム画面で「電話」▶「ダイヤル」タブ
2. 電話番号を入力▶ ⋮ ▶「2秒間の停止を追加」
   - 電話番号の後ろに「,」（カンマ）が表示されます。
3. 利用するサービスのメニュー番号などを入力▶
   - 2秒後にプッシュ信号（番号）が自動的に送信されます。

待機「;」を追加する

電話発信後、サービスの番号を送信するかどうかの確認メッセージが表示されます。

1. ホーム画面で「電話」▶「ダイヤル」タブ
2. 電話番号を入力▶ ⋮ ▶「待機を追加」
   - 電話番号の後ろに「;」が表示されます。
3. 利用するサービスのメニュー番号などを入力▶
4. 確認メッセージが表示されたら「はい」
   - プッシュ信号（番号）が送信されます。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

お知らせ

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定にかかわらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信できる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内ではドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合や、PINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中には緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 着信拒否設定をONにした状態で緊急通報110番、119番、118番に発信すると、着信拒否設定の項目がOFFに設定されます。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。
- ビデオコールでは緊急通報は利用できません。

国際電話を利用する（WORLD CALL）

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用いただける国際電話サービスです。

- WORLD CALLの詳細については、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 「海外利用」→P217

一般電話へかける場合

1. **ホーム画面で「電話」▶「ダイヤル」タブ**
2. **「010」▶ 国番号 ▶ 地域番号（市外局番）▶ 相手先電話番号の順に入力して**
3. **通話が終了したら「終了」**

携帯電話へかける場合

1. **ホーム画面で「電話」▶「ダイヤル」タブ**
2. **「010」▶ 国番号 ▶ 相手先携帯電話番号の順に入力して**
3. **通話が終了したら「終了」**

お知らせ

- 相手先の携帯電話番号、地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- 「010」のかわりに「+」（「+」は「0」をロングタッチします）や従来どおりの「009130010」でもかけられます。
- 「ダイヤル」タブで電話番号を入力 ▶ ⋮ ▶「国際電話発信」▶ 国を選択 ▶「WORLD CALL」をタップすると「009130010」＋国番号が追加されます。

電話を受ける

音声着信の場合

- アプリ起動中に着信があった場合→P92

1 電話がかかってくる

着信中画面（全画面）が表示されます。
- 伝言メモ録音：⋮▶「応答メッセージ再生」
- 着信音、バイブレートの動作をとめる：電源キーまたは音量キー（上）／音量キー（下）を押す

2 🔒▶「応答」
- 着信拒否：「拒否」
- 応答拒否：「拒否してSMS送信」▶送信したいメッセージをタップする

3 通話が終了したら「終了」

ビデオコール着信の場合

- アプリ起動中に着信があった場合→P92

1 電話がかかってくる

着信中画面（全画面）が表示されます。
- 応答拒否：⋮▶「拒否してSMS送信」
- 伝言メモ録音：⋮▶「応答メッセージ再生」
- 自分の画像を相手に送信しない：⋮▶「カメラOFF応答」
- 着信音、バイブレートの動作をとめる：電源キーまたは音量キー（上）／音量キー（下）を押す

2 🔒▶「ビデオ応答」
- 音声で応答：🔒▶「音声応答」
- 着信拒否：「拒否」

3 通話が終了したら「終了」

お知らせ
- 拒否メッセージの文章は、ホーム画面で「電話」▶⋮▶「通話設定」▶「応答拒否SMS」で変更できます。

アプリ起動中に着信があった場合

アプリを起動中やバックライト点灯中（ロック画面を除く）に着信があると、画面上部にポップアップ画面が表示され、「応答」／「ビデオ応答」をタップすると、通話を開始できます。

- 画面上部にポップアップ着信画面が表示された場合、着信相手の名前または電話番号部分をタップすると、着信中画面（全画面）を表示することができます。

■ 音声着信の場合



■ ビデオコール着信の場合



不在着信の相手に電話をかける／SMSを送信する

不在時に着信があった場合は、ステータスバーから不在着信の通知を確認できます。

1 ステータスバーに 📵 が表示されている状態でステータスバーを下にドラッグまたはスワイプする

- 通知パネルに不在着信の通知が表示されます。

2 「不在着信」／「発信」／「SMS」

- 「不在着信」：発着信履歴が表示されます。
- 「発信」：相手に電話をかけます。
- 「SMS」：メッセージ入力画面が表示されます。メッセージを入力して、「送信」をタップすると、メッセージが送信されます。

通話中の操作

通話中画面では次の操作ができます。

- 通話中に音量キー（上）／音量キー（下）を押すと、通話音量を調節することができます。

音声通話の場合



1 名前と電話番号

2 終了
通話を終了します。

3 ダイヤルキー
ダイヤルパッドを表示してプッシュ信号（DTMFトーン）を送信します。

4 保留※1
通話を一時保留にします。

5 サブメニューの表示
ミュートのON／OFFを切り替えたり、キャッチホン※2を利用して別の相手との通話を追加の操作ができます。

6 通話時間

7 高音質表示
VoLTEを利用した高音質通話の場合に表示されます。

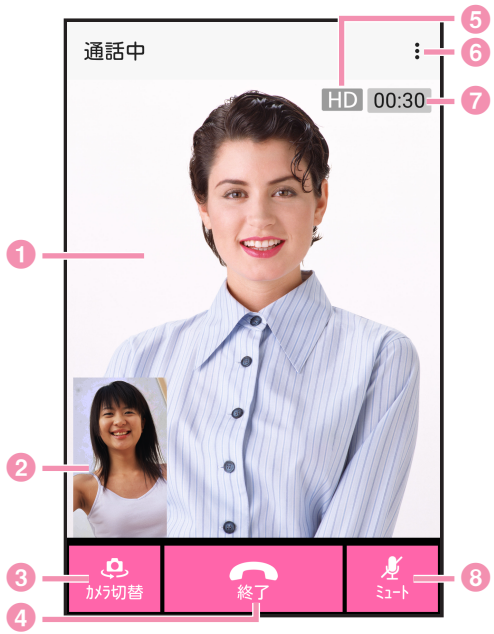
8 スピーカー※1
相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します。

9 ビデオ切替
ビデオコールに切り替えます。

※1 もう一度タップするとタップ前の状態に戻ります。

※2 キャッチホンのご契約が必要です。

ビデオコール通話の場合



1 相手の画像
相手の設定によっては、代替画像が表示されます。
- 相手の映像を受信できないときは が表示されます。

2 自分の画像

3 カメラ切替
相手に送信する映像のカメラをフロントカメラ／メインカメラを切り替えます。

4 終了
通話を終了します。

5 高音質表示
VoLTEを利用した高音質通話の場合に表示されます。

6 メニュー
通話中画面のメニューを表示します。
- ⋮▶「音声切替」をタップすると、音声通話に切り替えます。
- ⋮▶「ダイヤルキー」をタップすると、カメラ機能をOFFにして、ダイヤル画面を表示します。
- ⋮▶「音声出力先切替」をタップすると、音声の出力先を切り替えることができます。
- ⋮▶「カメラOFF」をタップすると、相手に映像が送信されなくなります。
- ⋮▶「映像エリア切替」をタップすると、「自分の画像」と「相手の画像」の表示エリアが入れ替わります。

7 通話時間

8 ミュート
自分の声が相手に聞こえないようにします。

お知らせ
- ビデオコール通話中に、映像部分をタップすると、映像の全画面表示／全画面解除を切り替えることができます。
- ビデオコール通話中に、アプリを「電話」から切り替えた場合、相手に映像が送信されなくなります。
- 音声通話中に、相手がビデオコールに切り替えた場合は、ビデオコールへの切り替えを確認するポップアップが表示されます。「許可」をタップするとビデオコール通話中の画面になります。

履歴

履歴画面では、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴を一覧で確認できます。

- 最大500件まで表示できます。

1 ホーム画面で「電話」▶「履歴」タブ



1 電話帳
「ドコモ電話帳」アプリが起動します。

2 タブ
「ダイヤル」タブ：ダイヤル画面が表示されます(P86)。
「履歴」タブ：履歴画面が表示されます。
「お気に入り」タブ：お気に入りに追加した連絡先の一覧が表示されます。

3 履歴切り替え
- 着信履歴または発信履歴のみの表示に切り替えます。
- 「すべて」をタップすると、すべての発着信履歴を表示します。

4 名前、電話番号、発着信日時
- タップすると発信画面を表示します。発信画面の項目をタップすると、電話発信、SMS送信、ビデオコール発信、電話帳登録、またはプロフィール画面の表示などを行います。
- ロングタッチすると、「発信前に番号を編集」、「通話履歴から削除」、「お気に入りに登録」、「居場所を確認」などを行うことができます。

5 メニュー
メニューを表示します。

6 発信、着信、不在着信
音声通話／ビデオコールの区別は表示されません。

7 音声電話発信キー
発着信履歴の電話番号に音声発信します。

履歴を削除する

1 ホーム画面で「電話」▶「履歴」タブ

2 ⋮ ▶「履歴削除」

3 削除したい履歴または「全選択」にチェックマークを付ける ▶「削除」▶「削除」

- 履歴が削除され、「履歴」タブ画面に戻ります。

伝言メモ

電話に応答できないときに、応答メッセージを流して伝言を録音する伝言メモを設定できます。

1 ホーム画面で「電話」▶ ⋮ ▶「通話設定」

2 「伝言メモ」

3 「伝言メモ」にチェックマークを付ける

- 「応答時間」：0 ～ 120秒まで設定できます。
- 「応答メッセージ」：着信時の応答メッセージを設定します。

お知らせ

- 伝言メモは、1件あたり最大60秒、最大20件まで録音できます。ただし、再生済みの伝言メモがある場合、次の伝言メモ保存時に再生済みの伝言メモを古い順から削除し、新しい伝言メモを保存します。
- ビデオコールを伝言メモで応答すると、自動的に音声通話に切り替わり録音されます。
- 録音された伝言メモを確認するには、ステータスバーに 📼 が表示されている状態でステータスバーを下にドラッグまたはスワイプ ▶「新しい伝言メモ」をタップするか、ホーム画面で「電話」▶ ⋮ ▶「通話設定」▶「伝言メモ」▶「伝言メモを再生する」をタップします。確認したい伝言メモをタップすると再生され、再度タップすると停止します。
- 録音された伝言メモを削除するには、ホーム画面で「電話」▶ ⋮ ▶「通話設定」▶「伝言メモ」▶「伝言メモを再生する」▶ 🗑 ▶「すべて選択」または削除する伝言メモにチェックマークを付ける ▶「削除」▶「はい」をタップします。

通話設定

各種通話に関する設定を行います。

1 ホーム画面で「電話」▶ ⋮ ▶「通話設定」

ネットワークサービス	留守番電話サービス※	サービスの開始／停止などを行います。
	転送でんわサービス※	サービスの開始／停止、転送先変更などを行います。
	キャッチホン※	サービスの開始／停止、設定確認を行います。
	発信者番号通知	発信者番号通知設定を行います。
	迷惑電話ストップサービス	着信番号拒否の登録、削除、登録件数の確認を行います。
	番号通知お願いサービス	番号非通知でかけてきた相手の方に、番号通知を依頼するガイダンスを流して自動的に通話を終了するよう設定します。
	通話中着信設定※	サービスの開始／停止、設定確認を行います。
ネットワークサービス	着信通知	電源OFFや圏外時、通話中に着信できなかった場合に、SMSで着信をお知らせします。
	英語ガイダンス	発着信時の音声ガイダンスや各種ネットワークサービス設定時のガイダンスを英語に設定できます。
	遠隔操作設定	ドコモの携帯電話、一般電話、NTT公衆電話などから遠隔操作を行えるよう設定します。
	公共モード（電源OFF）設定	電源を切っている場合や、機内モード設定中の場合の着信時に、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。
海外設定		（P223）

音・バイブレーション設定	
着信音	着信音を設定します。
着信バイブレーション	着信したときに振動するかどうかを設定します。
ダイヤルパッド操作音	ダイヤル画面で数字キーをタップしたときの操作音を鳴らすかどうかを設定します。
着信設定	
伝言メモ	（P96）
着信拒否設定	ONにすると、登録外着信拒否、非通知着信拒否、公衆電話着信拒否、通知不可能着信拒否を設定できます。
応答拒否SMS	電話の着信を拒否して相手に送信するSMSの編集を行います。

発信設定	
サブアドレス設定	サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。電話番号に含まれる「＊」をサブアドレスの区切り子とします。
プレフィックス設定	プレフィックスの編集、追加、削除をします。国際電話番号や市外局番などを登録して、発信時に付加できます。
その他設定	
通話モード設定	VoLTE通話が利用可能な場合に、VoLTEを利用するかどうかを設定します。
通話時間	積算通話時間の表示やリセットを行います。また、積算通話時間を毎月１日にリセットするかどうかを設定します。

ジェスチャー	着信時に本体を裏返すと、着信音をミュートするかどうかを設定します。
ドコモへのお問合せ	故障や海外での紛失・盗難などについてドコモに問い合わせることができます。また、ドコモ総合案内・受付へ発信することもできます。
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。

※ ビデオコールではご利用いただけません。

電話帳

ドコモが提供する「ドコモ電話帳」アプリを利用して、名前や電話番号、メールアドレスなどさまざまな情報の連絡先を管理できます。

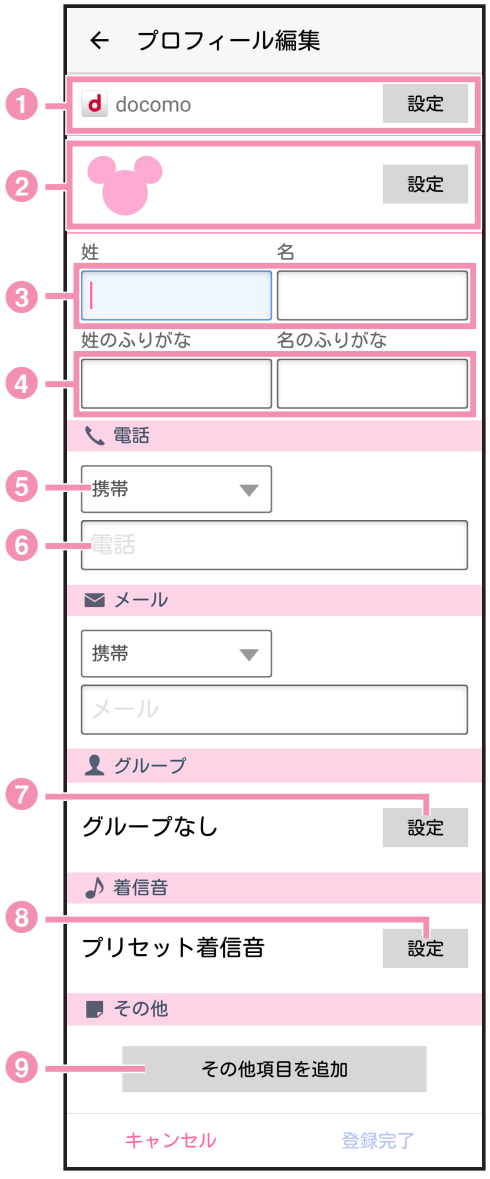
- 電話帳でクラウドサービスをご利用になる際は、ドコモ電話帳アプリが必要です。
- ドコモの電話帳アプリを初めて起動する場合（アプリの初期化後を含む）、「クラウドの利用について」という画面が表示され、クラウドの利用を設定できます。

電話帳に登録する

新たに連絡先を登録できます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ドコモ電話帳」▶「連絡先」タブ

2 「登録」



❶ アカウント

保存先のアカウントが表示されます。

- 「設定」をタップするとアカウントを選択できます。

❷ 画像欄

「設定」をタップすると、画像を登録できます。
写真を撮影する場合は「写真を撮影」、保存済みの画像を選択するには「画像を選ぶ」をタップします。

❸ 姓、名

❹ 姓のふりがな、名のふりがな

❺ ラベルキー

入力内容のラベル（種類）を選択できます。
「カスタム」をタップすると新しいラベル名が作成できます。

❻ 入力欄

電話番号、メールアドレス、住所などを入力できます。

❼ グループ※

「設定」をタップするとグループを選択できます。

❽ 着信音設定ボタン

❾ その他項目を追加

住所やニックネーム、メモなどを入力できます。

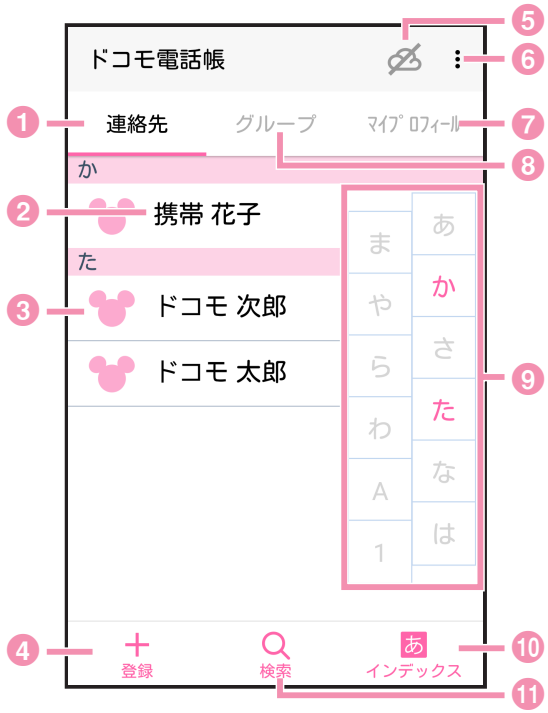
※ グループを登録している場合のみ表示されます。

3 「登録完了」

連絡先を確認／利用する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ドコモ電話帳」

- 連絡先一覧画面が表示されます。



1「連絡先」タブ
連絡先一覧画面を表示します。

2 電話帳に登録された名前

3 電話帳に設定された写真

4 登録（P99）
連絡先を新規登録します。

5 クラウドの同期の開始／停止

6 メニュー
メニューを表示します。

7「マイプロフィール」タブ（P104）
マイプロフィール画面が表示され、ご利用の電話番号の確認や、お客様ご自身のプロフィール情報の編集・管理ができます。

8「グループ」タブ（P103）
タップしてグループを選択し、グループごとの連絡先を表示します。

9 インデックス文字表示域
「インデックス」をタップすると、名前を五十音順、アルファベット順などで検索できるインデックス文字が表示されます。

10 インデックス
インデックス文字表示域を表示します。

11 検索
連絡先を検索します。

2 確認／利用する連絡先をタップする

- プロフィール画面が表示されます。
- 「編集」をタップすると、連絡先を編集できます。
- 電話欄の をタップすると、電話をかけることができます。また、電話番号をタップすると、SMSを作成したり、ビデオコールを発信したりすることができます。
- メールアドレスをタップすると、アプリを選択してメールを作成できます。

電話帳の表示アカウントを変更する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ドコモ電話帳」▶「連絡先」タブ

2 ⋮ ▶「設定」▶「表示するアカウント」

3 表示するアカウントを選択 ▶「決定」

連絡先を削除する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ドコモ電話帳」▶「連絡先」タブ

2 削除したい連絡先をタップする

3 ⋮ ▶「削除」▶「OK」

お知らせ

- 「連絡先」タブで ⋮ ▶「連絡先削除」▶「全選択」または削除したい連絡先にチェックマークを付ける ▶「決定」▶「OK」をタップしても連絡先を削除できます。

グループを追加／編集する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ドコモ電話帳」▶「グループ」タブ

2 「グループ追加」

■ **登録済みのグループを編集する場合**
編集したいグループをタップ▶「編集」▶ 編集を行う▶「OK」をタップします。

■ **グループを削除する場合**
⋮▶「グループ削除」▶ 削除したいグループにチェックマークを付ける▶「決定」▶「OK」をタップします。

■ **グループの表示順を並べ替える場合**
「並べ替え」▶ グループをタップ▶ グループを表示したい位置にドラッグ▶「決定」をタップします。

3 アカウントを選択▶ グループ名を入力▶ アイコン、色を選択する

4 「OK」

お知らせ

- グループ作成時に色やアイコンを設定したり、グループ一覧で並べ替えができるのは、保存先がdocomoのアカウントのグループのみです。

グループに連絡先を追加する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ドコモ電話帳」▶「グループ」タブ

2 グループをタップ▶「メンバー追加」▶ 追加したい連絡先にチェックマークを付ける▶「決定」▶「OK」

お知らせ

- グループに追加できる連絡先は、保存先がdocomoのアカウントまたはGoogleアカウントの連絡先のみです。

グループから連絡先を削除する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ドコモ電話帳」▶「グループ」タブ

2 グループをタップ▶「メンバー削除」▶ 削除したい連絡先にチェックマークを付ける▶「決定」▶「OK」

マイプロフィールを登録する

ご利用の電話番号を確認したり、お客様ご自身でプロフィール情報を登録、編集、削除したりできます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ドコモ電話帳」▶「マイプロフィール」タブ

2 「編集」▶ 必要な項目を入力 ▶「登録完了」

連絡先をインポート／エクスポートする

ドコモnanoUIMカードと本端末の間で連絡先をインポートしたり、連絡先データ（vCard）として送信したりできます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ドコモ電話帳」▶「連絡先」タブ

2 ⋮ ▶「SDカード／ SIMカード／共有」

3 項目を選択する

SIMカードから復元：電話番号、メールアドレスの種別は「その他」としてインポートされます。

SDカードへバックアップ／復元：ドコモバックアップアプリを使用して、電話帳やその他のデータをmicroSDカードなどに、一括でバックアップ／復元することができます。

全件データ送信（共有）：Bluetooth®通信やメールなどのアプリを起動し、連絡先データを全件送信します。

※ アプリによっては対応していない場合もあります。

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール

ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。
送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。
ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で「ドコモメール」
- 以降は画面の指示に従って操作してください。

お知らせ
- ドコモメールの画面テーマを以下の手順で「Disney Electrical」のテーマに変更できます。ホーム画面で「ドコモメール」▶「その他」▶「メール設定」▶「表示カスタマイズ」▶「きせかえテーマ」▶「Disney Electrical」▶「決定」▶「OK」をタップしてください。

SMS

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。
※ 送受信できる文字数などの詳細については、ドコモのホームページの「ショートメッセージサービス（SMS）」をご覧ください。

メッセージ（SMS）を送信する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「メッセージ」
- 「メッセージ」画面が表示されます。

2 ＋

3 「To」ボックスに送信相手の電話番号を入力する
- をタップすると電話帳が表示され、送信先を選択できます。

4 「メッセージ入力」ボックスにメッセージを入力する

5 「送信」
- メッセージが送信されます。

お知らせ

- デフォルトメッセージアプリをハングアウトに切り替えることができます。→P186
- メッセージを入力中に ⋮ ▶「顔文字を挿入」をタップすると、顔文字が挿入できます。
- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信が可能です。利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」▶「国番号」▶「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。

メッセージ（SMS）を受信する／読む

1 ホーム画面で「アプリ」▶「メッセージ」

- 「メッセージ」画面にスレッド（メッセージを送受信した相手）一覧が表示されます。

2 いずれかのスレッドをタップする

- メッセージが表示されます。

メッセージ（SMS）の設定を変更する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「メッセージ」

- 「メッセージ」画面が表示されます

2 ⋮ ▶「設定」

3 必要に応じて設定を変更する

通知		
通知設定	通知	新着メッセージの通知を表示するかどうかを設定します。
	新着メッセージ通知※1	メッセージ受信時に、新着メッセージをポップアップ表示するかどうかを設定します。ポップアップ画面では返信、発信者の表示、メッセージ本文の表示、ポップアップ画面表示の消去ができます。
	プレビュー※1	メッセージ受信時に、メッセージの本文を表示するかどうかを設定します。

通知設定	通知音※1	メッセージ受信時に鳴らす音を設定します。
	バイブ※1	メッセージ受信時に、振動してお知らせするかどうかを設定します。
	通知繰り返し※1	繰り返して通知するかどうかを設定します。
メッセージ		
テキストメッセージ		送信するすべてのメッセージに対し配信済み確認レポートを要求するかどうか、およびメッセージセンターなどを設定します。
一般		
一般設定	スレッドのテーマ	スレッドの壁紙や吹き出しのスタイルを設定します。 ・「壁紙」タブで「ギャラリー」／「カメラ」をタップすると、本端末に保存されている静止画を選択またはカメラで静止画を撮影してスレッドの壁紙として設定することができます。
一般設定	URLを開く	メッセージ内のURLをタップすることで、ウェブページを開くようにするかどうかを設定します。
	クイックメッセージ	定型文を追加／編集します。
	エンターキーでメッセージを送信	エンターキーでメッセージを送信するかどうかを設定します。
	古いメッセージの削除	メッセージ数が上限に達している時に新しいメッセージを送信／受信した際、古いメッセージから削除するかどうかを設定します。
	テキストメッセージの制限件数※2	テキストメッセージの上限件数を設定します。

※1「通知」にチェックマークが付いている場合のみ設定可能です。
※2「古いメッセージの削除」にチェックマークが付いている場合のみ設定可能です。

Eメール

一般のプロバイダが提供するPOP3やIMAPなどに対応したEメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。

Eメールアカウントを設定する

あらかじめ、ご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Eメール」

- 「メールプロバイダーの選択」画面が表示されます。

2 プロバイダーを選択する

3 Eメールアドレスとパスワードなどを入力する

4 「手動セットアップ」／「次へ」

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- 「手動セットアップ」をタップした場合やアカウントの種類によってはアカウントタイプを選択します。以降は画面に従って設定してください。設定情報などにつきましては、サービスプロバイダにお問い合わせください。

お知らせ

- ここで設定した内容は、後から変更できます。詳しくは「アカウント設定」（P111）をご参照ください。

受信したEメールを表示する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Eメール」

- 新着メールを自動で受信します。

2 「受信トレイ」画面でいずれかのメールをタップする

- メール画面にメールの内容が表示されます。

お知らせ

- 「Eメール自動同期」にチェックマークを付けていない場合、新着メールは自動で受信されません（P111）。
- 複数のメールアカウントを設定している場合は、「受信トレイ」画面で ▶ 登録しているアカウントのフォルダをタップして切り替えることができます。

Eメールを作成して送信する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Eメール」

- 「受信トレイ」画面が表示されます。

2 ＋

3 「To」ボックスに送信相手のメールアドレスを入力する

- 入力したアドレスまたは連絡先の名前に部分一致する連絡先が表示されます。
- 👤 をタップすると電話帳が表示され、送信先を選択できます。

4 「件名」ボックスに件名を入力する

- ⋮ ▶「優先度」▶「高」／「中」／「低」をタップするとメールに優先度が設定され、件名にアイコンが表示されます。アイコンの意味は次のとおりです。
  ！：高　なし：中　↓：低

5 本文欄にメッセージを入力する

- ファイルを添付する場合は、📎 ▶ ファイルを選択します。

6 ➤

- メールが送信されます。

お知らせ

- 無効なメールアドレスを入力して送信すると、「To」ボックスの右側に ⚠ が表示されます。入力内容を確認して修正してください。

アカウントを追加する

「Eメール」アプリでは、複数のアカウントを登録して利用することができます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Eメール」

- 「受信トレイ」画面が表示されます。

2 ⋮ **▶「設定」**

3 「アカウントを追加」

4 メールプロバイダーを選択する

5 メールアドレスとパスワードなどを入力する

6 「手動セットアップ」／「次へ」

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- 「手動セットアップ」をタップした場合やアカウントの種類によってはアカウントタイプを選択します。以降は画面に従って設定してください。設定情報などにつきましては、サービスプロバイダにお問い合わせください。

Eメールの設定を変更する

基本設定

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「Eメール」**

・「受信トレイ」画面が表示されます。

2 **▶「設定」▶「Eメール設定」**

3 **必要に応じて設定を変更する**

表示	
メールプレビュー	Eメールのプレビューの行数を設定します。
スレッド表示	同じ件名の送信／受信メールを1つのスレッドで表示するかどうかを設定します。
分割表示	横画面表示時に、分割表示をするかどうかを設定します。
詳細設定	
デフォルトアカウント設定	デフォルトで使用するアカウントを設定します。
VIP設定	Eメール通知がOFFの状態でも、VIPリストに登録された相手からの受信メールを通知します。
保存先	保存先を内部ストレージにするか、microSDカードにするかどうかを設定します。
削除前に確認する	Eメールを削除するときに確認画面を表示するかどうかを設定します。
自動表示	Eメールを削除／移動した後に表示する画面を選択します。
画像の表示	画像を自動でダウンロードして表示するかどうかを設定します。

アカウント設定

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Eメール」

・「受信トレイ」画面が表示されます。

2 ⋮▶「設定」▶いずれかのメールアカウントをタップする

3 必要に応じて設定を変更する

名前を表示	
アカウント名	アカウント名を設定します。
名前	ユーザー名を設定します。
署名	署名を使用するかどうかを設定します。
署名の編集	署名の文言を編集します。
通知設定	
通知	新着メール通知を表示するかどうかを設定します。
通知音	通知音を設定します。
バイブ	新着メールを受信したときの振動の設定を行います。

同期設定		
Eメール自動同期		Eメールの自動同期をするかどうかを設定します。
同期スケジュール		ピークタイムに同期、ピーク日、ピークタイム期間などの設定を行います。
Eメール同期間隔※1		Eメールの同期間隔を設定します。
メッセージサイズ制限		メッセージのサイズを設定します。
詳細設定		
詳細設定	**表示するEメールの件数**※2	表示したいメールの件数を設定します。
	添付ファイルの自動ダウンロード※1	Wi-Fi® 接続中にEメールを受信した際、自動で添付ファイルもダウンロードするかどうかを設定します。
	常にCc／Bccに自分を追加する	Cc／Bccに自分を追加するかどうかを設定します。
	自動再送回数	自動再送回数を設定します。

詳細設定	サーバーから削除※2	サーバーから削除するタイミングを設定します。
	セキュリティ設定	Eメール保護のためにデジタル署名、暗号化などを設定します。
	サーバー設定	
	受信サーバーの設定	受信サーバーの設定を変更できます。
	送信サーバーの設定	送信サーバーの設定を変更できます。

※1 POP3アカウントの場合は表示されません。
※2 POP3アカウントの場合にのみ表示されます。

Gmail

Gmailは、GoogleのオンラインEメールサービスです。本端末のGmailを使用して、Eメールの送受信が行えます。

- Gmailを利用するには、メールアドレスの設定が必要です。メールアドレスの設定画面が表示された場合、画面の指示に従って設定を行ってから操作してください。
- Gmailの詳細については、Gmailの画面で ▶「ヘルプとフィードバック」をタップしてご覧ください。

Gmailを開く

1 ホーム画面で「Google」▶「Gmail」

- Gmailの新機能に関する画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 読みたいメールをタップする

- 選択したメールの内容が表示されます。

Gmailを作成して送信する

1 ホーム画面で「Google」▶「Gmail」

2 

3 「To」ボックスに送信相手のメールアドレスを入力する

4 「件名」ボックスに件名を入力する

5 「メールを作成」ボックスにメッセージを入力する

- ファイルを添付する場合は、 ▶ ファイルを選択します。

6 

- メールが送信されます。

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中などは受信できません。また、本端末のメモリ容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかったエリアメール（緊急地震速報）を再度受信することはできません。
  エリアメール（津波警報、災害・避難情報）は再送され、受信できなかった場合は再度受信が可能になります。

緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴り、ステータスバーに通知アイコンが表示され、受信画面が表示されます。

- ブザー音・着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- お買い上げ時は、マナーモード（バイブレートのみ、サイレント）設定中でもブザー音・着信音が鳴ります。鳴動しないように設定できます（P114）。

受信したエリアメールを表示する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「災害用キット」▶「緊急速報「エリアメール」」

2 いずれかのエリアメールをタップする

エリアメールを削除する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「災害用キット」▶「緊急速報「エリアメール」」

2 削除したいエリアメールにチェックマークを付ける▶「削除」▶「OK」

- すべてを選択するには「すべて選択」をタップします。

緊急速報「エリアメール」を設定する

エリアメールを受信するかどうかや、着信時の動作などを設定できます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「災害用キット」▶「緊急速報「エリアメール」」

2 ⋮▶「設定」

3 必要に応じて設定を変更する

受信設定	エリアメールを受信するかどうかを設定します。
着信音	ブザー音・着信音の鳴動時間、マナーモード（バイブレートのみ、サイレント）時の動作を設定します。
受信画面および着信音確認	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の受信画面とブザー音・着信音を確認します。
やさしい日本語表示	緊急地震速報・津波警報をわかりやすい日本語で表示するか設定します。

ブラウザ

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにウェブページが閲覧できます。
本端末では、パケット通信またはWi-Fi®による接続でブラウザを利用できます。

ブラウザを開く

1 ホーム画面で「Chrome」

- ウェブページが表示されます。



❶ 検索ボックス
タップすると検索ボックスが表示されます。検索する文字やURLを入力すると、ウェブページの候補や検索候補がリスト表示されます。
リストのいずれかをタップすると、ウェブページが表示されます。

❷ ホーム
ホームページに設定しているウェブページが表示されます。

❸ ウィンドウ切り替え
- ⊞ をタップすると新規ブラウザが開きます。
- ⋮ をタップするとメニューを表示します。
- 「×」をタップするとタブを閉じます。

❹ メニューアイコン
ブラウザのメニューを表示します（P116）。

お知らせ

- 画面の上にある検索ボックスやアイコンなどが表示されていない場合、ブラウザ画面を下にスクロールすると表示されます。
- ウェブページをピンチアウト／ピンチインすると表示を拡大／縮小することができます。
- パソコン用に作成されたウェブページを表示する場合でも、表示を拡大／縮小したり、スクロールできます。詳しくは「タッチスクリーンの操作」（P46）をご参照ください。
- ウェブページの操作は、ウェブサイトの形式や内容によって異なる場合があります。
- ウェブページのテキストをロングタッチすると、テキストを選択できます。
  テキストを選択すると、以下のメニューが表示される場合があります。
  - 「すべて選択」：ウェブページ内のすべてのテキストを選択します。
  - 「コピー」：テキストをコピーします。
  - 「共有」：アプリやサービスを利用してテキストを送信します。
  - 「ウェブ検索」：テキストをウェブ検索します。
    表示されない場合は、⋮ をタップしてください。
- 本端末で表示、再生できるファイル形式については、「ファイル形式」（P248）をご参照ください。

シークレットタブを開く

ブラウザの履歴や検索履歴を残さずに、ウェブページの閲覧ができます。

1 ホーム画面で「Chrome」▶ ⋮ ▶「新しいシークレット タブ」

- 新しいタブが開き、シークレットモードの説明が表示されます。

2 検索ボックスに検索する文字やURLを入力してウェブページを表示する

お知らせ

- 検索ボックスには が表示されます。
- シークレットタブで開いたウェブページは履歴に残りません。タブを閉じるとCookieなどの記録も消去されます。ダウンロードしたファイルやブックマークしたウェブページはシークレットタブでも保存されます。

ブラウザのメニューを利用する

1 ホーム画面で「Chrome」▶ ⋮

新しいタブ	新しいウィンドウが開き、よくアクセスするサイトが表示されます。
新しいシークレット タブ	新しいシークレットタブを開きます（P116）。
ブックマーク	ブックマーク画面が表示されます。
最近使ったタブ	最近使ったタブが表示されます。
履歴	履歴画面が表示されます。
共有...	アプリやサービスを利用してページを共有します。
印刷...	ウェブページを印刷したり、PDFとして保存したりできます（P214）。
ページ内検索	キーワードを入力してウェブページ内の文字列を検索します。
ホーム画面に追加	ホーム画面に追加します。

PC版サイトを見る	PC版サイトを表示します。
設定	ブラウザの基本設定や詳細設定などを表示します。
ヘルプとフィードバック	Chromeのヘルプなどを表示します。

ブックマークや履歴を活用する

ウェブページをブックマークに登録することで、そのウェブページにすばやくアクセスできます。
また、過去に閲覧したウェブページの履歴を表示し、そのウェブページを再び表示できます。

ブックマークを追加する

1 ホーム画面で「Chrome」▶ ブックマークに追加するウェブページを表示する

2 ⋮ ▶ ☆

ブックマークに登録したウェブページを表示する

1 ホーム画面で「Chrome」▶ ⋮ ▶「ブックマーク」

2 表示するブックマークをタップする

アプリ

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で「dメニュー」

- ブラウザが起動し、dメニューが表示されます。

お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信（LTE／3G／GPRS）もしくはWi-Fi®によるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。

- dマーケットの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で「dマーケット」

ディズニーマーケット

ディズニーマーケットでは、さまざまなDisneyアプリやデコメ®などのコンテンツが無料でダウンロードできたり、ディズニーおすすめの情報を見ることができます。

1 ホーム画面で「Disneyマーケット」

2 画面の指示に従って操作する

お知らせ

- ディズニーマーケットで提供しているコンテンツはウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社の提供サービスです。
- ディズニーマーケットのご利用には、spモードの契約が必要です。
- 別途パケット通信料がかかります。
- Disneyが提供するディズニー公式携帯サイトやスマートフォンコンテンツなど月額有料のモバイルサービスにご登録いただいている場合は、お客様ご自身で有料登録を解除いただかない限り課金が継続しますのでご注意ください。
  解除方法は、ホーム画面で「Disneyマーケット」▶ ☰ ▶「マイページ」▶「マイメニュー」▶「退会」をタップして、画面の指示に従って解除を行ってください。
- ゲームの一部オプションをお楽しみいただくには有料になるアプリがあります。
- Disneyが提供するアプリ（プリインストールアプリの一部を含む）をご利用いただくにはディズニーマーケットの会員登録が必要です。

■ ディズニーマーケットの登録、Disneyのアプリやコンテンツに関するお問い合わせ先

- ディズニー・インターネットサービス・カスタマーセンター
  0570-00-1937
- 営業時間：月～金　10:00 - 17:00（土・日・祝日・年末年始を除く）

※ PHS・一部のIP電話・国際電話からは
045-522-1098
またはお問い合わせフォーム（http://disney.jp/dmd/faq/）

Playストア

Playストアを利用すると、Google Playから便利なアプリや楽しいゲームを本端末にインストールすることができます。

- Google Playのご利用には、Googleアカウントの設定が必要です（P193）。

アプリをインストールする

1 ホーム画面で「Playストア」

2 アプリを検索 ▶ インストールしたいアプリをタップする

3 「インストール」（無料アプリの場合）または金額欄（有料アプリの場合）をタップする

- アプリによって表示される内容は異なります。
- アプリが本端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリがどの機能を利用するのか表示されます。

4 「同意する」

- 有料アプリの場合で購入代金の支払い方法をアカウントに登録していない場合は、支払い方法の追加画面が表示されます。タップして画面の指示に従って操作してください。
- お客様がアプリをインストール／購入することにより、本端末でのこのアプリの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。
- インストールが正常に終了すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。通知パネルを表示させて、アプリ名をタップしてください。インストールされたアプリが開きます。

アプリを購入する場合

- アプリに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後、アンインストールして再びダウンロードする場合、その都度料金を支払う必要はありません。
- 同じGoogleアカウントを使用しているAndroidデバイスが他にある場合、購入したアプリは他のデバイスでもすべて無料でインストールできます。
- アプリの購入後、規定の時間以内であれば返金を要求することができます。アプリは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリに対して最初の一回のみ有効です。過去に一度購入したアプリに対して返金要求をし、同じアプリを再度購入した場合には、返金要求はできません。
- アプリ購入時の支払い方法や返金要求の規定などについて、詳しくはPlayストア画面で ≡ ▶「ヘルプとフィードバック」をご覧ください。

お知らせ

- アプリのインストールは、安全であることをご確認の上、自己責任において実行してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままになります。
- Google Playの詳細については、Playストア画面で ≡ ▶「ヘルプとフィードバック」をご覧ください。

アプリをアンインストールする

1 ホーム画面で「Playストア」

2 ≡ ▶「マイアプリ」▶ アンインストールしたいアプリをタップする

3 「アンインストール」

4 「OK」

- 有料アプリで「払い戻し」が表示されない場合、試用期間が終了しています。

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券などとして使える「おサイフケータイ対応サービス」や、家電やスマートポスターなどにかざして情報にアクセスできる「かざしてリンク対応サービス」がご利用いただける機能です。
電子マネーやポイントなどをICカード内、ドコモnanoUIMカード内に保存することができます。
また、電子マネーの入金や残高、ポイントの確認などができますし、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時の対策になります。
おサイフケータイの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。
- 本端末の故障により、ICカード内データ※1およびドコモnanoUIMカード内データ※2が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 機種変更前のドコモnanoUIMカードを引き続き使う場合でも、ドコモnanoUIMカード内データを利用するおサイフケータイ対応サービスの利用には、おサイフケータイ対応サービス提供者のアプリのインストールおよび設定が必要です。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データおよびドコモnanoUIMカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

※1 おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ
※2 ドコモnanoUIMカードに保存されたデータ

「おサイフケータイ対応サービス」を利用する

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイトよりおサイフケータイ対応アプリをダウンロード後、設定を行ってください。なお、サービスによりおサイフケータイ対応アプリのダウンロードが不要なものもあります。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「おサイフケータイ」

- サービス情報を取得してサービス一覧を更新します。
- 初期設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 利用したいサービスをタップする

3 サービスに関する設定を行う

4 本端末の マークを読み取り機にかざす

- 読み取り機と通信できます。

お知らせ

- おサイフケータイ対応アプリを起動せずに、読み取り機とのデータの読み書きができます。
- 本端末の電源を切っていても利用できますが、電源を長期間入れなかったり、電池残量が少なかったりする場合は、利用できなくなることがあります。
- インストールしているおサイフケータイ対応のアプリやその設定状態によっては、画面ロック中や画面消灯中、本端末の電源を切っている状態では、読み取り機にかざして利用できない場合があります。
- おサイフケータイ対応サービスは、ドコモnanoUIMカードのPINコードが解除できない場合またはPINコードロック中においても利用できます。
- spモードをご契約されていない場合は、おサイフケータイ対応サービスの一部機能がご利用できなくなることがございますので、あらかじめご了承ください。

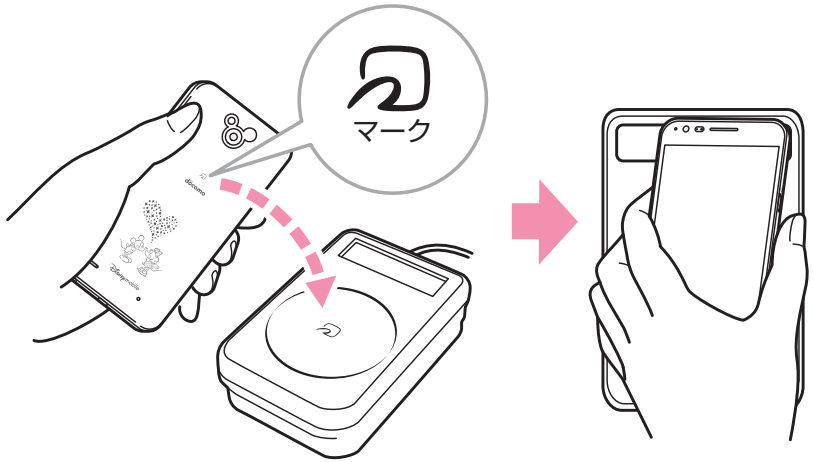
「かざしてリンク対応サービス」を利用する

あらかじめ「Reader/Writer, P2P」を有効にしておいてください。→ P173

1 NFCモジュールが内蔵された機器、またはスマートポスターなどに本端末の マークをかざす

対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やＮＦＣモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、次のことにご注意ください。



- マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
- マークを対向機の中心に平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしてかざしてください。
- マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

おサイフケータイの機能をロックする

「NFC ／おサイフケータイ ロック」を利用すると、おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。NFC ／おサイフケータイのロックは、本端末の画面ロック、UIMカードロックとは異なります。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「おサイフケータイ」

2 「ロック設定」▶ パスワードを入力 ▶「OK」

- 初回起動時はパスワードの設定が必要です。画面の指示に従って、パスワードを設定してください。

■ ロックを解除する場合

「ロック設定」▶ パスワードを入力 ▶「OK」をタップします。

■ パスワードを変更する場合

ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「その他...」▶「ＮＦＣ ／おサイフケータイ設定」▶「ロックパスワード変更」▶ 現在のロックパスワードを入力 ▶「OK」▶ 新しいロックパスワードを入力 ▶「OK」▶ 再度新しいロックパスワードを入力 ▶「OK」をタップします。

お知らせ

- 「NFC／おサイフケータイ ロック」設定中は、ステータスバーに または が表示されます。
- 電源を切ってもロックは解除されません。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック」設定中に電池が切れると、「NFC／おサイフケータイ ロック」を解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電源が切れた場合は、充電後に「NFC／おサイフケータイ ロック」を解除してください。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック」設定中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、ロックの解除が必要になります。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック」のパスワードは、本端末を初期化しても削除されません。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック」のパスワードは、ロック解除およびパスワードを変更する場合に必要ですので、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

トルカ

トルカとは、お気に入りのお店のお得なクーポンや便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。メール、ウェブダウンロード、Bluetooth®機能、ICタグなど様々な方法で取得できます。取得したトルカは簡単に最新の情報に更新できます。

トルカの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「トルカ」

お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- Bluetooth®機能でトルカを取得する際には、トルカアプリのBluetooth®機能をONにする必要があります。
- ICタグからトルカを取得する際には、本端末の「Reader/Writer, P2P」にチェックマークを付ける必要があります。→ P173
- コンテンツ提供者の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。
  更新、トルカの共有、地図表示、読み取り機からの取得
- おサイフケータイの初期設定を行っていない状態では、読み取り機からトルカを取得できない場合があります。

iDアプリ

「iD」とは、ドコモが提供する電子マネーです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。カード情報は２種類まで登録できるので、特典などに応じて使い分けることもできます。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDアプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- 海外でiDアプリの設定・確認を行う場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのサイト（http://id-credit.com/）をご覧ください。

テレビ（ワンセグ）

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。また、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、以下のホームページでご確認ください。
一般社団法人　放送サービス高度化推進協会
http://www.apab.or.jp/

ワンセグのご利用にあたって

ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の２種類があります。
「データ放送」は映像・音声とともに放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。
「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。
サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

放送波について

ワンセグは、放送サービスの１つであり、Xiサービスおよび FOMA サービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、Xiサービスおよび FOMA サービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、以下のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

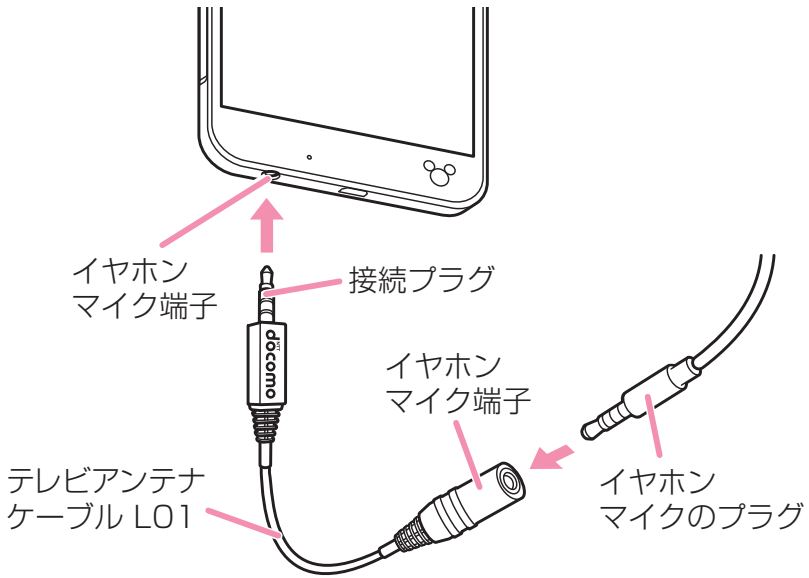
付属のテレビアンテナケーブル L01 の向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

テレビアンテナケーブル L01 について

ワンセグを視聴するときは、付属のテレビアンテナケーブル L01 を本端末に接続してください。

1 テレビアンテナケーブルの接続プラグを、本端末のイヤホンマイク端子に差し込む

- プラグは奥まで確実に差し込んでください。半差しなど途中で止まっていると、音が聞こえないことがあります。
- 使用しないときは、本端末からテレビアンテナケーブルを抜いてください。



お知らせ

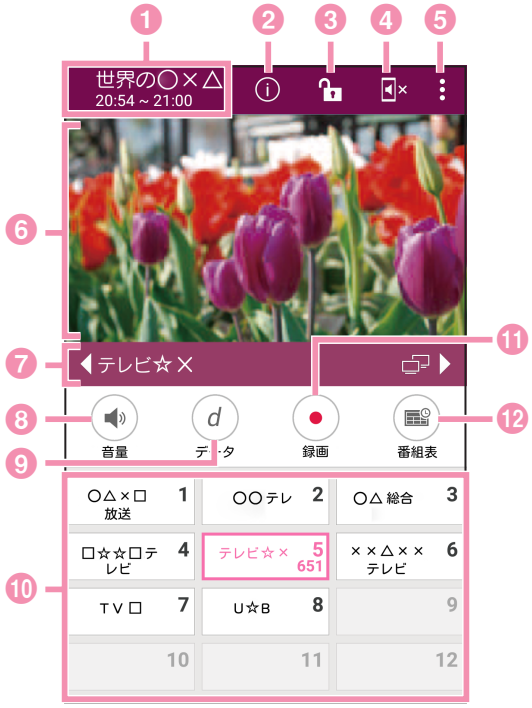
- 市販のイヤホンマイクを接続する際は、テレビアンテナケーブルのイヤホンマイク端子に、直径3.5mmのイヤホンマイクのプラグを差し込んでから、テレビアンテナケーブルを本端末に接続してください。
- SCMS-T方式に対応していないBluetooth®機器ではワンセグの音声は出力されません。
- イヤホンマイクとBluetooth®機器の両方を本端末に接続した場合、後に接続した機器から音声が出力されます。
- ワンセグは著作権保護のため、以下の機能はサポートしていません。
  - Miracastによる動画出力
  - スクリーンショット
  - Qメモ+
  - Qスライドアプリ

ワンセグを見る

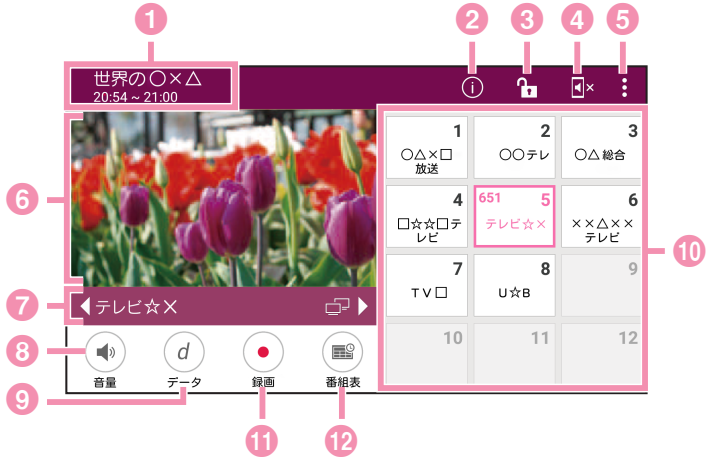
1 ホーム画面で「アプリ」▶「テレビ」

- ワンセグ視聴画面が表示されます。
- 初めて起動したときは、視聴エリアを選択する必要があります。

視聴画面の見かた



視聴画面(縦)の例



視聴画面(横)の例



視聴画面(横全画面)の例

1 番組のタイトルと放送時間

2 番組詳細
タップすると、番組のタイトルやチャンネル、放送時間、概要などが表示されます。

❸ **画面ロックボタン**
ワンセグ視聴画面を全画面表示でロックします。ロックした後、 をタップすると、ロックを解除します。

❹ **スピーカー ON ／ OFF ボタン**
イヤホンを本端末に接続した場合のみ表示されます。

❺ **メニュー**
メニューを表示します。

❻ **テレビ放送エリア**
- 右端で上下にスワイプすると、音量を変更できます。
- 左端で上下にスワイプすると、画面の明るさを変更できます。
- 左右にスワイプすると、チャンネルを切り替えられます。
- 視聴画面（横）の場合、タップすると視聴画面（横全画面）が表示されます。
- 視聴画面（横全画面）の場合、タップすると視聴画面（横）が表示されます。

❼ **チャンネルエリア**
- マルチサービス対応のチャンネルを視聴中に をタップするとサービスの選択ができます。
- ／ をタップすると、チャンネルを切り替えられます。
- ／ をロングタッチすると、受信できるチャンネルを検索します。

❽ **音量ボタン**

❾ **データ放送ボタン**
タップすると、データ放送エリアが表示されます（P131）。

❿ **チャンネル一覧／番組表一覧エリア**
チャンネル一覧／番組表一覧の切り替えボタンをタップすると、チャンネル一覧／番組表一覧が表示されます。

■ チャンネル一覧の場合
- チャンネルをタップすると、チャンネルが切り替わります。
- チャンネルをロングタッチすると、選択したチャンネルのサービスの選択ができます。

■ 番組表一覧の場合
- 現在時刻には、ON AIR が表示されます。
- 番組をタップすると、番組の詳細が表示されます。「予約」▶「録画」／「視聴」をタップすると録画予約／視聴予約ができます。録画予約／視聴予約した番組には ／ が表示されます。

⓫ **録画／停止ボタン**
タップすると、録画を開始／停止します。
- 録画を開始してから５秒間は、停止ボタンをタップすることができません。

⓬ **チャンネル一覧／番組表一覧の切り替えボタン**
「番組表を利用する」→ P132

⓭ **字幕**
字幕放送番組では視聴中に字幕が表示されます。

データ放送画面の見かた

ワンセグ視聴中に、データ放送ボタンをタップするとデータ放送画面が表示されます。



データ放送画面の例

1 テレビ放送エリア
タップすると、チャンネル一覧／番組表一覧エリアが表示されます。

2 字幕
字幕放送番組では視聴中に字幕が表示されます。

3 スクロールバー
上方向にドラッグまたはスワイプすると、データ放送の内容が全画面表示されます。

4 データ放送エリア
データ放送の内容を直接タップすると、操作できる場合があります。

5 データ放送操作ボタン
- 「▲」／「▼」で項目にカーソルを合わせ、「OK」をタップして項目を選択します。リンク先のデータ放送が表示されます。
- をタップすると、リンク元に戻ります。

番組表を利用する

地上波テレビの番組表を閲覧したり、録画予約／視聴予約することもできます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「テレビ」

2 チャンネル一覧／番組表一覧の切り替えボタンをタップする

- 番組表一覧が表示されます。

3 番組をタップする

- 番組の詳細が表示されます。
- 「予約」▶「録画」／「視聴」をタップすると、録画予約／視聴予約することができます。

録画した番組を視聴する

テレビボックスを利用して、録画した番組を視聴したり、削除したりすることができます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「テレビ」

2 ▶「テレビボックス」

3 視聴する番組を選択する

録画した番組を削除する

1 「テレビボックス」画面で

2 削除する番組にチェックマークを付ける

3 「削除」▶「はい」

お知らせ

- 「テレビボックス」画面で ▶「すべて選択」にチェックマークを付ける▶「削除」▶「はい」をタップすると、すべての録画した番組を削除することができます。
- 「テレビボックス」画面で ▶「タイトル」／「日付」／「サイズ」をタップすると録画した番組を並び替えることができます。
- 「テレビボックス」画面で をタップすると内部ストレージの使用済容量と空き容量、および録画可能時間の目安を確認することができます。

録画予約／視聴予約する

チャンネルや開始／終了時刻などを指定して、番組を録画予約／視聴予約することができます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「テレビ」

2 ⋮ ▶「予約一覧」

- 予約一覧画面が表示されます。

3 ＋ ▶ 必要に応じて各種設定を行う

予約タイプ	録画予約と視聴予約を切り替えることができます。
チャンネル	チャンネルを選択できます。
開始時刻	開始日、開始時刻を設定できます。
終了時刻	終了日、終了時刻を設定できます。
番組名	番組名を入力できます。
繰り返し	曜日ごとに繰り返し同じ時刻に録画予約／視聴予約を設定できます。

4 「保存」

お知らせ

- 予約した時刻に本端末に電源が入っていない場合は、録画や視聴を開始したり、番組の開始をお知らせしたりすることができません。
- ワンセグ録画は内部ストレージにのみ保存が可能です。録画した映像は本端末でのみ視聴できます。
- 重複予約はできませんので、ご注意ください。

予約内容を確認／編集する

1 予約一覧画面で録画予約／視聴予約をタップする

- 編集する場合は、予約内容を編集して「保存」をタップします。

予約内容を削除する

1 予約一覧画面で 🗑

2 「すべて選択」または削除する録画予約／視聴予約にチェックマークを付ける

3 「削除」▶「はい」

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示される場合があります。テレビリンクを登録しておくと、あとで関連サイトに接続できます。

- テレビリンクを登録するには、データ放送エリアに表示されたテレビリンクに登録可能な項目をタップしてください。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「テレビ」

2 ⋮▶「テレビリンク」

- テレビリンク一覧画面が表示されます。

3 テレビリンクをタップする

- 登録されたサイトに接続します。

お知らせ

- テレビリンク一覧画面でテレビリンクをロングタッチ▶「削除」▶「はい」をタップすると削除できます。
- テレビリンク一覧画面で 🗑▶「すべて選択」にチェックマークを付ける▶「削除」▶「はい」をタップすると、テレビリンクをすべて削除できます。

視聴エリアを切り替える

1 ホーム画面で「アプリ」▶「テレビ」

2 ⋮▶「視聴エリア切り替え」

- 新規エリアを追加する場合は ＋ をタップします。

3 地域を選択する

- 視聴エリアが切り替わります。

ワンセグのメニューを利用する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「テレビ」

2 ⋮

スキャン	チャンネルをスキャンして再受信します。
Gガイド	Gガイド番組表画面を表示します。
テレビボックス	録画した番組の視聴や管理ができます。
予約一覧	チャンネルや時刻を指定して番組を録画予約／視聴予約することができます。
テレビリンク	登録したテレビリンクのサイトが一覧表示されます。
視聴エリア切り替え	視聴エリアの追加や切り替えをします。
オートオフ	テレビを自動で終了する時間を設定します。

字幕		字幕のON／OFFを設定します。 • 全画面表示やデータ放送画面でのみ字幕表示が可能です。
多重音声		音声を切り替えます。
設定	画面サイズ	画面のサイズを設定します。
	放送用メモリ初期化	データ放送で登録した情報やテレビリンクなどを消去します。

カメラ

本端末には、カメラが内蔵されており、静止画（写真）や動画が撮影できます。

撮影の前に

本端末で撮影した静止画または動画は、内部ストレージに保存されます。

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。
お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。
カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

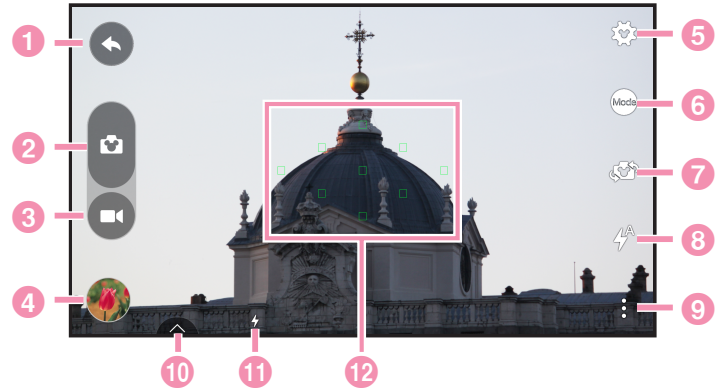
撮影するときのご注意

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする点や線がある場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いておいてください。レンズに指紋や油脂などがつくと、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
- 本端末を暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間放置したりすると、撮影する画像や映像が劣化することがあります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があり、撮影のタイミングによっては静止画や動画の色合いが異なることがあります。
- レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色したり、故障の原因となったりします。
- 撮影時は、レンズに指や髪などがかからないようにしてください。
- 速く動いている被写体を撮影すると、撮影したときに画面に表示されていた位置とは若干ずれた位置で撮影されたり、画像がぶれたりする場合があります。

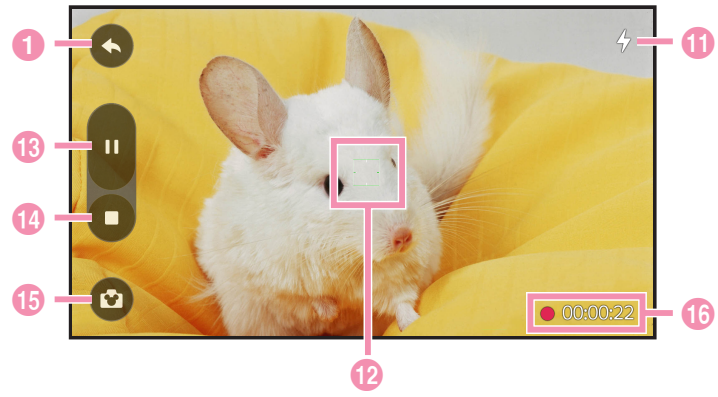
- 電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。電池残量を確認してから撮影してください。
- 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色合いが異なる場合があります。

撮影画面の見かた

カメラは、縦向きと横向きのどちらでも撮影できます。カメラの撮影画面に表示されるマーク（アイコンなど）の意味は次のとおりです。



（静止画／動画撮影前画面）



（動画録画中画面）

❶ **終了ボタン**
録画の停止やカメラの終了などの操作ができます。

❷ **シャッター**

❸ **録画ボタン**

❹ **直前に撮影したデータ**

❺ **設定**
セルフタイマー※1／ディズニー日付フレーム※2／ボイスシャッター※3／シャッター音/解像度ビデオサイズ／ダイナミックトーン（HDR）／フィルム効果／グリッドの表示／保存先／正像・鏡像／ジェスチャービュー／オートショットの設定を行います。設定のヘルプを確認することもできます。
- 撮影モードによっては、設定できない項目があります。
- フロントカメラ／メインカメラで表示される項目は異なります。

※1 に設定すると、ディズニーキャラクターの声でセルフタイマーを利用できます。
※2 ディズニーキャラクターのアイコンと撮影日を静止画に合成する機能です。
※3「ミッキー」「チーズ」「スマイル」「トリマス」と話すことで静止画を撮影する機能です。

❻ **撮影モード**
撮影モード（パノラマ／オート）を設定します。

❼ **カメラ切替**
フロントカメラとメインカメラを切り替えます。

❽ **フラッシュの切り替え**
フラッシュの切り替えを設定します。
- 撮影モードによってフラッシュの切り替えを設定できない場合があります。

❾ **メニューアイコン**
撮影方法を切り替えます。
マニュアルモード（アウトカメラ）：本格的なカメラのように設定して、撮影ができます。
ベーシックモード：基本的な設定をして、撮影や録画ができます。
シンプルモード：画面の撮影したい場所をタップするだけのシンプルな操作で撮影できます。

❿ **共有**
画像や動画をFacebookやTwitterなどを利用して共有します。

⓫ **状態表示**
撮影場所が暗い場合など、フラッシュが自動で動作するときに が表示されます（フラッシュがAUTOの場合のみ）。フィルム効果やダイナミックトーンを設定中にカメラを終了し再起動させると、 や が一定時間表示されます。

⓬ **オートフォーカス枠**
フォーカス選択中は白色で表示され、フォーカスが確定すると緑色で表示されます。
また、撮影方法がシンプルモードの場合は画面をタップすると、タップした位置にフォーカスを合わせて撮影することができます。

⑬ **一時停止ボタン**
動画の撮影を一時停止します。

⑭ **録画停止ボタン**
動画の撮影を停止します。

⑮ **静止画撮影ボタン**
動画撮影中に表示され、タップするとその瞬間に表示されている画面の静止画を撮影します。

⑯ **録画経過時間**

静止画を撮影する

1 **ホーム画面で「カメラ」**

2 **カメラを被写体に向ける**

- 撮影画面表示中にタッチスクリーンをピンチアウト／ピンチインすると、ズームイン／ズームアウトができます。

3 

- シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。
- 音量キー（上）／音量キー（下）を押しても、静止画を撮影することができます。
- 撮影したデータは「ギャラリー」の「カメラ」で見ることができます。

お知らせ

- 静止画撮影画面で  をロングタッチ、または音量キー（上）／音量キー（下）を１秒以上押し続けると、静止画を連続撮影することができます。
- フィルム効果やディズニー日付フレームを使用しての撮影中は、連続撮影機能を使用できません。
- フロントカメラの場合は、人物の肌を明るく撮影する美肌撮影のインジケーターが表示されます。（強）／（弱）にドラッグすると、美肌撮影の強弱を８段階で調節できます。
- フロントカメラの場合は  をタップすると、自分撮り用ライトを使用できます。

動画を撮影する

1 ホーム画面で「カメラ」

2 カメラを被写体に向ける

3

- 録画開始音が鳴り、撮影が始まります。
- 撮影が開始されると、撮影画面に録画経過時間が表示されます。
- 撮影中に音量キー（上）／音量キー（下）を押すと、その瞬間に表示されている画面の静止画を撮影します。
- 撮影中にタッチスクリーンをピンチアウト／ピンチインすると、ズームイン／ズームアウトができます。
- 撮影中に ⏸ をタップすると、撮影が一時停止します。● をタップすると、撮影が再開します。

4

- 録画停止音が鳴り、撮影が停止します。
- 撮影したデータは「ギャラリー」の「カメラ」で見ることができます。

ギャラリー

カメラで撮影したり、ウェブサイトからダウンロードしたりして保存した静止画／動画を表示／再生します。

静止画や動画を見る

1 ホーム画面で「ギャラリー」

- アルバム一覧画面が表示されます。

2 アルバムをタップする

- 静止画や動画がサムネイルで表示されます。
- 本端末のカメラで撮影した静止画や動画を見る場合は、「カメラ」をタップします。
- アルバム一覧画面で 📷 をタップすると、カメラが起動し、静止画や動画を撮影できます。

3 いずれかのサムネイルをタップする

- 静止画や動画が表示／再生されます。
- 静止画の場合、タッチスクリーンをダブルタップするか、ピンチアウト／ピンチインすると画像を拡大／縮小することができます。

お知らせ

- 静止画／動画一覧画面では以下の操作ができます。
  - :さまざまなディズニーフレームやディズニースタンプを使用して写真を編集できます。
  - :静止画や動画を選択して共有／送信します。
  - :静止画や動画を選択して削除します。
- 静止画表示画面では以下の操作ができます。
  - :表示している静止画を編集します。
  - :さまざまなディズニーフレームやディズニースタンプを使用して写真を編集できます。
  - :表示している静止画を共有／送信します。
  - :表示している静止画を削除します。
    削除操作を取り消すためには「元に戻す」をタップしてください。
  - :表示している静止画にタグを追加します。
- 静止画表示画面では、 をタップして以下の操作ができます。
  - 「カメラに切替」：カメラが起動し、静止画や動画を撮影できます。
  - 「SmartShare」：SmartShare Beamを使用して、静止画の送受信ができます。
  - 「画像を設定」：静止画をロック画面の背景や電話帳の写真、ホーム画面の壁紙に設定します。
  - 「移動」：静止画を他のアルバムに移動します。
  - 「コピー」：静止画を他のアルバムにコピーします。
  - 「クリップボードにコピー」：静止画をクリップボードにコピーします。
  - 「ロック」※：静止画をロックします。
  - 「スライドショー」：保存されている静止画がスライドショーとして順に表示されます。ディズニーのフレームを静止画に合成したスライドショーも利用できます（ディズニースライドショーフレーム）。
  - 「回転」：静止画を右や左に回転します。
  - 「トリミング」：静止画をトリミングします。
  - 「位置情報を追加」／「位置情報を削除」：静止画に位置情報を追加したり、削除したりします。
  - 「地図に表示」：静止画に位置情報が付加されている場合に、撮影場所を地図で確認できます。
  - 「リネーム」：静止画の名前を編集します。
  - 「印刷」：静止画をプリンターで印刷します。
  - 「ファイル情報」：静止画の詳細情報を確認できます。

  ※ あらかじめ、アルバム一覧画面で ▶「設定」▶「ロック設定」▶ 画面の指示に従ってコンテンツロックを設定しておく必要があります。
- 動画再生時の操作については、「動画を再生する」（P146）をご参照ください。

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーでは、内部ストレージやmicroSDカードに保存された音楽ファイルや動画ファイルを再生できます。メディアプレイヤーは次のファイル形式に対応します。

■ 再生可能なファイル形式

音楽ファイル	AAC/AAC+/eAAC+、AMR-NB/WB、FLAC、MP3、MIDI、Vorbis、PCM/WAVE、OPUS、WMA、MP2
動画ファイル	MJPEG、THEORA、VP8/9、XviD、H263、MPEG4（SP/ASP）、H.264（BP/MP/HP）、HEVC（MP）

お知らせ

- ファイルによっては、対応するファイル形式であっても再生できない場合や、メディアプレイヤーのファイル一覧に表示されない場合があります。
- ファイルによっては、著作権により再生できないものがあります。

音楽ファイルや動画を本端末にコピーする

あらかじめお手持ちの音楽ファイルや動画ファイルを内部ストレージにコピーすると、メディアプレイヤーで再生できるようになります。

1. microUSB接続ケーブル 01（別売）で本端末とパソコンを接続する（P213）
2. USB接続モードを「ファイル転送」にする（P213）
3. パソコン側で「コンピューター」を開き、本端末の携帯電話名を選択する
   - 本端末内のドライブ（内部ストレージ）が表示されます。
   - パソコンに接続したときに表示される画面は、パソコンの動作環境（OS）によって異なる場合があります。
4. 「内部ストレージ」のルートフォルダにフォルダを作成する
   - サブフォルダを作成し、そのフォルダ内でファイルを管理することもできます。
5. 作成したフォルダにファイルをコピーする
6. 本端末をパソコンから取り外す

メディアプレイヤーを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「メディアプレイヤー」

- 「メディアプレイヤー」画面が表示されます。
- 初めて起動したときはメディアプレイヤーの紹介画面が表示されます。「使い方の説明を見る」をタップして、使いかたを確認してください。説明を確認しない場合は、「使ってみる」をタップします。



1 **クイックプレイバー**
再生中／一時停止中の曲がある場合に表示されます。タップすると、音楽再生画面が表示されます。

2 **タブ**
左右にドラッグまたはスワイプすると、表示されていないタブを表示できます。

3 **再生中アイコン**
再生中／一時停止中の曲に表示されます。

4 **タイトル**

5 **アーティスト名／アルバム名**

6 **検索アイコン**
dマーケットで音楽／動画ファイルを検索します。

7 **メニュー**
メニューを表示します。

8 **楽曲メニューボタン**
着信音（着うた）に設定やプレイリストに追加、コンテンツを削除できます。

9 **dマーケットボタン**
dマーケットのdミュージックやdTV、dアニメストアへアクセスして、TOPや新着、ランキングの閲覧が可能です。

お知らせ

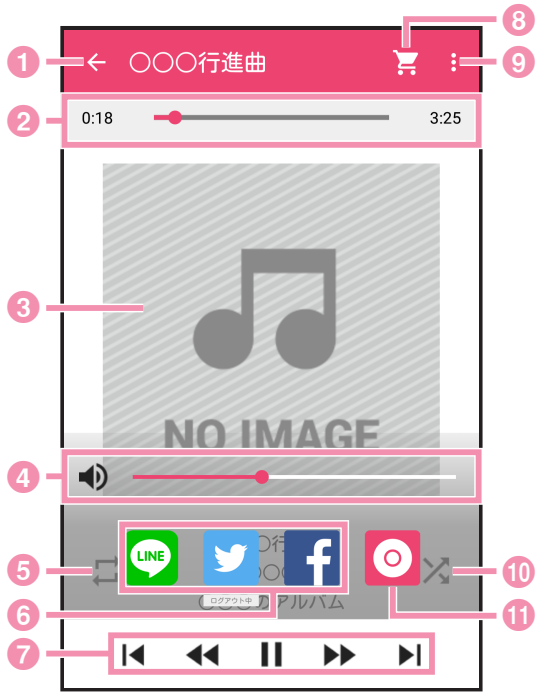
- 「メディアプレイヤー」画面で ⋮ ▶「ソート」をタップすると、一覧の表示を降順／昇順に切り替えられます。
- 「メディアプレイヤー」画面で ⋮ ▶「サイトで探す」をタップすると、dメニューにアクセスして楽曲などの購入ができます。
- 「メディアプレイヤー」画面でアルバム／ムービーの一覧を表示中に ⋮ ▶「サムネイル表示」／「リスト表示」をタップすると、一覧の表示形式を切り替えられます。
- 「メディアプレイヤー」画面／音楽再生画面／動画再生画面で ⋮ ▶「アプリ終了」をタップすると、メディアプレイヤーを終了します。

音楽を再生する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「メディアプレイヤー」

2 「全曲」タブ ▶ 再生する曲をタップする

- 音楽再生画面が表示され、曲が再生されます。



❶ **一覧画面の表示**

❷ **再生位置**
- ● を左右にドラッグして再生位置を変更します。

❸ **アルバムアートワーク**

❹ **音量調整**※
- ● を左右にドラッグして音量を調節します。

❺ **リピート（音楽再生画面のみ）**
- タップするたびに、リピートオフ（ 🔁 ）→全曲リピート（ 🔁 ）→1曲リピート（ 🔂 ）を切り替えます。

❻ **SNS共有**※
LINE、Twitter、Facebookで楽曲情報を共有できます。

❼ **再生の操作**
⏸ ／ ▶：一時停止／再生
⏮ ／ ⏭：前のファイル／次のファイルを再生
- 操作状態によっては、ファイルの先頭に戻ります。

⏪ ／ ⏩：10秒早戻し／10秒早送り

❽ **検索**
dマーケットで音楽／動画ファイルを検索します。

❾ **サブメニューの表示**
設定、ヘルプ、初めての方へ、アプリ終了などの操作ができます。

❿ **シャッフルのオン／オフ（音楽再生画面のみ）**

⓫ **アルバム情報表示**※

※ アルバムアートワークをタップすると表示されます。

お知らせ
- 曲の再生中は、ステータスバーに 🎵 が表示されます。
- 曲の再生中に通知パネル（P62）を表示すると、曲の再生や一時停止などの操作を行うことができます。
- 音楽再生画面で ⋮ ▶「設定」▶「この曲を着信音（着うた）設定」をタップすると、表示中の曲を音声着信音（着うた）、メール着信音（着うた）に設定できます。

動画を再生する

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「メディアプレイヤー」**

2 **「ムービー」タブ**

- 内部ストレージとmicroSDカードに保存されている再生可能な動画の一覧が表示されます。

3 **再生する動画をタップする**

- 動画再生画面が表示され、動画が再生されます。



❶ **Miracast設定**
Miracast設定を行い、本端末の画面や音声をテレビに出力します。

❷ **再生経過時間**

❸ **再生プログレスバー**
ドラッグすると、動画を指定の場所から再生します。

❹ **動画情報**
タイトル／アーティスト名が表示されます。

❺ **一覧に戻る**
動画の一覧画面に戻ります。

❻ **巻き戻しボタン**
動画を巻き戻しします。

❼ **前の動画戻しボタン**
再生中の動画の先頭から再生します。ダブルタップすると、前の動画の先頭から再生します。

❽ **音量調節バー**
ドラッグして、音量を調節できます。

❾ **電池残量**

❿ **現在の時刻**

⓫ **メニュー**

⓬ **動画の長さ**

⓭ **回転ロックボタン**
画面の回転を固定／解除します。

⓮ **早送りボタン**
動画を早送りします。

⑮ 次の動画送りボタン

⑯ 再生／一時停止ボタン

お知らせ

- 音楽／動画を削除するには、一覧画面で音楽／動画をロングタッチ▶「コンテンツを削除する」▶「OK」▶「OK」をタップします。
- 「動画のバックグラウンド再生設定」をONにしている場合、動画のバックグラウンド再生中は、ステータスバーに が表示されます。
  通知パネルを表示すると、動画の操作を行うことができます（P62）。
- 動画再生画面を表示中に本端末を横向きにすると、横画面表示に切り替わります。画面をタップすると、ボタンなどの表示／非表示を切り替えられます。

プレイリストを利用する

プレイリストを利用すると、お好みの曲を集めて、お好みの順番で再生することができます。

プレイリストを表示する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「メディアプレイヤー」

2 「プレイリスト」タブ

- プレイリストの一覧が表示されます。
- 以下のクイックプレイリストを利用できます。

最近追加した曲	2週間以内に追加された曲が、追加順に表示されます。
最近再生した曲	2週間以内に再生した曲が、日時が新しい順に表示されます。
再生回数が多い曲	再生回数が多い順に曲が表示されます。

3 プレイリスト／クイックプレイリストをタップする

- プレイリスト／クイックプレイリストに含まれる曲の一覧が表示されます。曲をタップすると再生できます。

プレイリストを作成する

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「メディアプレイヤー」**

2 **「プレイリスト」タブ▶「リスト作成」**

3 **プレイリスト名を入力して「OK」**

4 **追加する曲をタップする**

- 「全曲」「アーティスト」「アルバム」タブをタップすると、一覧の表示を切り替えることができます。
- 「すべての曲を追加」をタップすると、一覧に表示されている曲がすべて追加対象になります。

5 **「決定」▶「完了」▶「OK」**

プレイリストを編集する

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「メディアプレイヤー」**

2 **「プレイリスト」タブ▶編集するプレイリストをタップする**

- プレイリストに含まれる曲の一覧が表示されます。

3 **「編集」**

- 「タイトル編集」をタップすると、タイトルを編集できます。
- 「プレイリストに曲を追加」をタップすると、曲を追加できます。
- 曲をタップすると（赤色）になり、削除対象になります。「選択した曲を削除」をタップすると削除できます。
- を上下にドラッグすると、曲の並び順を変更できます。

4 **編集が終わったら「完了」▶「OK」**

プレイリストを削除する／並び替える

1 ホーム画面で「アプリ」▶「メディアプレイヤー」

2 「プレイリスト」タブ▶「リスト並替え／削除」

- プレイリストをタップすると 🗑（赤色）になり、削除対象になります。
- 「すべてのプレイリストを選択」をタップすると、すべてのプレイリストが削除対象になります。
- ☰ を上下にドラッグすると、プレイリスト／クイックプレイリストの並び順を変更できます。

3 編集が終わったら「完了」▶「OK」

お知らせ

- クイックプレイリスト（「最近追加した曲」、「最近再生した曲」、「再生回数が多い曲」）は削除できません。

メディアプレイヤーの設定

1 ホーム画面で「アプリ」▶「メディアプレイヤー」

2 ⋮▶「設定」

3 必要に応じて設定を変更する

オーディオエフェクト設定	音楽再生時の効果を設定します。
着信音（着うた）設定	曲を音声着信音（着うた）、メール着信音（着うた）に設定します。 • 曲によっては、着信音に設定できない場合があります。
SNS連携設定	ソーシャルサービスのログイン／ログアウトを行います。
動画ソート設定	動画の一覧の並び順を「保存日時」「タイトル」から選択します。
動画タイトル表示設定	動画コンテンツのタイトルの表示方法を設定できます。

動画のバックグラウンド再生設定	動画を再生中にホーム画面に戻ったり、他のアプリに切り替えた時に、バックグラウンドで再生を続けるかどうかを設定します。
タブの並べ替え	「メディアプレイヤー」画面のタブの並び順を変更します。
再生時通信設定（海外）	海外で利用する場合にレジューム情報とライセンス情報の通信を許可する／しないを設定します。
お知らせ通知設定	ドコモから音楽や動画に関するお知らせを受信する／しないを設定します。
データベースの更新	メディアプレイヤーのデータベースを更新します。
設定リセット	メディアプレイヤーを初期設定に戻します。
ライセンス情報の削除	メディアプレイヤーで再生するコンテンツのすべてのライセンス情報を削除します。

GPS／ナビ

本端末のGPS機能と対応するアプリを使用して、現在地の確認や目的地までのルート検索などを行うことができます。

GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、本端末の故障や誤動作、停電などの外部要因（電池切れを含む）によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。

- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
  - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
  - 建物の中や直下
  - 地下やトンネル、地中、水中
  - 高圧線の近く
  - 自動車や電車などの室内
  - 大雨や雪などの悪天候
  - かばんや箱の中
  - 本端末の周囲に障害物（人や物）がある

位置情報を有効にする

位置情報へのアクセスの許可を要求したアプリが、GPS機能、Wi-Fi®機能、モバイルネットワークで取得した位置情報の利用を許可するかどうかを設定します。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「位置情報」

2 「位置情報」をONにする

3 「同意する」

4 「モード」▶ ロケーションモードを選択する

高精度（GPSとネットワーク）	GPS、Wi-Fi®、モバイルネットワークで現在地を特定します。より正確に現在地を検出できますが、本端末の電池消費量が大きくなります。
バッテリーセーブ（ネットワークのみ）	Wi-Fi®とモバイルネットワークで現在地を特定します。
本体センサーのみ（GPSのみ）	GPSで現在地を特定します。

お知らせ

- GPS機能を初めて使用するときは、現在地の測位に最大で数分程度要することがあります。
- 本端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPSサービス機能は、インターネットを使用します。GPSサービス機能によるデータの送信には、パケット通信料が発生する場合があります。
- 現在地の測位にGPS受信機を必要とする機能を使用するときは、空を広く見渡せることをご確認ください。数分経っても現在地が測位できない場合は、場所を移動する必要があります。
- 測位しやすくするために、動かず、GPS／サブアンテナ部を覆わないようにしてください。
- 「本体センサーのみ（GPSのみ）」を選択すると、GPSの使用中に匿名データが収集されます。データの転送には、パケット通信料が発生する場合がありますので、ご注意ください。
- 「高精度（GPSとネットワーク）」または「バッテリーセーブ（ネットワークのみ）」を選択すると、Googleの位置情報サービスに匿名化された位置データの収集を許可することになります。データの収集はアプリが起動していなくても行われることがあります。

マップを利用する

Googleマップを利用して、現在地の表示、別の場所の検索、および経路の検索ができます。

- 現在地を取得する前に「位置情報を有効にする」を行ってください（P151）。
- Googleマップを利用するには、LTE／3G／GPRSネットワークまたはWi-Fi®で接続して、データ通信可能な状態にする必要があります。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。

マップを開く

1 ホーム画面で「Google」▶「マップ」

2 検索ボックスに地名などを入力する

時計

アラーム、タイマー、ワールドクロック、ストップウォッチを利用できます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「時計」

2 画面上部のタブをタップする

- 各機能の画面に切り替わります。

アラームを設定する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「時計」▶「アラーム」タブ

2 ＋

3 必要に応じて設定を変更する

- 時刻や繰り返し、スヌーズ間隔などの設定ができます。

4 「保存」

- アラーム一覧画面が表示され、設定されたアラームがリストに追加されます。
- ／ をタップしてアラームのON／OFFを設定できます。
- リストをタップすると、「アラーム設定」画面が表示され、内容の変更ができます。「保存」をタップすると、変更が上書きされ、アラーム一覧画面に戻ります。

お知らせ

- アラームの設定時刻になると、アラームが動作します。「停止」をタップすると、アラームが停止します。また、「スヌーズ」をタップすると、ステータスバーに が表示され、アラーム設定の「スヌーズ間隔」で設定した間隔で再び動作します。
- アラーム一覧画面で ▶「すべて選択」または削除したいアラームにチェックマークを付ける▶「削除」▶「はい」をタップすると、アラームを削除することができます。
  アラームを一つしか設定していない場合、 ▶「はい」をタップします。

タイマーを設定する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「時計」▶「タイマー」タブ

2 時／分／秒を設定する

- ▶「設定」をタップすると、アラーム鳴動時のアラーム音などを設定できます。

3 「開始」

- タイマーが開始されます。

お知らせ

- タイマーの設定時間になると、アラームが動作します。「停止」をタップすると、アラームが停止します。
- タイマーの動作中に「停止」をタップすると、タイマーが停止します。停止中に「再開」をタップすると、タイマーが再開します。また、「リセット」をタップすると、タイマーがリセットされます。

ワールドクロックを設定する

登録した都市の日付と時刻が一覧で確認できます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「時計」▶「ワールドクロック」タブ

2

3 検索ボックスに都市名を入力▶ 都市名をタップする

- 選択した都市の名前、現在時刻、日付がワールドクロック一覧画面に追加されます。

お知らせ

- 追加した都市をロングタッチ▶「サマータイムの設定」▶ 設定内容をタップするとサマータイムを設定することができます。サマータイム設定中の都市には が表示されます。
- ワールドクロック一覧画面で ▶「すべて選択」または削除したい都市にチェックマークを付ける▶「削除」▶「はい」をタップすると、都市を削除することができます。
  ワールドクロックを一つしか設定していない場合、 ▶「はい」をタップします。

ストップウォッチを設定する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「時計」▶「ストップウォッチ」タブ

2 「開始」

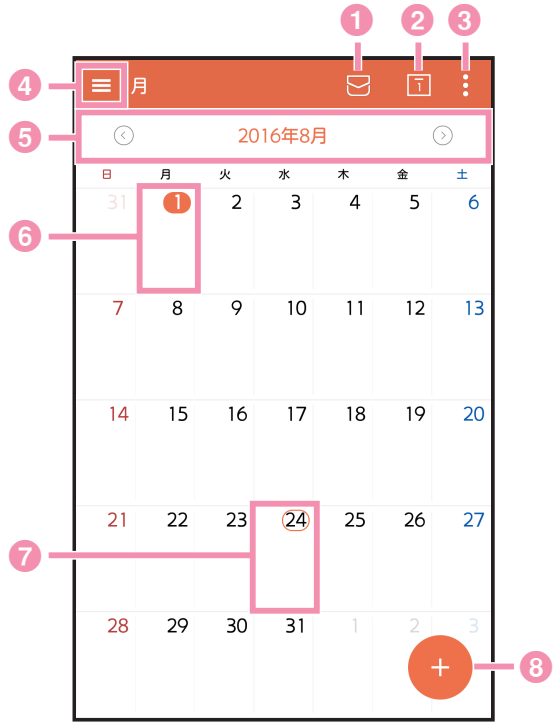
- 測定が開始されます。ラップタイムを計測するには「ラップ」をタップします。
- 測定を止めるには「停止」をタップします。
- 「再開」をタップすると測定を再開、「リセット」をタップすると測定をやり直しできます。

カレンダー

スケジュールを管理するためのアプリです。Googleアカウントをお持ちの場合には、Googleカレンダーのデータと同期できます。

カレンダーを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「カレンダー」



❶ **イベントポケット**
カレンダーへのイベント追加を簡単に行うことができます。

❷ **本日アイコン**
本日の日付にカーソルを移動します（アイコンの日付は変動します）。

❸ **メニュー**
メニューを表示します。

❹ **カレンダー表示切り替え**
カレンダーの表示形式を日／週／月／年／予定リストに切り替えたり、タスクを表示したりできます。

❺ **表示切り替え**
日表示／週表示／月表示／年表示では「<」／「>」をタップすると、前後の日、週、月、年が表示されます。

❻ **本日の日付**

❼ **選択している日付**

❽ **新規作成アイコン**
予定を作成します。

予定を作成する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「カレンダー」

2 日付をタップ ▶ ＋ ▶ 各項目を設定 ▶「保存」

お知らせ

- 予定作成画面の「通知」欄で設定した時刻になると、ステータスバーに 📅 が表示されます。ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプして通知パネルを開き、カレンダーの通知をタップすると、予定の詳細画面が表示されます。「解除」をタップすると通知が消去されます。スヌーズ間隔を設定して「スヌーズ」をタップすると設定した時刻が経過した後に再度通知します。

予定を変更／削除する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「カレンダー」

2 ▶「予定リスト」

3 変更／削除したい予定をタップ ▶ （編集）／（削除）

- をタップした場合は、内容を編集して「保存」をタップします。
- をタップした場合は、「はい」をタップします。
- カレンダー画面で ▶「削除」▶「すべて選択」または削除したい予定にチェックマークを付ける ▶「削除」▶「はい」をタップしても、予定を削除することができます。

カレンダーの設定を変更する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「カレンダー」

2 ▶「設定」

3 必要に応じて設定を変更する

- カレンダーの表示設定や予定の通知設定をしたり、アカウントの設定をすることができます。

Qメモ+

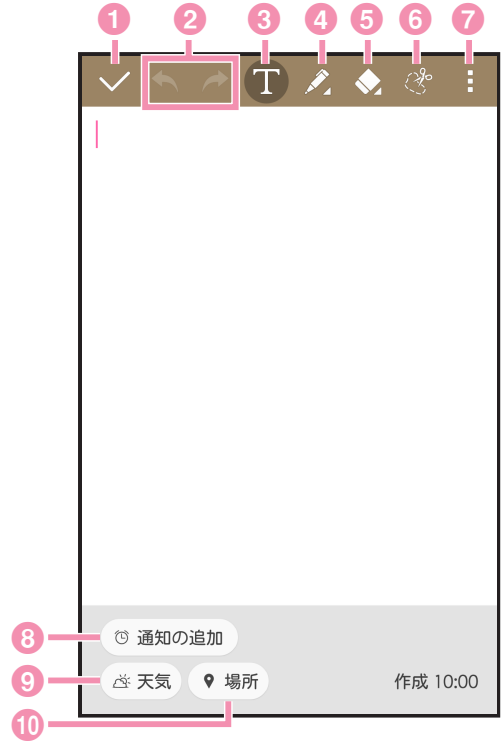
直接文字やイラストを書き込むことができます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Qメモ+」

メモ一覧画面が表示されます。

2

3 メモを作成する



1 作成したメモを保存します。

2 元に戻す／やり直します。

❸ **文字の編集やカラーを選択できます。**
❹ **ペンの種類やカラーを選択できます。**
❺ **消しゴムを利用できます。**
❻ **選択した部分を切り取ることができます。**
❼ **Qメモ+のメニューを表示します。**
❽ **タップするとメモを通知する日時や場所を設定できます。**
- 通知を削除する場合は「×」をタップしてください。

❾ **タップすると天気情報を取得して追加します。**
❿ **タップすると位置情報を取得して追加します。**

電卓

1 ホーム画面で「アプリ」▶「電卓」

- 電卓画面で ⋮ ▶「関数電卓」／「標準電卓」をタップすると機能を切り替えることができます。また、横画面表示にすると、関数電卓を表示することができます。
- 数式表示欄に表示されている数値や数式をロングタッチすると、数値の切り取り／コピー／貼り付け／クリップボードの表示などができます。
- ◀ をタップすると直前に入力した数値または演算子が１文字ずつ削除されます。
- ⋮ ▶「計算履歴」をタップすると、数式の履歴を表示することができます。履歴を表示した状態で 🗑 ▶「はい」をタップすると、すべての履歴が消去されます。
- ⋮ ▶「Qスライド」をタップするとQスライドアプリモードに移行します。

ドコモバックアップ

microSDカードへ保存・復元

microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、ドコモメールなどのデータの移行やバックアップができます。

- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外さないでください。データが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- バックアップ対象の電話帳は、docomoのアカウントの電話帳と本端末に登録されている電話帳です。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- 本端末のメモリ構成上、microSDカードを取り付けていない場合、静止画・動画などのデータは本端末に保存されます。本アプリでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

バックアップする

電話帳、ドコモメール、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

1. **ホーム画面で「アプリ」▶「ドコモバックアップ」▶「microSDカードへ保存・復元」**
2. **「バックアップ」▶ バックアップするデータにチェックマークを付ける ▶「バックアップ開始」▶「開始する」**
3. **ドコモアプリパスワードを入力 ▶「確定」**
   - 選択したデータがmicroSDカードに保存されます。
4. **「トップに戻る」**

復元する

microSDカードにバックアップした電話帳、ドコモメール、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ドコモバックアップ」▶「microSDカードへ保存・復元」

2 「復元」▶ 復元するデータ種別の「選択」▶ 復元するデータにチェックマークを付ける ▶「選択」

3 復元方法を選択 ▶「復元開始」▶「開始する」
- データ種別によっては、復元方法の選択は不要です。

4 ドコモアプリパスワードを入力 ▶「確定」
- 選択したデータが本端末に復元されます。

5 「トップに戻る」

Googleアカウントの連絡先をdocomoのアカウントにコピーする

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ドコモバックアップ」▶「microSDカードへ保存・復元」

2 「電話帳アカウントコピー」▶ コピーする電話帳の「選択」▶「上書き」／「追加」
- コピーしたデータがdocomoのアカウントに保存されます。

3 「OK」

データ保管BOXへ保存・復元

通話履歴、音楽のデータをデータ保管BOX を利用してバックアップ・復元します。

バックアップする

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ドコモバックアップ」▶「データ保管BOXへ保存・復元」

2 「バックアップ」
- ログインしていない場合、確認画面が表示されます。画面の指示に従ってログインしてください。

3 バックアップするデータにチェックマークを付ける▶「バックアップ開始」▶「開始する」

4 ドコモアプリパスワードを入力▶「確定」

5 「トップに戻る」

お知らせ
- 定期バックアップ設定は、あらかじめ選択したバックアップ対象データを、毎月自動でデータ保管BOXへバックアップできます。
- 定期バックアップ設定をご利用になる際、パケット通信料が高額になる場合がありますので、ご注意ください。

復元する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ドコモバックアップ」▶「データ保管BOXへ保存・復元」

2 「復元」▶ 復元するデータ種別の「選択」▶ 復元するデータにチェックマークを付ける▶「選択」

3 復元方法を選択▶「復元開始」▶「開始する」

4 ドコモアプリパスワードを入力▶「確定」

5 「トップに戻る」

お知らせ
- データ保管BOXから復元する際、データはバックアップ時と同じ保存先に復元されます。機種変更の際など、バックアップ時と異なる保存先に復元される場合があります。

本体設定

設定メニュー

本端末では、ホーム画面で「アプリ」▶「設定」をタップすると、さまざまな設定を行う「設定」画面が表示されます。

無線ネットワーク	(P162)
デバイス	(P177)
パーソナル	(P186)
システム	(P196)

無線ネットワーク

各種ネットワークの有効／無効を設定したり、ネットワーク接続に必要な設定を行います。

Wi-Fi	(P163)
Bluetooth	(P206)
モバイルデータ	(P169)
通話設定	(P97)
その他...	(P170)

Wi-Fi®

本端末は、Wi-Fi®ネットワークや公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続してインターネットなどを利用できます。接続するには、アクセスポイントの接続情報を設定する必要があります。

■ Bluetooth®機能との電波干渉について

- 無線LAN（IEEE802.11 b/g/n）とBluetooth®デバイスは同一周波数帯（2.4GHz）を使用しているため、Bluetooth®デバイスの近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。
  - 本端末や接続相手の無線LAN対応機器をBluetooth®デバイスから約10m以上離してください。
  - 約10m以内で使用する場合は、Bluetooth®デバイスの電源を切ってください。

お知らせ

- Wi-Fi®機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただし、Wi-Fi®ネットワークに接続中は、Wi-Fi®ネットワークが優先されます。Wi-Fi®ネットワークが切断された場合には、自動的にLTE／3G／GSMネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。
- Wi-Fi®を使用しないときはOFFにすることで、電池の消費を抑制できます。

Wi-Fi® ネットワークに接続する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「Wi-Fi」

- 「Wi-Fiチュートリアル」画面が表示された場合は、「はい」をタップしてチュートリアルを開始するか、「いいえ」をタップして「Wi-Fi」画面を表示してください。

2 「Wi-Fi」をONにする

3 接続するWi-Fi® ネットワーク名をタップする

- セキュリティで保護されたWi-Fi® ネットワークに接続を試みると、そのWi-Fi® ネットワークのセキュリティキーの入力が求められます。「パスワード」ボックスにネットワークのパスワードを入力して「接続」をタップしてください。
- 通常、パスワード入力時は、入力直後の文字だけが表示され、それ以前に入力した文字は、文字数分だけ「・」が表示されます。「パスワードの表示」にチェックマークを付けると、入力した文字をすべて表示させることができます。
- WPS対応のアクセスポイントに接続するには、「Wi-Fi」画面で ⋮ ▶「Wi-Fiの詳細設定」▶「接続（WPSボタン）」／「接続（WPS PIN）」▶アクセスポイント側で操作を行います。

お知らせ

- 接続可能なネットワークは、オープンネットワークとセキュリティで保護されたネットワークの2種類があります。これは、Wi-Fi® ネットワーク名の左に（オープンネットワーク）／（セキュリティで保護されたネットワーク）のように異なったアイコンで表示されます。また、アイコンの表示により電波の強度が表されます。

電波が強い場合：	電波が弱い場合：

- Wi-Fi® ネットワークを再度検索する場合は、「Wi-Fi」画面で「検索」をタップします。
- 接続可能なネットワークであっても、アクセスポイント側の設定によってはWi-Fi® ネットワーク名が表示されません。こうした場合でも、ネットワークに接続することは可能です。「Wi-Fi® ネットワークを追加する」（P165）をご参照ください。
- Wi-Fi® 接続する場合、接続に必要となる情報は、基本的にDHCPサーバーから自動的に取得されます。ただし、これらを個別に指定することもできます。

- 「モバイルデータ切り替え」にチェックマークを付けている場合、ステータスバーにモバイルネットワークのアイコンが表示されると、モバイルネットワークを使用していることを示し、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
モバイルデータ切り替えのポップアップ画面が表示された場合、「今後表示しない」を選択し「OK」をタップすると、注意のポップアップ画面が表示されなくなります。以降、インターネット使用が不可能な無線LANに接続すると、モバイルネットワークに切り替わるため、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- インターネット接続されていないアクセスポイントに接続すると、 が表示され、Wi-Fi® ではなくモバイルネットワークで通信が行われる場合があります。
- ドコモサービスをWi-Fi® 経由で利用する場合は「dアカウント」の設定が必要です。
ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「ドコモのサービス／クラウド」▶「dアカウント設定」をタップして設定します。

Wi-Fi® ネットワークを追加する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「Wi-Fi」
2 「Wi-Fi」をONにする
3  ▶「Wi-Fi追加」
4 「Wi-Fiアクセスポイント名（SSID）」ボックスにネットワークSSIDを入力する
5 「セキュリティ」ボックスをタップする
- 「なし」「WEP」「WPA/WPA2 PSK」「802.1x EAP」の４種類から適切なものを選択します。
- セキュリティの設定ごとに、設定方法は異なります。

6 「接続」

Wi-Fi® ネットワークから切断する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「Wi-Fi」
2 切断するWi-Fi® ネットワーク名をタップする
3 「切断」

モバイルデータ切り替えを設定する

接続したWi-Fi®ネットワークがインターネット接続できるかを確認し、接続できない場合は自動的にモバイルネットワークに切り替えるかどうかを設定します。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「Wi-Fi」

2 「Wi-Fi」をONにする

3 「モバイルデータ切り替え」にチェックマークを付ける

お知らせ

- 「モバイルデータ切り替え」にチェックマークを付けている状態で、無線LAN内蔵メモリカードなどのインターネットに接続しないアクセスポイントとのWi-Fi®接続が切断される場合は、「モバイルデータ切り替え」のチェックマークを外してください。

静的IPアドレスを使用する

静的IPアドレスを使用してWi-Fi®ネットワークに接続するように本端末を設定できます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「Wi-Fi」

2 「Wi-Fi」をON にする

3 接続するWi-Fi®ネットワークをタップ▶「詳細オプション」にチェックマークを付ける

4 「IP設定」ボックスをタップ▶「静的」

5 必要な項目を設定

- 静的IPアドレスを使用するには、以下の項目を入力する必要があります。
  - IPアドレス
  - ゲートウェイ
  - ネットワークプレフィックス長
  - DNS 1
  - DNS 2

6 「接続」

保存されたWi-Fi®ネットワークを確認／削除する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「Wi-Fi」

2 「Wi-Fi」をONにする

3 ⋮▶「保存されたWi-Fi」
- 接続したことのあるWi-Fi®ネットワーク一覧が表示されます。

4 Wi-Fi®ネットワーク名をタップする
- ネットワークのセキュリティ情報が表示されます。

5 「削除」

お知らせ
- 「Wi-Fi」画面で削除するWi-Fi®ネットワーク名をタップ▶「削除」をタップしても保存されたWi-Fi®ネットワーク一覧から削除することができます。

Wi-Fi Direct®を使用する

アクセスポイントなどを経由せずに、Wi-Fi Direct®対応機器同士で接続ができます。

■ 他のWi-Fi Direct®対応機器に接続要求する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「Wi-Fi」

2 「Wi-Fi」をONにする

3 ⋮▶「Wi-Fiの詳細設定」▶「Wi-Fi Direct」
- 接続するWi-Fi Direct®対応機器が表示されないときは、「検索」をタップします。

4 検出されたWi-Fi Direct®対応機器をタップする
- 相手のWi-Fi Direct®対応機器に接続要求が送信されます。

■ 他のWi-Fi Direct®対応機器との接続を解除する

1 接続中のWi-Fi Direct®対応機器をタップ▶「OK」

■ 他のWi-Fi Direct®対応機器から接続要求を受ける

1 「接続の招待が来ています」画面で「承諾」

Wi-Fi®の詳細設定を行う

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「Wi-Fi」

2 「Wi-Fi」をONにする

3 ⋮▶「Wi-Fiの詳細設定」

4 必要に応じて設定を変更する

通知	
Wi-Fi通知※1	セキュリティで保護されていないWi-Fi®のオープンネットワークを検出したら自動的に通知します。
便利な設定	
画面OFF時のWi-Fi設定	本端末の画面の表示が消えたときに、Wi-Fi®接続を切断したり、充電時には常に接続を維持するように設定したりできます。
Passpoint	Wi-Fi®がONの場合、利用可能なPasspoint対応のアクセスポイントに自動で接続するかどうかを設定します。
接続	
Wi-Fi Direct※1	（P167）
接続（WPSボタン）※1	WPS（Wi-Fi® Protected Setup）対応のアクセスポイントに接続できます。
接続（WPS PIN）※1	
パーソナル	
証明書のインストール	内部ストレージからネットワーク証明書のインストールを行います。
情報	
MACアドレス	MACアドレスを表示します。
IPアドレス※2	IPアドレスを表示します。

※1 あらかじめ、「Wi-Fi」をONにする必要があります。

※2 あらかじめ、Wi-Fi®ネットワークと接続する必要があります。

モバイルデータ

モバイルデータ通信を利用するかどうか、モバイルデータ通信の制限設定、データ使用サイクルのグラフと使用されたサービスの内訳を表示します。

モバイルデータ画面を表示する

期間ごとやアプリごとのモバイルデータ通信使用量（目安）が表示されます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「モバイルデータ」

お知らせ

- 「モバイルデータ」をONに設定するとモバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にできます。
- グラフ上でモバイルデータ通信使用量の制限や警告を行う使用量の設定ができます。使用量の制限は「モバイルデータ通信の制限設定」にチェックマークを付けているときのみ設定できます。

モバイルデータの各種設定を行う

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「モバイルデータ」▶ ⋮

バックグラウンドデータ制限	アプリが自動的にモバイルデータ通信を行うことを制限します。
Wi-Fiの使用状況を表示	Wi-Fi®の使用状況を表示するかどうかを設定します。
モバイルアクセスポイント	バックグラウンドのアプリが、特定のWi-Fi®ネットワークを利用できないように設定できます。
モバイルネットワーク	（P170）

その他...

その他のネットワークの各種設定を行います。

機内モード		電波を発する機能をON／OFFにします。
テザリング	USBテザリング	(P171)
	Wi-Fiテザリング	(P172)
	Bluetoothテザリング	(P173)
	ヘルプ	ヘルプを表示します。
Miracast		Wi-Fi Direct® を利用してMiracastに対応する映像機器で、画面の表示内容と音を共有するための設定を行います。利用可能なデバイスが見つからない場合は「検索」をタップします。
SmartShare Beam		(P215)
メディアサーバー		DLNAを使用して周辺デバイスとメディアコンテンツを共有します。
NFC／おサイフケータイ 設定		(P173)
VPN		(P174)
モバイルネットワーク		データ通信を有効にするかどうか、データローミングを許可するかどうか、優先ネットワークタイプ、アクセスポイント名、通信事業者の設定を行います。
印刷		ワイヤレスプリンターの設定を行います。

テザリングを利用する

テザリングとは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、無線LAN対応機器、USB対応機器、Bluetooth®対応機器をインターネットに接続させる機能です。

USBテザリングを有効にする

microUSB接続ケーブル 01（別売）で本端末とパソコンを接続し、モデムとして利用することでインターネットに接続させることができます。

1. **本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01で接続する（P213）**
2. **ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「その他...」▶「テザリング」**
3. **「USBテザリング」**

お知らせ

- USBテザリングを行う際、必要なパソコン側の動作環境は次のとおりです。
  - OS※：Windows 10/Windows 8.1/Windows 7/Windows Vista

  ※ OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
- USBテザリングを行うには、専用のドライバが必要です。詳細については、下記のホームページをご参照ください。
  http://www.lg.com/jp/support/software-manuals
- USBテザリングに必要な専用のドライバは、本端末とパソコンを接続する時に表示される「プログラムのインストール」画面からもインストールできます。
- USBテザリングは、Wi-Fi®テザリング、Bluetooth®テザリングと同時に利用できます。

Wi-Fi® テザリングを有効にする

本端末をWi-Fi®アクセスポイントとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに8台まで同時接続させることができます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「その他...」▶「テザリング」▶「Wi-Fiテザリング」

2 「Wi-Fiテザリング」をONにする

お知らせ

- Wi-Fi®テザリングは、USBテザリング、Bluetooth®テザリングと同時に利用できます。

Wi-Fi® テザリングを設定する

■ Wi-Fi®アクセスポイントを設定する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「その他...」▶「テザリング」

2 「Wi-Fiテザリング」▶「Wi-Fiアクセスポイントを設定」

3 「Wi-Fiアクセスポイント名（SSID）」ボックスに、ネットワークSSIDを入力する

4 「セキュリティ」ボックスをタップする

- 「Open」、「WPA PSK」、「WPA2 PSK」から適切なものを選択します。
- 「WPA PSK」、「WPA2 PSK」に設定する場合はパスワードの入力が必要です。

5 「保存」

お知らせ

- お買い上げの状態では、ネットワークSSIDは「DM-02H_xxxx」、セキュリティは「WPA2 PSK」に設定されています。

Bluetooth®テザリングを有効にする

本端末をモデムとして利用することでインターネットに４台まで同時接続させることができます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「その他...」▶「テザリング」

2 「Bluetoothテザリング」

お知らせ

- Bluetooth®テザリングを利用するには、本端末とのペアリングが必要です。
  詳しくは「他のBluetooth®デバイスとペアリング／接続する」（P208）をご参照ください。
- Bluetooth®テザリングは、USBテザリング、Wi-Fi®テザリングと同時に利用できます。

NFC ／おサイフケータイを設定する

NFC ／おサイフケータイに関する設定と管理を行います。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「その他...」▶「NFC ／おサイフケータイ 設定」

NFC ／おサイフケータイロック	おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。
Reader/Writer, P2P	NFCのReader/Writer, P2P機能をON ／ OFFにします。
Androidビーム	「Reader/Writer, P2P」をONにした場合、アプリコンテンツを別のNFC対応の端末にビームするかどうかを設定します。設定方法について、詳しくは「Androidビーム」（P210）をご参照ください。
NFC Type設定	利用するNFC Typeを選択します。
ロックパスワード設定	
ロックパスワード変更	NFC ／おサイフケータイのロックパスワードを変更します。

タップ&ペイ	
タップ&ペイ	おサイフケータイ対応サービスなど、読み取り機にかざして利用できるサービスの有効／無効の設定ができます。

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

仮想プライベートネットワーク（VPN：Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。
本端末からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

VPNを追加する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「その他...」▶「VPN」

2 「VPN接続の追加」
- 注意画面が表示された場合は、「設定」をタップし、画面の指示に従って画面ロック解除方法を設定します。

3 ネットワーク管理者の指示に従って各項目を設定▶「保存」

VPNに接続する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「その他...」▶「VPN」
2 接続するVPN名をタップする
3 必要な認証情報を入力▶「接続」

VPNを編集する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「その他...」▶「VPN」
2 編集するVPN名をロングタッチする
3 「編集」▶ 情報の追加、削除、修正を行う▶「保存」

VPNを削除する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「その他...」▶「VPN」
2 削除するVPN名をロングタッチする
3 「削除」▶「削除」

VPNを常に使用する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「その他...」▶「VPN」
2 ⋮▶「VPN常時接続」
3 VPNプロフィールを選択▶「OK」

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
mopera U、ビジネスmoperaインターネットをご利用する際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。
mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

アクセスポイントを追加で設定する＜新しいAPN＞

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

2 ⋮ ▶「APNの追加」

3 「名前」▶ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 ▶「OK」

4 「APN」▶ アクセスポイント名を入力 ▶「OK」

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力する

6 ⋮ ▶「保存」

お知らせ

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。
- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

2 ⋮ ▶「初期設定に戻す」▶「はい」

デバイス

サウンド&お知らせ

着信音の種類や音量、バイブなどの設定を行います。

基本	
マナーモード	「サウンドとバイブ」、「バイブレートのみ」、「サイレント」のいずれかを選択します。
サウンド	
音量	「着信音」、「通知音」、「タッチフィードバックとシステム」、「音楽、ビデオ、ゲームとそのほかのメディア」の音量を設定します。
着信音	着信音として使用する音を設定します。
着信音ID	選択した電話番号からの着信時に、電話番号から自動で作成した着信音が鳴るようにするかどうかを設定します。
バイブ	
バイブ	着信を振動で知らせるかどうかを設定します。
振動タイプ	バイブの種類を選択します。
通知	
通知制限	着信音や新着メッセージの通知音、バイブなど、通知に関する設定をしたり、スケジュールを設定したりします。
画面ロックとカバー設定	画面ロック時やディズニーオリジナルカバー L01装着時にコンテンツ（受信したメールなどの内容）や通知を表示するかどうかを設定します。
アプリ	個々のアプリからの通知を許可またはブロックします。
詳細設定	
通知音	通知音として使用する音を設定します。
タップ時のバイブ	ホームタッチボタンやダイヤルパッドなどをタップしたときに振動するかどうかを設定します（P47）。

サウンドエフェクト	「ダイヤルパッドタッチ音」、「タッチ音」、「画面ロック解除音」を有効にするかどうかを設定します。
音声通知	受信したメッセージ（SMS）の送信者情報やメッセージの内容を自動的に読み上げるかどうかを設定します。 ・「音声通知の言語設定」で優先エンジンの設定、読み上げ速度の調整や音声の高さを変更、デモを聞くことができます。

イルミネーション

背面イルミネーションの点灯／非点灯に関する設定を行います。機能ごとに設定することもできます。

電話着信	電話着信時に点灯するかどうかを設定します。
ドコモメール受信	メール受信時に点灯するかどうかを設定します。
メッセージ受信	SMS受信時に点灯するかどうかを設定します。
ディズニーきせかえアラーム鳴動時	Disneyきせかえアラーム鳴動時に点灯するかどうかを設定します。
ディズニーマーケットからのお知らせ	ディズニーマーケットからの通知受信時に点灯するかどうかを設定します。
カメラセルフタイマー	カメラのセルフタイマーカウントダウン時に点灯するかどうかを設定します。
画面ロック解除	バックライト点灯時に点灯するかどうかを設定します。

表示

フォントや画面の明るさ、アニメーションなど表示に関する設定を行います。

フォント	
フォントタイプ	画面表示のフォントを設定します。
フォントサイズ	「極小」、「小」、「中」、「大」、「特大」、「極大」のいずれかを選択します。
基本設定	
壁紙	壁紙を設定します。
画面の明るさ	画面の明るさを設定します。 • 「明るさ自動調整」にチェックマークを付けると、周囲の明るさに応じて、画面の明るさが自動的に変更されます。
縦横表示の自動回転	本端末の向きに合わせて、自動的に縦画面表示または横画面表示に切り替わるように設定します。
バックライト点灯時間	操作しないときに、自動的にバックライトを消灯するまでの時間を設定します。
ホームタッチボタン	ホームタッチボタンの配列やカラーを設定します。
詳細設定	
スクリーンセーバー	スクリーンセーバーの設定を行います。 • ⋮ ▶「今すぐ開始」をタップするとスクリーンセーバーが起動します。 • ⚙ をタップすると、スクリーンセーバーごとに詳細を設定できます。
センサー感度補正	センサーの感度（傾斜角や傾斜速度）を補正します。 • ジェスチャーがうまく動作しない場合に、実施してください。

ホームスクリーン

ホーム画面に関する設定を行います。

- docomo LIVE UXでは、「ホーム選択」以外の項目は変更できません。

ホーム選択	ホームアプリを切り替えます。「docomo LIVE UX」と「ホーム」があります（P75）。
画面	
スクリーン効果	スクリーン効果を選択します。
ホーム画面のループを許可する	ホーム画面をスクロールしたとき、最後の画面から最初の画面に戻るかどうかを設定します。
ヒント	
ヘルプ	ホーム画面に関するヘルプを表示します。

画面ロック

画面ロックを使用するかどうか、使用する場合に必要な設定を行います。

- 画面ロックの解除に「なし」、「タッチ」、「スワイプ」、「ノックコード」、「パターン」、「PIN」、「パスワード」のいずれかを設定することによって、表示・設定できる項目は異なります。

画面のセキュリティ		
画面ロックを選択	**なし**	画面ロック解除のセキュリティを無効にします。
	タッチ	タップしてロックを解除します。
	スワイプ	スワイプしてロックを解除します。
	ノックコード	画面OFFの状態で設定したパターンをタップすることでロックを解除します。
	パターン	パターンの描画でロックを解除します。お好きなパターンを設定します。
	PIN	PIN入力でロックを解除します。画面の指示に従って、４～16桁の数字を入力します。

画面ロックを選択	**パスワード**	パスワード入力でロックを解除します。画面の指示に従って、アルファベットを含む4～16桁のパスワードを入力します。
Smart Lock		設定した信頼できる端末や場所、顔でタッチスクリーンのロックを自動解除するように設定します。
スワイプエフェクト		スワイプして画面ロックを解除するときの画面効果を設定します。
パターンドットを隠す		ロック画面をタップしたときにパターンドットを表示するようにするかどうかを設定します。
入力中のパターンを表示する		パターンを線で表示するかどうかを設定します。
PIN非表示		画面をタップしたときにPIN入力エリアを表示するかどうかを設定します。
ランダムPIN入力		PIN入力時のキーボードの数字の配列をランダムにするかどうかを設定します。

パスワード非表示	画面をタップしたときにパスワード入力エリアを表示するかどうかを設定します。
カスタマイズ	
ショートカット	ロック画面に表示するショートカットをカスタマイズします。
天気のアニメーション	現在地の天気情報を自動更新して、アニメーションで表示するかどうかを設定します。
紛失時の連絡先	紛失時の連絡先をロック画面に表示するかどうかを設定します。
ロック時間	
ロックタイマー	画面OFF後、画面ロックするまでの時間を設定します。
電源ボタンですぐにロックする	電源キーを押したとき、すぐに画面ロックするかどうかを設定します。

お知らせ

＜画面ロックの解除について＞

- ノックコード入力を５回間違えるとメッセージが表示されます。30秒後に再度入力するか、再入力画面で「ノックコードを忘れましたか？」をタップして、バックアップPIN を入力すると画面ロックを解除できます。
- パターン入力、PIN入力、パスワード入力をそれぞれ５回間違えると、30秒後に再度入力するようメッセージが表示されます。パターンを忘れた場合、再入力画面で「パターンを忘れましたか？」をタップして、バックアップPINを入力すると画面ロックを解除できます。

＜ロック画面通知について＞

- 画面ロックを「ノックコード」、「パターン」、「PIN」、「パスワード」のいずれかに設定した場合、ロック画面に表示させる通知を選択する画面が表示されます。
  「プライベートな内容のみ非表示にします」／「すべての通知を非表示にします」を選択した場合、通知アイコン、通話相手の名前や電話番号、不在着信／留守番電話の件数などがロック画面に表示されなくなる可能性がありますので、ご注意ください。

ストレージとUSB

内部ストレージの空き容量表示、microSDカードの空き容量表示、マウント、フォーマット（P204）を行います。

本体ストレージ	
X.XXGB 16.00GBの総使用量	内部ストレージの総使用量を表示します。
内部ストレージ	内部ストレージの空き容量や、詳細な使用状況を表示します。
ポータブルストレージ	
SDカード	microSDカードのファイルを表示できます。

お知らせ

- microSDカードのマウントを解除するには、⏏をタップしてください。再度マウントする場合は「SDカード」▶「マウント」をタップします。

バッテリーとパワーセーブ

電池残量を確認したり、電池残量が少なくなったときに、各種機能の使用を抑えるよう設定できます。

バッテリー情報	
電池残量のアイコン	電池残量がパーセントで表示されます。また、充電しているか、充電完了までの予想時間／使用可能予想時間も表示されます。
バッテリー消費量	バッテリー消費状況の詳細が確認できます。
ステータスバーに表示	ステータスバーに電池残量をパーセントで表示するかどうかを設定します。
バッテリーセーブ	
バッテリーセーブ	(P183)
ヘルプ	バッテリーセーブのヘルプを表示します。

お知らせ

- アプリごとの電池消費を抑えるために、端末を使用していないときやアプリが数日間使用されていないときにアプリを無効にします（電池の最適化）。
  電池の最適化の設定を変更するには、「バッテリー消費量」▶「最適化対象外となるアプリ」▶設定を変更するアプリにチェックマークを付けます。

バッテリーセーブをONにする

電池残量が設定値を下回ったときなどに、画面の明るさを抑えるなどして電池の消費を抑制するバッテリーセーブに関する設定ができます。

- バッテリーセーブ画面で「ヘルプ」をタップするとバッテリーセーブに関する説明を確認できます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「バッテリーとパワーセーブ」▶「バッテリーセーブ」

バッテリーセーブ画面が表示されます。

2 「バッテリーセーブ」をONにする

3 「バッテリーセーブをONにします」▶「すぐに」／「バッテリー残量:5%」／「バッテリー残量：15%」

メモリー

メモリ（RAM）の使用状況などを表示します。

メモリの平均使用量	
インジケーター	指定した期間内でのメモリのパフォーマンスや全体メモリー、平均使用量（%）、空き容量などを表示します。
アプリによるメモリ使用	指定した期間内にアプリが使用したメモリの使用状況を表示します。

お知らせ

- 期間を変更するには画面上部の「3時間」／「6時間」／「12時間」／「1日」をタップします。

アプリ

インストールされたアプリの管理や削除などができます。

アプリを確認する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「アプリ」▶ 確認したいアプリをタップする

強制終了	実行中のアプリを強制終了します。
無効／有効にする／アンインストール	アプリを無効化／有効化またはアンインストールします。
ストレージ	ストレージの使用量を表示したり、アプリのデータの削除やキャッシュをクリアしたりします。
データ	アプリのデータ使用量を表示します。
許可	アプリの権限を設定します。
通知	アプリの通知を設定します。

デフォルトとして起動	デフォルトで起動するアプリに設定します。
バッテリー	前回のフル充電からの電池の使用状況を表示します。
メモリー	メモリの使用量を表示します。

アプリを削除する

- プリインストールされているアプリは削除（アンインストール）できない場合があります。アンインストールできない一部のアプリは無効化（P185）することができます。
- PlayストアアプリはGoogle Playの画面から削除（P121）することをおすすめします。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「アプリ」

2 削除したいアプリをタップする

3 「アンインストール」▶「OK」

アプリを無効化にする

アプリの無効化を設定したアプリは、動作が停止し、アプリ画面に表示されなくなります。

- アンインストールはされません。
- アンインストールできない一部のアプリやサービスについて使用可能です。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「アプリ」

2 無効にしたいアプリをタップする

3 「無効」▶「はい」

お知らせ

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。再度有効にすることで正しく動作します。

無効化したアプリを再度有効にする

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「アプリ」
2 再度有効にしたいアプリをタップする
3 「有効にする」

デフォルトメッセージアプリ

通常使うメッセージアプリを「メッセージ」と「ハングアウト」から選択します。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「デフォルトメッセージアプリ」
2 「メッセージ」／「ハングアウト」

パーソナル

ドコモのサービス／クラウド

ドコモのサービス／クラウドなどについて設定します。

dアカウント設定	ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。
ドコモクラウド	ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウド設定を行います。
ドコモアプリ管理	定期アップデート確認などを設定します。
おすすめ使い方ヒント	おすすめ使い方ヒントを利用するための設定を行います。
ドコモアプリパスワード	ドコモアプリで利用するパスワードを設定します。 • お買い上げ時は「0000」に設定されています。
オートGPS	オートGPS機能の設定や、測位した場所の履歴の閲覧、低電力時動作の設定などができます。

ドコモ位置情報	イマドコサーチ／イマドコかんたんサーチ／ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。
遠隔初期化	遠隔操作による端末内データなどを初期化するサービスを利用するための設定を行います。
プロフィール設定	ドコモの各種サービスで利用するお客様のプロフィール情報を、確認・変更できます。
ドコモサービス初期設定	本端末を利用するためのサービス設定などを一括して行います。
USBデバッグ切替	ドコモショップなどの専用端末を利用するための設定を行います。
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。

お知らせ

- ドコモのサービス／クラウドで表示されるアプリの中には無効化設定できるものがあり、無効化設定されたアプリは、ドコモのサービス／クラウドの一覧には表示されなくなる場合があります。
- 新たにドコモ提供のアプリをダウンロード追加することで、ドコモのサービス／クラウドの一覧に項目が追加表示される場合があります。

位置情報

GPSの設定などを行います。

モード	(P151)
最近の位置情報リクエスト	
最近位置情報を要求したアプリがある場合、一覧表示されます。	
位置情報サービス	
位置測位（省電力モード）	Qualcomm® IZat™ハードウェアを利用して現在地を高速に特定するかどうかを設定します。
カメラ	カメラで撮影した写真や動画に位置情報を記録するかどうかを設定します。
Googleロケーション履歴	Googleアカウントにログインしていた時に訪れた場所の位置情報の履歴を表示します。
GPS通知	GPSが位置情報を探している間、音を再生し振動するかどうかを設定します。

セキュリティ

各種パスワードなどの設定を行います。

コンテンツロック	ギャラリーでのファイルロック時に使用するロックタイプを選択します。
暗号化	
携帯端末を暗号化	内部ストレージに保存されているシステムデータが暗号化されていることを確認できます。 • 本端末では「携帯端末を暗号化」の設定を変更することはできません。
SDカードの暗号化	microSDカード内のすべてのデータを暗号化します。 • microSDカードを暗号化した状態で「データの初期化」を行った場合、microSDカード内のデータを利用できなくなりますのでご注意ください。「データの初期化」を行う前に、暗号化解除を行ってください。

UIMカードのロック	
UIMカードのロック設定	(P192)
パスワード	
パスワードを表示する	入力中のパスワードの最後の文字を表示するかどうかを設定します。
デバイス管理	
デバイス管理機能の選択	本端末で有効にするデバイス管理機能を選択します。
提供元不明のアプリ	Google Playで提供されるアプリ以外のアプリのインストールを許可するかどうかを設定します。
アプリを確認する	安全性が証明されていないアプリの場合、インストールを拒否または警告のメッセージを表示するかどうかを設定します。
通知アクセス	通知を確認できるアプリの設定などを行います。

認証情報ストレージ		
ストレージタイプ		認証情報ストレージのバックアップ先を表示します。
証明書の管理	確認済み証明書	確認済みCA証明書を表示します。
	ストレージからインストール	証明書をストレージからインストールします。
	証明書の消去	認証情報ストレージのすべてのコンテンツとVPNの登録情報を消去します。 • インストールした証明書を消去する場合は、認証ストレージを消去する必要があります。
詳細設定		
信頼できるエージェント		信頼できる端末が接続されると、選択した操作を実行できるようにするかどうかを設定します。
画面の固定		本端末の画面に特定のアプリを固定できるようにするかどうかを設定します。

アプリの使用履歴へのアクセス	アプリの使用履歴へのアクセスの設定を行います。

本端末で利用する暗証番号

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末の画面ロック用パスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 入力した画面ロック用PIN／パスワード、ネットワーク暗証番号、PINコード、PINロック解除コード（PUK）は、「・」で表示されます。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

・PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■ **画面ロック用PIN／パスワード**

本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です。

■ **ネットワーク暗証番号**

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字４桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

■ **PINコード**

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
PINコードは、第三者によるドコモnanoUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモnanoUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する４～８桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

・新しく本端末を購入されて、現在ご利用中のドコモnanoUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
・PINコードの入力を３回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

■ **PINロック解除コード（PUK）**

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための８桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

・PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモnanoUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

PINコードを設定する

本端末の電源を入れたときにPINコードを入力しないと使用できないように設定できます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「セキュリティ」
2 「UIMカードのロック設定」
3 「UIMカードのロック」
4 PINコードを入力して「OK」
- 「UIMカードのロック」にチェックマークが付きます。

PINコードを変更する

あらかじめPINコードを有効にしておく必要があります。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「セキュリティ」
2 「UIMカードのロック設定」
3 「UIM PINの変更」
4 すでに設定されているPINコードを入力して「OK」
5 新たに設定するPINコードを入力して「OK」
6 手順5で入力したものと同じPINコードを入力して「OK」

PINコードを入力する

本端末の電源を入れたときにPINコードの入力が求められたら、以下のように操作します。

1 ドコモnanoUIMカードのPINコードを入力して「OK」

PINロックを解除する

PINコードの入力を3回連続間違えてPINコードがロックされた場合は、以下のように操作します。

1 PINロック解除コード入力画面でPINロック解除コードを入力して「OK」
2 新たに設定するPINコードを入力して「OK」
3 手順2で入力したものと同じPINコードを入力して「OK」

アカウントと同期

Googleアカウントなど本端末で使用するアカウントの追加／削除や、同期の設定を行います。

アカウントを設定する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「アカウントと同期」
2 「アカウントを追加」
3 追加したいアカウントの種類をタップする
4 画面の指示に従って設定する

お知らせ

- 「データ自動同期」にチェックマークを付けると、アプリが自動的にデータの同期を行います。これらの動作に伴い、パケット通信料がかかる場合があります。また、チェックマークを外している場合と比較すると電池が消耗します。
- 手動で同期させる場合は、ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「アカウントと同期」▶ アカウントの種類をタップ ▶ 同期するアカウントをタップ ▶ 同期するデータの項目をタップするか、⋮ ▶「今すぐ同期」をタップします。

アカウントを削除する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「アカウントと同期」
2 削除するアカウントの種類をタップする
3 削除するアカウント名をタップする
4 ⋮ ▶「アカウントを削除」▶「アカウントを削除」

お知らせ

- docomoのアカウントは追加／削除できません。

言語とキーボード

本端末の使用言語やキーボードの設定を行います。また、音声の入出力に関する設定を行います。

言語	本端末で使用する言語を選択します。
キーボードと入力方法	
現在のキーボード	デフォルトのキーボードと入力方法を選択します。
LG日本語キーボード	各種設定を行います（P55）。
Google音声入力	言語や「OK Google」の検出など、Google音声入力の各種設定を行います。
スピーチ	
音声出力	テキストの読み上げに関する設定を行います。優先エンジンの設定、読み上げ速度の調整や音声の高さを変更、デモを聞くことができます。
マウス／トラックパッド	
ポインター速度	本端末とマウスやトラックパッドを接続したときの、ポインター速度の設定を行います。
ボタンの切替	接続したマウスの左右のボタン機能を切り替えます。

バックアップとリセット

バックアップや初期化の操作を行います。

GOOGLEバックアップ	
データのバックアップ	Googleサーバーにバックアップをするかどうかを設定します。
バックアップアカウント	バックアップ用のアカウントを設定します。「アカウントを追加」で、バックアップ用のアカウントを追加することもできます。
自動リストア	アプリを再インストールするとき、バックアップした設定とデータを復元します。
リセット	
ネットワーク設定リセット	Wi-Fi®とBluetooth®を含むネットワークの設定をリセットします。
データの初期化	本端末内のすべてのデータを消去します。

本端末を初期化する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「バックアップとリセット」

2 「データの初期化」▶「携帯電話のリセット」▶「すべて削除」▶「OK」

- microSDカードに保存されているデータを削除する場合、「SDカードのデータを消去」にチェックマークを付けます。

お知らせ

- 本端末を初期化するにはバッテリー残量が30%以上ある必要があります。
- 画像や動画、音楽などのお客様データは、パソコンでのバックアップを行ってください。接続方法について、詳しくは「ファイル管理」（P201）、および「パソコンとの接続」（P212）をご参照ください。

Google

Googleのアカウントおよびサービスに関する、情報や設定の確認／変更／削除などができます。

- Google設定の詳細については、ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「Google」▶ ⋮ ▶「ヘルプとフィードバック」をタップしてヘルプをご覧ください。

システム

ショートカットキー、日付と時刻、ユーザー補助、端末情報を設定します。

ショートカットキー

画面OFF時またはロック画面で音量キーを2回押す操作で、キャプチャー＋を起動してメモを書いたり、カメラを起動するかどうかを設定します。

日付と時刻

日付や時刻に関する設定を行います。

基本	
日付と時刻の自動設定	ネットワークを介して日付と時刻の情報を取得し、自動的に設定します。
日付の設定	手動で日付の設定を行います。 ・「日付と時刻の自動設定」をOFFにしてから設定を行います。
時刻の設定	手動で時刻の設定を行います。 ・「日付と時刻の自動設定」をOFFにしてから設定を行います。
タイムゾーンの自動設定	ネットワークを介してタイムゾーンの情報を取得し、自動的に設定します。
タイムゾーンの選択	手動でタイムゾーンの設定を行います。 ・「タイムゾーンの自動設定」をOFFにしてから設定を行います。
時刻表示形式	
24時間表示	24時間表示とするか、12時間表示とするかを設定します。

ユーザー補助

ユーザー補助に関する設定などを行います。

種類		
見る	TalkBack	ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助サービスを有効にします。また、読み上げやその他のフィードバック、タッチガイドなどを設定します。
	音声通知	受信したメッセージ（SMS）の送信者情報やメッセージの内容を自動的に読み上げるかどうかを設定します。 • 「音声通知の言語設定」で優先エンジンの設定、読み上げ速度の調整や音声の高さを変更、デモを聞くことができます。
	画面表示を最も暗くする	画面の明るさを最小に設定して、バッテリー消費を抑えます。
見る	**フォントサイズ**	「極小」、「小」、「中」、「大」、「特大」、「極大」のいずれかを選択します。
	タッチズーム	画面を３回タップすることで画面をズームイン／ズームアウトするかどうかを設定します。
	色の反転	画面およびコンテンツの色を反転します。
	色調調整	画面とコンテンツの表示色を調整します。
	画面フィルター	「1 型色覚」「2 型色覚」「3 型色覚」のいずれかを選択し、ディスプレイの色味を変更します。
	電源キーで通話を終了する	通話中に電源キーで電話を切るようにするかどうかを設定します。

聞く	キャプション	耳の不自由な方用に字幕設定をカスタマイズします。
	フラッシュお知らせ	着信時および通知時にカメラのフラッシュを点滅するように設定します。
	音声形式	音声形式を「モノラル」、「ステレオ」から選択します。
	音声バランス	スライドすることで、左右の音量のバランスを調節します。

動作と認識	動作	
	タッチフィードバックタイム	タッチの感度を「短め」、「中」、「長め」から選択します。
	Touch assistant	ハードキー機能やジェスチャーにすばやくアクセスするために、タッチボードを表示させます。
	バックライト点灯時間	操作しないときに、自動的にバックライトを消灯するまでの時間を設定します。
	認識	
	タッチ操作エリア	タッチ操作を許可しない画面領域を設定します。
一般		
ユーザー補助機能のショートカット		ホームキーを3回タップすることで、ユーザー補助機能を起動できるようにするかどうかを設定します。起動できる機能は「TalkBack」／「色の反転」／「Touch assistant」／「ユーザー補助の設定」から選択します。

縦横表示の自動回転	本端末の向きを変えた場合、画面表示の縦横を自動的に切り替えるかどうかを設定します。
サービス	
おすすめ使い方ヒント	操作や利用状況にあわせて本端末の使いかたをご紹介する、おすすめ使い方ヒントを表示するかどうかを設定します。
スイッチアクセス	戻るキーやホームキーなどを押した時の操作を、電源キーなど物理キーの組み合わせに置き換えて制御するかどうかを設定します。

お知らせ

- Google Playから、ユーザー補助サービスに対応するアプリケーションをダウンロードして設定することもできます。
- TalkBackの使用を許可すると、クレジットカード番号などの個人情報、ユーザーインターフェイスでのやりとりなども記録されますので、ご注意ください。万が一、登録されたデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- TalkBackの使用を許可すると、タッチガイド機能も有効になります。タッチガイドとは、指の位置にあるアイテムの説明を読み上げたり表示したりできる機能です。タッチガイド機能を一度ONにしたあとは、項目を選択するときは一度タップして選択してからダブルタップ、スクロールするときは二本指での操作になります。タッチガイド機能だけを個別にOFFにする場合は、ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「ユーザー補助」▶「見る」▶「TalkBack」▶「設定」▶「タッチガイド」のチェックマークを外してください。
- ホーム画面がdocomo LIVE UXのときに、TalkBackが正常に動作しないことがあります。

端末情報

本端末に関する各種情報を表示します。

デバイス名		Bluetooth®やWi-Fi Direct®などで利用される携帯電話の名称を設定できます。
更新センター	**アプリの更新**	(P243)
	ソフトウェアアップデート	(P240)
ネットワーク		ネットワーク、モバイルネットワークの種類、サービスの状態、ローミング、モバイルネットワークの状態、IPアドレスを表示します。
ステータス		電話番号、IMEIを表示します。
バッテリー		バッテリーの状態や残量を表示します。 ・「バッテリーアラーム設定」にチェックを入れると、バッテリーの状態が良好ではない際にメッセージが表示されます。
ハードウェア情報		モデル番号（機種名）、ハードウェアバージョン、稼働時間、S/N、Wi-Fi® MACアドレス、Bluetooth®アドレスを表示します。
ソフトウェア情報		本端末で稼働中のAndroidバージョン、Androidセキュリティパッチレベル、ベースバンドバージョン、カーネルバージョン、ビルド番号、ソフトウェアバージョンを表示します。
使用条件		LGソフトウェアの利用条件、オープンソースライセンス、Google利用規約を表示します。
アクティビティログ		LGに本製品の情報を送信することに同意するかどうかを設定します。
規制と安全に関する情報		機器名称や認証情報などを表示します。

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「端末情報」▶「ステータス」

・「電話番号」に自分の電話番号が表示されます。

ファイル管理

ストレージ構成

本体（内部ストレージ）

本端末のお買い上げ時に、本体（内部ストレージ）に作成される主なフォルダは次のとおりです。

- 本端末の操作状況によっては、表示されるフォルダが異なる場合があります。

Alarms	アラーム音として設定したい音楽データなどを保存します。
Android	システムや各種アプリの設定データや一時ファイルなどが保存されます。
DCIM	カメラで撮影した静止画、動画のデータが保存されます（保存先を本端末に設定している場合）。
Download	ブラウザでダウンロードしたデータが保存されます。
Movies	動画データが保存されます。
Music	音楽データが保存されます。
Notifications	通知音として設定したい音楽データなどを保存します。
Pictures	静止画データが保存されます。
Podcasts	ポッドキャストデータが保存されます。
Preload	お買い上げ時にあらかじめ保存されているデータです。
Ringtones	着信音やアラーム音として設定したい音楽データなどが保存されます。

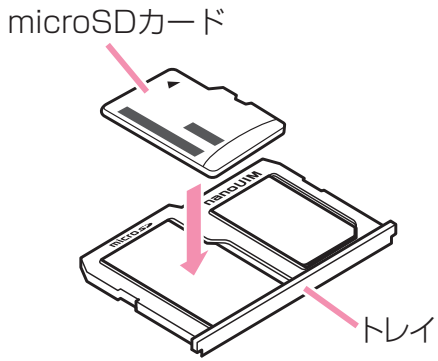
microSDカード（外部ストレージ）

本端末は、microSDカード（microSDHCカード、microSDXCカードを含む）を取り付けて使用することができます。

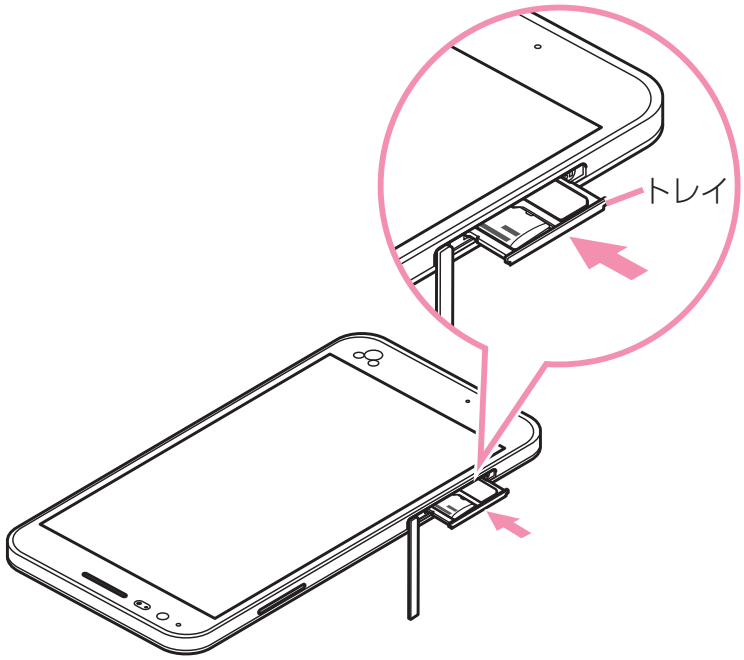
- 本端末では市販の2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカード、200GBまでのmicroSDXCカードに対応しています（2016年6月現在）。
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化をする必要があります（データはすべて削除されます）。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、microSDHCカードもしくはmicroSDカードなど、コピー先／コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。
- 対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- 本端末に対応しているmicroSDカードのUHSスピードクラスは、クラス1です。
- 本端末に対応しているmicroSDカードのスピードクラスは、最大クラス10です。

microSDカードを取り付ける

1. スロットキャップを開く（P31）
2. SIM取り出しツールをトレイイジェクトホールに水平に差し込む（P38）
3. トレイを本端末から取り出す（P38）
4. microSDカードの金属端子面を下に向けてトレイに乗せる



5 トレイを本端末に差し込み、奥までまっすぐ押し込む



6 スロットキャップをしっかり押して閉じる（P31）

microSDカードを取り外す

microSDカードを取り外す場合、必ずSDカードのマウント解除を行ってから取り外してください（P182）。

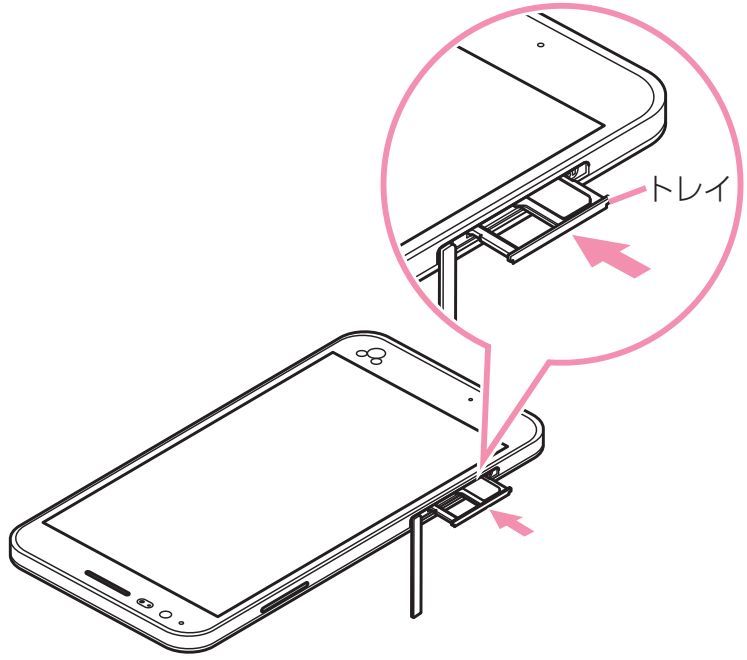
1 スロットキャップを開く（P31）

2 SIM取り出しツールをトレイイジェクトホールに水平に差し込む（P38）

3 トレイを本端末から取り出す（P38）

4 トレイからmicroSDカードを取り外す

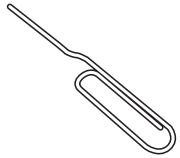
5 トレイを本端末に差し込み、奥までまっすぐ押し込む



6 スロットキャップをしっかり押して閉じる（P31）

お知らせ

- SIM取り出しツールを紛失した場合には、ペーパークリップで代用できます。



ペーパークリップの例

microSDカードを初期化する

microSDカードを初期化すると、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1. **ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「ストレージとUSB」**
2. **「SDカード」▶ ⋮ ▶「設定」▶「フォーマット」▶「フォーマット」▶「完了」**

ファイル操作

ファイルやフォルダの操作

「ファイルマネージャー」を利用して、本端末に保存されている静止画や動画、音楽や文書などさまざまなデータの表示や管理を行えます。

本体ストレージ

1. **ホーム画面で「アプリ」▶「ファイルマネージャー」**
2. **「全ファイル」／「音楽」／「画像」／「動画」／「ドキュメント」のいずれかをタップする**
3. **フォルダ／ファイルをタップする**
   - アプリの選択画面が表示された場合は、利用するアプリを選択して「OK」をタップすると、ファイルが表示／再生されます。

フォルダを作成する

1. **ホーム画面で「アプリ」▶「ファイルマネージャー」**
2. **「全ファイル」▶「内部ストレージ」／「SDカード」▶ 必要に応じてフォルダをタップする**
3. **＋ ▶ フォルダ名を入力 ▶「保存」**

お知らせ

- フォルダの作成は、「全ファイル」の「内部ストレージ」または「SDカード」内でのみ可能です。

フォルダやファイルの名前を変更する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ファイルマネージャー」

2 「全ファイル」／「音楽」／「画像」／「動画」／「ドキュメント」のいずれかをタップ ▶ 必要に応じてフォルダをタップする

3 フォルダ／ファイルをロングタッチ ▶「リネーム」▶ 名前を入力 ▶「保存」

お知らせ

- お買い上げ時に、本体（内部ストレージ）に作成されている「Android」「DCIM」など一部名前の変更ができないフォルダがあります。

フォルダやファイルを削除する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ファイルマネージャー」

2 「全ファイル」／「音楽」／「画像」／「動画」／「ドキュメント」のいずれかをタップ ▶ 必要に応じてフォルダをタップする

3 フォルダ／ファイルをロングタッチ ▶「削除」▶「はい」

お知らせ

- お買い上げ時に、本体（内部ストレージ）に作成されている「Android」「DCIM」など一部削除できないフォルダがあります。

フォルダやファイルを移動／コピーする

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ファイルマネージャー」

2 「全ファイル」▶ 必要に応じてフォルダをタップする

3 フォルダ／ファイルをロングタッチ ▶「移動」／「コピー」

4 移動先／コピー先のフォルダを表示 ▶「OK」

お知らせ

- お買い上げ時に、本体（内部ストレージ）に作成されている「Android」「DCIM」など一部移動／コピーできないフォルダがあります。

データ通信

Bluetooth® 通信

本端末とBluetooth® デバイスをワイヤレスで接続し、データをやりとりできます。

- Bluetooth® 対応バージョンやプロファイルについては、「主な仕様」（P244）をご覧ください。
- Bluetooth® の設定や操作方法については、接続するBluetooth® デバイスの取扱説明書をご覧ください。
- 本端末とすべてのBluetooth® デバイスとのワイヤレス接続を保証するものではありません。

■ Bluetooth® 機能使用時のご注意

- 本端末と他のBluetooth® デバイスとは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
- 他の機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から約2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず約3m以上離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。
- 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth® デバイスの使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth® デバイスをかばんに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth® デバイスと本端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。
- Bluetooth® デバイスが発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては、事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本端末の電源および周囲のBluetooth® デバイスの電源を切ってください。
  - 電車内
  - 航空機内
  - 病院内
  - 自動ドアや火災報知機から近い場所
  - ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

- 本端末のBluetooth®機能と無線LAN対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しているため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。
  - 本端末や接続相手のBluetooth®デバイスを、無線LAN対応機器から約10m以上離してください。
  - 約10m以内で使用する場合は、無線LAN対応機器の電源を切ってください。

■ Bluetooth®機能のパスキー（PIN）について

- Bluetooth®機能のパスキー（PIN）は、接続するBluetooth®デバイス同士が初めて通信するとき、相手機器を確認して、お互いに接続を許可するための認証用コードです。送信側／受信側とも同一のパスキー（最大16文字の半角英数字）を入力する必要があります。
- 本端末ではパスキーを「PIN」と表示している場合があります。

Bluetooth®機能をONにして本端末を検出可能にする

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「Bluetooth」

2 「Bluetooth」をONにする

お知らせ

- Bluetooth®機能を使用しないときは、電池の減りを防ぐため、Bluetooth®機能をOFFにしてください。
- Bluetooth®機能のON／OFF設定は、電源を切っても変更されません。

端末名を変更する

Bluetooth®通信を行ったときに、相手の機器に表示される本端末の名前を変更できます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「Bluetooth」

2 「Bluetooth」をONにする

3 ⋮▶「デバイス名の変更」

4 名前を入力▶「保存」

他のBluetooth®デバイスとペアリング／接続する

Bluetooth®通信を行うには、あらかじめ他のデバイスとペアリング（ペア設定）を行い、本端末に登録後、接続を行います。

- Bluetooth®デバイスによって、ペアリングのみ行うデバイスと接続まで続けて行うデバイスがあります。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「Bluetooth」

2 「Bluetooth」をONにする

- 検出されたBluetooth®デバイスの一覧画面が表示されます。
- Bluetooth®デバイスが表示されない場合は、「検索」をタップして再度検索します。

3 接続したいデバイスをタップ▶「ペアリング」

- 接続するBluetooth®デバイスによっては、パスキー（PIN）の入力が必要になる場合があります。

お知らせ

- ペアリング時にパスキー（PIN）が必要なデバイスの場合も一度ペアリングを行うと、ペアリングを解除しない限り、切断した状態で再度接続するときのパスキー（PIN）の入力は不要になります。
- プロファイル非対応の場合など、接続できないデバイスの場合、ペアリング設定は可能ですが、デバイスをタップしても接続できません。
- SCMS-T非対応のデバイスでは、音楽データなど、オーディオ関連データの種別にかかわらず、再生することはできません。

他のデバイスからペアリング要求を受けた場合

Bluetooth®通信のペアリングを要求する画面が表示された場合、「ペアリング」をタップするか、必要な場合は、パスキー（PIN）を入力して「OK」をタップしてください。

接続を解除する場合

1 「ペアリング済みデバイス」の一覧で、接続を解除したいデバイスをタップ▶「OK」

ペアリングを解除する場合

1 「ペアリング済みデバイス」の一覧で、ペアリングを解除したいデバイスの ⚙ をタップ▶「ペアリングの解除」

Bluetooth®機能でデータを送受信する

- あらかじめ本端末のBluetooth®機能をONにし、検出可能にしてください。

Bluetooth®機能でデータを送信する

電話帳（vcf形式の名刺データ）のデータや静止画、動画などのファイルを、他のBluetooth®デバイス（パソコンなど）に送信できます。

- 送信は各アプリの「共有」／「送信」などのメニューから行ってください。

＜例＞ギャラリーから静止画を送信する

1 本端末と他のBluetooth®デバイスをペアリング／接続する（P208）

2 ホーム画面で「ギャラリー」▶送信したい静止画を選択して表示する

3 ＜ ▶「Bluetooth」▶Bluetooth®デバイスを選択する

4 以降、受信する相手機器側で画面の指示に従ってデータを受信する

Bluetooth®機能でデータを受信する

1 **本端末と他のBluetooth®デバイスをペアリング／接続する（P208）**

2 **他のBluetooth®デバイスからデータを送信する**

3 **本端末にファイル転送要求の画面が表示されたら、「承諾」をタップする**

- ステータスバーに が表示され、データの受信が開始されます。
- 通知パネルで受信状態を確認できます。
- 受信が完了したら、画面下部にメッセージ画面が表示されます。

NFC通信

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やReader/Writer機能、P2P機能などが本端末でご利用いただけます。
NFCの機能を利用して、他の対応機器とデータのやりとりができます。

- 対向機にかざす際の注意事項については、P124をご覧ください。

Androidビーム

Reader/Writer, P2P機能を搭載した端末との間でデータを送受信できます。

- あらかじめReader/Writer, P2P機能を有効にし、「Androidビーム」にチェックマークを付けておいてください。
- NFC／おサイフケータイ ロックを設定している場合は、Androidビームを利用できません。
- アプリによってはAndroidビームをご利用になれません。
- すべてのReader/Writer, P2P機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。

データを送信する

ブラウザのウェブページや連絡先、静止画、動画などのファイルを、他のNFC対応端末に送信できます。

＜例＞ギャラリーから静止画を送信する

1 受信側端末のAndroidビーム機能を利用可能に設定する

2 本端末のReader/Writer, P2P機能を有効にし、「Android ビーム」にチェックマークを付ける（P173）

3 ホーム画面で「ギャラリー」▶ 送信したい静止画を選択して表示する

4 本端末と受信側端末の マーク部分を向かい合わせて近づける
- ビーム共有画面が表示されます。

5 ビーム共有画面をタップする
- 受信側端末でビームの受信が始まります。

データを受信する

1 送信側端末のAndroidビーム機能を利用可能に設定する

2 本端末のReader/Writer, P2P機能を有効にし、「Android ビーム」にチェックマークを付ける（P173）

3 本端末と送信側端末の マーク部分を向かい合わせて近づけ、送信側端末から送信操作を行う
- ビームの受信が始まります。
- ステータスバーに が表示されます。
- 通知パネルで受信状態を確認できます。
- 受信が完了したら、画面下部にメッセージ画面が表示されます。

外部機器接続

パソコンとの接続

本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01（別売）で接続して、パソコンの「Windows Media Player」と音楽などのデータを同期したり、ドラッグ＆ドロップでパソコンと本端末でデータをやりとりしたりできます。

- 本端末をパソコンに認識させるには、専用のドライバおよびWindows Media Player 11以上が必要です。
  - 専用ドライバのダウンロードや操作方法、その他詳細については、下記のホームページを参照してください。
    http://www.lg.com/jp/support/software-manuals
  - 最新版のWindows Media Playerは、Microsoftのウェブサイトからダウンロードできます。
    http://windows.microsoft.com/ja-jp/windows/download-windows-media-player
- 本端末とパソコンを接続中に、動画の撮影や再生など一部の機能が使用できない場合があります。
- 一部の著作権で保護されたデータのやりとりは許可されない場合があります。

お知らせ

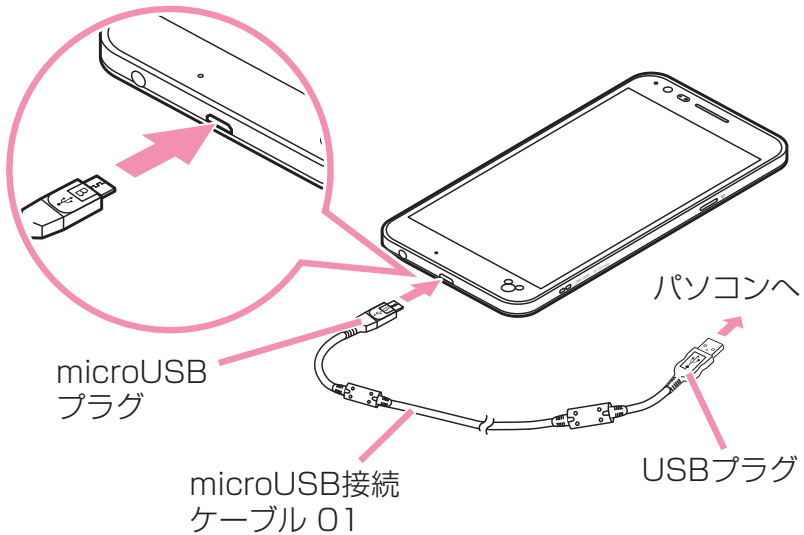
- ファイル操作に必要なパソコン側の動作環境は次のとおりです。
  - OS※：Windows 10/Windows 8.1/Windows 7/Windows Vista
  - Windows Media Player：Windows Media Player 11以上

  ※ OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
- 本端末の内部ストレージとmicroSDカードに保存されているお客様データは、パソコンでのバックアップを行ってください。
- パソコンなど他の機器から本端末の内部ストレージまたはmicroSDカードに保存したデータは、本端末で表示、再生できない場合があります。また、本端末からパソコンに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。

本端末とパソコンを接続する

1 本端末の外部接続端子に、microUSB接続ケーブル 01（別売）のmicroUSBプラグを差し込む

- microUSBプラグは、USBマークを上にして水平に差し込んでください。



2 microUSB接続ケーブル 01のUSBプラグをパソコンのUSBポートに差し込む

- 本端末がパソコン側に自動で認識されます。

お知らせ

- データの読み込みや書き込み中に、本端末の電源を切らないでください。
- データの読み込みや書き込み中、microUSB接続ケーブルを抜かないでください。データ消失などの原因となります。

本端末のデータをパソコンから操作する

本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01（別売）で接続すると、本端末のデータをパソコンから操作できます。

1 本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01で接続する（P213）

2 USB接続方法を選択する

充電のみ	充電のみ行います。
ファイル転送	MTP対応のファイル管理用ソフトウェアで音楽や動画などを転送できます。
写真の転送	MTP非対応のパソコンなどに静止画や動画を転送できます。

テザリング	（P171）
MIDIデバイス	本端末をMIDI入力に使用します。

3 「1回のみ」／「常に使用」

お知らせ

- USB接続方法を変更するには、通知パネルを開く▶USB接続の通知情報をタップし、USB接続方法を選択します。

プリンターとの接続

Wi-Fi®対応プリンターでブラウザ画面や画像を印刷することができます。

- Wi-Fi®対応プリンターの操作方法は、Wi-Fi®対応プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- 本端末とプリンターは、同一のWi-Fi®ネットワークに接続されているか、Wi-Fi Direct®で接続されている必要があります。

ワイヤレス印刷

＜例＞ギャラリーから静止画を印刷する

1 ホーム画面で「ギャラリー」

2 印刷したい静止画を選択して表示する

3 ⋮▶「印刷」

4 以降、画面の指示に従って操作する

その他の機器との接続

SmartShare Beamを使用する

SmartShare Beamを使用して、コンテンツの送受信ができます。

SmartShare Beamの設定

本端末のコンテンツを他の機器に公開するための設定を行います。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「その他...」▶「SmartShare Beam」

2 「SmartShare Beam」をONにする

(デバイス名)	相手の機器に表示される本端末の名前を変更します。
ストレージ	受信したデータの保存先を設定します。
ファイル転送履歴	SmartShare Beamで送受信したすべてのファイルのリストを表示します。
ヘルプ	ヘルプを表示します。

SmartShare Beamでファイルを送信する

本端末のコンテンツを他の機器に送信します。

<例>ギャラリーから静止画を送信する

1 ホーム画面で「ギャラリー」

2 送信したい静止画を選択して表示する

3 ▶「SmartShare Beam」

4 送信するデバイスをタップする

- Wi-Fi Direct®で送信するときは、あらかじめ受信する機器のSmartShare BeamをONにしてください。
- Bluetooth®機能で送信するときは、あらかじめ受信する機器とペアリングしてください。
- デバイスが表示されない場合は、「再スキャン」をタップしてデバイスをスキャンしてください。

SmartShare Beamでファイルを受信する

コンテンツを他の機器から受信します。

1 「ファイル転送」画面が表示されたら、「はい」／「承諾」をタップする

- ステータスバーに が表示され、データの受信が開始されます。
- 通知パネルで受信状態を確認できます。
- 受信が完了したら、画面下部にメッセージ画面が表示されます。

Wi-Fi® 接続でWi-Fi® Miracast対応機器に表示する

本端末とWi-Fi® Miracast対応機器をWi-Fi®接続して、テレビやディスプレイなどに動画、画像などを表示します。

- あらかじめ本端末のWi-Fi®をONにしてください。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「その他...」▶「Miracast」

2 「Miracast」をONにする

- 接続するMiracast対応機器が表示されない場合は、「検索」をタップします。

3 検出されたWi-Fi® Miracast対応機器をタップする

Wi-Fi® Miracast対応機器を切断する

1 切断したいWi-Fi® Miracast対応機器をタップ▶「OK」

お知らせ

- HDCP非対応の機器と接続した場合、映像・音声は正しく出力されません。また、コンテンツによっては、コンテンツプロバイダーから外部出力を禁止されていたり、性能上の問題から外部出力が抑止されていたりするものがあります。
- 接続中に電話着信があった場合、着信画面が接続した機器にも表示されます。
- 一部のアプリでは、接続した機器にコンテンツが表示され、本端末で再生などの操作ができます。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

● 対応ネットワークについて

本端末は、クラス5になります。LTEネットワーク、3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用になれます。また、3G850MHz／GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用になれます。ご利用可能エリアをご確認ください。

● 海外でご利用になる前に、以下をあわせてご覧ください。

- ドコモのホームページ

お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国、地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

主な通信サービス	3G	3G850	GSM（GPRS）	LTE
電話	○	○	○	○
SMS	○	○	○	○
メール※	○	○	○	○
ブラウザ※	○	○	○	○

（○：利用可能　×：利用不可）

※ ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミング設定をONにしてください（P219）。

お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用になれないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます（P62）。

海外でご利用になる前に

出発前の確認

海外でご利用になる際は、日本国内で次の確認をしてください。

● ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

● 充電について

- 充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

● 料金について

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。
- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリの提供元にご確認ください。

事前設定

● ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス･転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには､「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます。
  - 日本国内から（P97）
  - 海外から（P224）
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

● 接続について

「通信事業者」の「自動的に選択」にチェックマークを付けている場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

海外で利用するための設定

データローミングの設定

海外でパケット通信を行うためには、データローミングの設定を「ON」にする必要があります。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」

2 「データローミング」▶ 注意画面の内容を確認して「OK」

通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「通信事業者」▶「ネットワークを検索」

- 利用可能なネットワークを検索して表示します。
- ネットワーク検索でエラーが発生する場合は、「データ通信を有効にする」をOFFにして再度実行してください（P170）。

2 通信事業者のネットワークを選択する

- 自動でネットワークを切り替える場合は、「自動的に選択」にチェックマークを付けてください。

ネットワークモードの設定

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「優先ネットワークタイプ」

2 「LTE/3G/GSM（自動）」／「3G/GSM」／「GSM」

日付と時刻について

「日付と時刻」の「日付と時刻の自動設定」「タイムゾーンの自動設定」にチェックマークを付けている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」→ P196

お問い合わせについて

- 本端末やドコモnanoUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で「電話」▶「ダイヤル」タブ

2 ＋（「0」をロングタッチする）▶ 国番号 ▶ 地域番号（市外局番）▶ 相手先電話番号の順に入力する

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

3 

- 「国際ダイヤルアシスト」の「自動変換機能」にチェックマークを付けている場合、日本への発信は日本国内のときと同様に市外局番から入力 ▶  ▶「変換後の番号で発信」をタップします。

■ ビデオコールを発信する場合

⋮ ▶「ビデオコール」をタップします。

4 通話が終了したら「終了」

滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 **ホーム画面で「電話」▶「ダイヤル」タブ**

2 **相手の電話番号を入力する**

- 一般電話にかける場合は、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力します。

3 

4 **通話が終了したら「終了」**

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- 滞在先にかかわらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じように「+」と「81」（日本の国番号）を先頭に付け、先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてください。

滞在先で電話を受ける

日本国内での操作と同様の操作で電話を受けることができます。

お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。
- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合でも、海外通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合があります。また、相手が利用しているネットワークによっては、相手の発信者番号とは異なる番号が通知される場合があります。
- 海外での利用時には、「着信拒否設定」が動作しない場合があります（P98）。

相手からの電話のかけかた

● **日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合**
日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

● **日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合**
滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際電話アクセス番号および「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。
発信国の国際電話アクセス番号-81-90（または80、70）-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定や、国際電話を利用するための設定を行います。

- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で「電話」▶ ⋮ ▶「通話設定」▶「海外設定」

2 必要に応じて設定を変更する

ローミング時着信規制	国際ローミング中に着信を規制するかどうかを設定します。
ローミング着信通知	国際ローミング中に圏外にいたときなどに着信があったことを、SMSで通知するかどうかを設定します。
ローミングガイダンス	国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、海外にいることをお知らせします。

国際ダイヤルアシスト	**自動変換機能**	自動変換機能を設定します。 ・「自動変換機能」にチェックマークを付けると、電話番号の先頭に「＋」を入力して発信したときに国際ダイヤルアシスト画面が表示されます。「変換後の番号で発信」をタップすると、「＋」が「国際プレフィックス」で登録した国際アクセス番号に変換されます。
	国番号	国際電話をかけるときの国番号の追加などができます。
	国際プレフィックス	国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際アクセス番号の追加などができます。

ネットワークサービス	遠隔操作（有料）	海外から留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。 • あらかじめ「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。 • 海外から操作した場合は、利用した国の日本向け通話料がかかります。 • 海外通信事業者によっては、設定できないことがあります。
	番号通知お願いサービス（有料）	
	ローミング着信通知（有料）	
	ローミングガイダンス（有料）	
	留守番電話サービス（有料）	
	転送でんわサービス（有料）	

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 「優先ネットワークタイプ」を「LTE/3G/GSM（自動）」に設定してください（P219）。
- 「通信事業者」の「自動的に選択」にチェックマークを付けてください（P219）。

付録／索引

トラブルシューティング(FAQ)

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアをアップデートする必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアをアップデートしてください（ソフトウェアアップデート → P240）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申し込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

症　状	チェック
本端末の電源が入らない	• 電池切れになっていませんか。 → P40
画面が動かない／電源が切れない	• 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に本端末の電源キーと音量キー（下）を同時に９秒以上押し続けると、強制的に再起動することができます。 ※強制的に再起動する操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

症　状	チェック
充電ができない 通知LEDライトが点灯しない、または点滅する	• アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。 • アダプタと本端末が正しくセットされていますか。 • ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのコネクタが本端末にしっかりと接続されていますか。 • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇し、内蔵電池を保護するために充電できない場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。
充電ができない 通知LEDライトが点灯しない、または点滅する	• 内蔵電池が完全に放電された状態で充電すると通知LEDが点滅します。そのまま充電を継続しても、充電が完了しない場合は、内蔵電池の交換が必要となります。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申し込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

■ 端末操作

症　状	チェック
操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、充電しながらアプリ、ワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。

症　状	チェック
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申し込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
タッチスクリーンをタップしたり、キーを押したりしても動作しない	• 画面ロックを設定していませんか。→ P180 • 電源が切れていませんか。→ P43

症　状	チェック
タッチスクリーンをタップしたり、キーを押した時の画面の反応が遅い	• 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
ドコモnanoUIMカードが認識しない	• ドコモnanoUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→ P38
時計がずれる	• 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 「日付と時刻の自動設定」が設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。→ P196

症　状	チェック
端末動作が不安定	• お買い上げ後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモード（お買い上げ時に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 – セーフモードの起動方法 1. 電源OFFの状態から電源キーを2秒以上押し続けます。 2. docomoロゴが表示されたあと、ホーム画面が表示されるまで、音量キー（下）を押し続けます。

症　状	チェック
端末動作が不安定	※ 電源が入っている状態で電源キーを2秒以上押し続ける▶「電源を切る」をロングタッチ▶「OK」をタップしてもセーフモードを起動できます。 ※ セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を一度OFFにし起動し直してください。 – 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 – お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 – セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常はセーフモードを終了しご利用ください。
アプリが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）	• 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。→ P186

■ 通話

症　状	チェック
をタップしても発信できない	• 機内モードを設定していませんか。→ P170
着信音が鳴らない	• 音量設定の「着信音」を最小にしていませんか。→ P177 • 機内モード、マナーモード（バイブレートのみ、サイレント）に設定していませんか。→ P170、P177 • 着信拒否設定をONに設定していませんか。→ P98 • 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか。→ P97

症　状	チェック
通話ができない（場所を移動しても の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	• 電源を入れ直すか、ドコモnanoUIMカードを入れ直してください。 • 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状況は を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 着信拒否設定をONに設定していませんか。→ P98 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください（音声サービス）」と表示されるか、または話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ 画面

症　状	チェック
ディスプレイが暗い	• バックライト点灯時間を設定していませんか。→ P179 • 画面の明るさを変更していませんか。→ P179 • 電池残量が少なくなっていませんか。→ P40 • バッテリーセーブを設定していませんか。→P183

■ 音声

症　状	チェック
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	• 音量キーで通話音量を調節してください。→ P93

■ メール

症　状	チェック
メールを自動で受信しない	• 「Eメール自動同期」のチェックマークを外していませんか。チェックマークを付けてください。→P111 • 「同期スケジュール」を「手動」に設定していませんか。同期スケジュールを設定してください。→P111

■ カメラ

症　状	チェック
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	• カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。

■ テレビ（ワンセグ）

症　状	チェック
ワンセグの視聴ができない	• 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。 • 視聴エリアの設定をしていますか。→ P134
画像は見られるが、音声が出ない	• SCMS-T非対応機器では、ワンセグの音声を聞くことができません。
ワンセグでスクリーンショットが取得できない	• ワンセグは著作権保護のため、スクリーンショットの機能を制限しています。異常な動作ではありません。

■ おサイフケータイ

症　状	チェック
おサイフケータイが使えない	• おまかせロックを起動すると、NFC ／おサイフケータイ ロックの設定にかかわらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。 • NFC ／おサイフケータイ ロックを設定していませんか。→ P124 • 本端末の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→ P124

■ 海外利用

症　状	チェック
海外で本端末が使えない	**■ アンテナマークが表示されている場合** ・WORLD WINGのお申し込みをされていますか。WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。 **■ 圏外が表示されている場合** ・国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページで確認してください。 ・ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。 －「優先ネットワークタイプ」を「LTE/3G/GSM（自動）」に設定する→ P219 －「通信事業者」の「自動的に選択」にチェックマークを付ける→ P218 ・本端末の電源をOFFにした後、再びONにすることで回復することがあります。→P43
海外でデータ通信ができない	・データローミング設定をONにしてください。→ P219
海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった	・利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	・相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■ データ管理

症　状	チェック
データ転送が行われない	• USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
microSDカードに保存したデータが表示されない	• microSDカードを取り付け直してください。→ P202
画像表示しようとすると が表示されるまたはデモやプレビューで が表示される	• 画像データが壊れている場合は が表示される場合があります。

■ Bluetooth® 機能

症　状	チェック
Bluetooth® 通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない	• Bluetooth® 通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth® 通信対応機器（市販品）、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。→ P208
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない	• 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

■ 地図・GPS機能

症　状	チェック
オートGPS サービス情報が 設定できない	• 電池残量が少なくなり、オートGPSが停止していませんか。 • 「低電力時動作設定」により、オートGPSが停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、「低電力時動作設定」を「停止しない」に設定するか、または、充電をすることで設定できるようになります。→ P186 • オートGPS動作設定がOFFになっていませんか。→ P186

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説　明
ドコモnanoUIMカードが挿入されていません	ドコモnanoUIMカードが正しく機能していません。ドコモnanoUIMカードを抜き差ししても改善しない場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申し込み先」にご連絡の上、ご相談ください。
通信サービスなし	サービスエリア外か、電波の届かない場所にいるため利用できません。電波の届く場所まで移動してください。
PIN1がロックされました PINロック解除コードを入力してください	PINロック解除コードを入力してください。→ P192

エラーメッセージ	説　明
• すべてのストレージに十分な空き容量がありません。ファイルを削除してください。 • 端末の空き容量が低下しています。このまま使用になられると一部の機能やアプリケーションが動作しない場合があります。アプリやメディアコンテンツなどを削除してストレージの空き容量を確保してください。	ファイルやアプリ、メディアコンテンツの保存、一部の機能やアプリの動作に必要な空き容量が不足しているときに表示されます。ファイルやメディアコンテンツを削除するか、アプリをアンインストールするなどしてストレージの空き容量を確保してください。 → P121、P205
• しばらくお待ちください（音声サービス） • しばらくお待ちください（データサービス）	回線の混雑などにより音声／データサービスが規制されたときに表示されます。規制が解除されてから再度操作してください。

エラーメッセージ	説　明
無効な宛先です	SMSの宛先に入力されている電話番号や連絡先が無効です。受信者として使用することができない電話番号や電話帳に登録されていない連絡先名が入力されています。正しい電話番号や連絡先を入力してください。
これ以上、宛先は追加できません。	SMSでは複数の受信者を宛先に追加することはできません。メッセージの宛先は1人のみ入力してください。
これ以上入力できません	SMSの文字数制限を超えているため、これ以上文字を入力することができません。メッセージの本文を最大文字数以内にしてください。
メッセージを送信できません。ネットワーク再接続後に送信します	SMSで、ネットワークの状態異常のためにメッセージを発信することができません。ネットワークの状態を確認してください。

エラーメッセージ	説　明
ログイン情報が不正です。やり直してください	Eメールアカウントを設定するとき、間違ったEメールアドレスまたはパスワードが入力されています。正しいEメールアドレスまたはパスワードを入力してください。
利用可能なネットワーク接続がありません	Eメールアカウントを設定するとき、ネットワークの状態異常のためにサーバーに接続することができません。ネットワークの状態を確認してください。

あんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定やアプリの使い方、パソコンなどの周辺機器との接続に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモnanoUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- あんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- あんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 あんしん遠隔サポートセンターへ電話する

■ ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）15710（無料）

■ 一般電話などからの場合
0120-783-360

受付時間　午前9:00～午後8:00（年中無休）

- 本端末からあんしん遠隔サポートセンターへ電話する場合は、ホーム画面で「アプリ」▶「遠隔サポート」▶「このスマートフォンから発信する」▶ をタップします。

2 ホーム画面で「アプリ」▶「遠隔サポート」

3 「遠隔サポートの接続画面に進む」▶「同意する」

4 ドコモからご案内する接続番号を入力する

5 接続後、遠隔サポートを開始する

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より１年間です。
  ※ テレビアンテナケーブル L01、ディズニーオリジナルカバー L01、SIM取り出しツール（試供品）は無料修理保証の対象外となります。
  ※ SIM取り出しツールは、試供品となります。試供品のお問い合わせ先をご覧ください。
- 本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。
  ※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
  ※ 本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子が良くないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申し込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（外部接続端子・ディスプレイなどの破損）による故障・損傷、ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
- ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後４年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申し込み先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    ・ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
    ・接着剤などにより本端末に装飾を施す
    ・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi®用のMACアドレスおよびBluetooth®アドレスが変更される場合があります。
- 本端末の以下の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカー、受話口（レシーバー）／サブマイク、バイブレータ部（音量キー付近）
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によっては修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアアップデート

ソフトウェアアップデートについて

ソフトウェアアップデートとは、ネットワークに接続してアップデートが必要かを確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードし、インストールする機能です。アップデートが必要な場合には、ステータスバーの（ソフトウェアアップデート）やドコモのホームページにてご案内いたします。
ソフトウェアアップデートには、以下の内容などが含まれます。本端末を安全でより快適にご利用いただくため、必ず最新バージョンへのアップデートをお願いいたします。

- 機能の向上や追加
- 操作性の向上
- 品質改善
- セキュリティパッチの最新化

お知らせ

- アップデートは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、バックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

注意事項

- アップデートを行うと、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- アップデートの際、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的に当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- Xi／FOMAでのパケット通信をご利用の場合、ダウンロードに通信料金は発生しません。
- パケット通信を利用したアップデートにはドコモ契約のドコモnanoUIMカードが必要です。なお、アップデートの内容によってはパケット通信を利用した場合、spモードの契約が必要になる場合があります。
- インストール中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。
- インストール中は、すべてのキー操作が無効となり、途中で中止することはできません。
- アップデートが完了すると再起動がかかります。
- アップデートを行うと、一部の設定が初期化されることがありますので、再度設定を行ってください。
- PINコードが設定されているときは、書換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- アップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。
- アップデート中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。

- アップデートには時間がかかることがあります。
- 以下の場合はアップデートができません。
  - 通話中
  - 圏外が表示されているとき
  - 親機としてテザリングをしているとき
  - 日付・時刻を正しく設定していないとき
  - 必要な電池残量がないとき
  - 本体メモリに必要な空き容量がないとき
  - 基本ソフトウェアを不正に変更しているとき
- インストールを行う前に、すべてのアプリを終了してください。
- 本端末の電池残量がフル充電の状態で行ってください。
- アップデート中は電源を切らないでください。
- ダウンロード中は電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。
- アップデートが不要な場合は、「アップデートの必要はありません。このままご利用ください。」と表示されます。

ソフトウェアをアップデートする

- アップデートは、お客様自身でインストールを実行していただく必要がございます。
  ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプして、通知パネルを開く ▶ 通知をタップ ▶「インストール」
- 自動ダウンロード設定を変更する場合、ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「端末情報」▶「更新センター」▶「ソフトウェアアップデート」▶「自動ダウンロード」の「ON」／「OFF」をタップします。
- 「自動ダウンロード」を「OFF」にした場合、「ステータスバーにアイコンが表示されない場合」の操作を行ってください（P242）。

ステータスバーにアイコンが表示されない場合

以下の操作でアップデートを実行できます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「端末情報」▶「更新センター」▶「ソフトウェアアップデート」▶「アップデートを開始」

- 更新ファイルがある場合、ダウンロードが開始します。

2 インストールを開始するメッセージが表示されたら「OK」／「インストール」

- インストールが開始します。
- アップデートの内容によっては「アップデートを開始」をタップ後、アップデートの実施について確認画面が表示されます。
- 確認画面が表示されたら、❶，❷の手順に従ってください。

❶ 実施方法を選択する

- 「今すぐ実施（Wi-Fiのみ）」：Wi-Fi®接続により、即時に更新ファイルをダウンロードします。
- 「予約して実施（Wi-Fi/Xi）」：Wi-Fi®接続またはXi／FOMAにより、自動的に予約された時刻に更新ファイルをダウンロードします。

※ Xi／FOMAによるダウンロードができない場合、「予約して実施（Wi-Fiのみ）」と表示されます。spモードを設定されていない場合は、「予約して実施（Wi-Fiのみ）」をタップしてもアップデートを実行できません。Wi-Fi®接続をご利用ください。

❷「ダウンロードしてインストール」または「ダウンロードのみ」のどちらかを選択する

- 「ダウンロードしてインストール」：ダウンロード完了後、自動でインストールが実行されます。「OK」をタップしない場合でも、約10秒後にインストールが実行されます。
- 「ダウンロードのみ」：更新ファイルのダウンロードが完了しても、自動でインストールは実行されません。インストールする場合、お客様がインストールを実行する必要があります。

お知らせ

- 本端末のソフトウェアが最新の場合には、「アップデートの必要はありません。このままご利用ください。」と表示されます。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードしたデータは最長14日間保持されます。ダウンロードを再開する場合は、通知パネルの（ダウンロードが中断されました）から再開できます。
- 「予約して実施」を選択した場合、ダウンロードの時刻は自動的に設定されます。開始時刻の変更はできません。自動で設定された時刻にダウンロードされたくない場合は、「ソフトウェアアップデート」▶「戻る」をタップした後、「今すぐ実施（Wi-Fiのみ）」を選択して更新ファイルをダウンロードしてください。

アプリのアップデート

■ **アップデート後、アプリのアップデートがあるかどうかをご確認ください。アプリのアップデートを行わないと動作が不安定になることや、機能が正常に動作しなくなることがあります。必ず最新バージョンへのアップデートをお願いいたします。**

- 通知アイコンからアップデートする
  アップデート完了後、本端末が再起動し、通知アイコン（アップデートが完了しました）が表示されます。
  ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプして、通知パネルを開く▶「アップデートが完了しました」▶画面の指示に従って操作し、アップデート一覧でアプリのアップデートを行ってください。
- Playストアからアップデートする
  ホーム画面で「Playストア」▶≡▶「マイアプリ」より各アプリのアップデートを行ってください。

■ **各アプリのOSバージョン対応状況については、アプリの提供元へご確認ください。**

アプリの更新

LG Electronics Inc.が提供するアプリのダウンロードや、アップデート通知周期、自動アップデートなどの設定を行います。LTE／3G接続またはWi-Fi®接続でアプリの更新を行うことができます。

- アプリ更新の注意事項については、ソフトウェアアップデートの「注意事項」（P240）を参照してください。
- 最新のソフトウェアの状況については、
  LG Electronicsホームページをご参照ください。
  http://www.lg.com/jp/support/software-manuals

ダウンロード

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「端末情報」▶「更新センター」▶「アプリの更新」

- 「アプリアップデートの使用条件」画面が表示された場合は、「次へ」▶「LGアプリの利用規約」と「プライバシーポリシー」の内容を確認してチェックマークを付ける▶「次へ」をタップしてください。

2 「ダウンロード」

アップデートの設定

1 ホーム画面で「アプリ」▶「設定」▶「端末情報」▶「更新センター」▶「アプリの更新」

2 ⋮▶「設定」

3 必要に応じて設定を変更する

アップデート通知周期	更新可能なアプリがあるか自動で確認して、通知する周期を設定します。
アプリの自動更新	アップデート可能なアプリを自動で更新するかどうかを設定します。
アプリアップデートの使用条件	「プライバシーポリシー」の同意状態を修正します。

主な仕様

本体

品名		DM-02H
サイズ（H×W×D）		約148mm×約74mm×約7.9mm（最厚部：約8.3mm）
質量		約137g
メモリ		ROM 16GB※1 RAM 2GB
連続待受時間	LTE	静止時（自動）：約360時間
	FOMA/3G	静止時（自動）：約380時間
	GSM	静止時（自動）：約310時間
連続通話時間	VoLTE音声通話	約940分
	FOMA/3G	約810分
	GSM	約780分

充電時間	ACアダプタ05（別売）	約110分
	DCアダプタ04（別売）	約140分
ワンセグ	視聴時間	約490分
	録画時間※2	約381分
ディスプレイ	種類	TFT（Full HD IPS）
	発色数	16,777,216 色
	サイズ	約5.2inch
	解像度	横1080ピクセル×縦1920ピクセル（Full HD）
撮像素子	種類	裏面照射型CMOS
	サイズ	メインカメラ：1/3.1 inch フロントカメラ：1/4.0 inch
カメラ有効画素数		メインカメラ：約1610万画素 フロントカメラ：約800万画素
カメラ記録画素数（最大時）		メインカメラ：約1590万画素 フロントカメラ：約800万画素
ズーム（デジタル）		最大約4.0倍（30段階） （メインカメラのみ）

無線LAN		IEEE802.11 a/b/g/n/ac準拠 （IEEE802.11 n対応周波数帯：2.4GHz／5GHz）
Bluetooth®	対応バージョン※3	Bluetooth®標準規格 Ver.4.2
	出力	Bluetooth®標準規格 Power Class 2
	見通し通信距離※4	約10m以内
	対応プロファイル※5	HFP、HSP、OPP、SPP、HID、A2DP（aptX／SBC）、AVRCP、PBAP、PAN（PAN-NAP）、PAN（PANU）、HDP、ANP、FMP、PXP、TIP、HOGP、ScPP
イヤホンマイク端子	端子径	3.5 φ
	極数	4極

※1 Android OSやお買い上げ時に搭載されているアプリの保存にも使用されているため、実際に使用できる容量とは異なります。

※2 内部ストレージに保存できる1件あたりの最大録画時間です。
※3 本端末を含むすべてのBluetooth®機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth®標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しております。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやり取りができない場合があります。
※4 通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。
※5 Bluetooth®対応機器どうしの使用目的に応じた仕様で、Bluetooth®の標準規格です。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態で移動したときの時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場所など）などにより、待受時間は約半分程度になることがあります。
- インターネット接続を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通信やインターネット接続をしなくてもメールを作成したり、カメラやアプリを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、本端末の電源を切って、内蔵電池が空の状態から充電したときの目安です。本端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

内蔵電池

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.85V
公称容量	2,900 mAh

テレビアンテナケーブル L01

長さ	約140mm
質量	約8g

ディズニーオリジナルカバー L01

サイズ	**フリップ部**	縦：約144mm 横：約72mm
	リア部	縦：約150mm 横：約76mm
質量		約39g

SIM取り出しツール（試供品）

外形寸法	縦：約15mm 横：約22.65mm 厚み：約0.92mm
質量	約0.65g

対応言語

■ 表示言語

日本語／英語／ドイツ語／スペイン語／フランス語／アラビア語／ポルトガル語／ロシア語／中国語／韓国語

■ 入力言語（文字入力）

日本語／英語／韓国語

ファイル形式

本端末は以下のファイル形式の表示・再生に対応しています。

種　類	ファイル形式
オーディオ	mp3、mp2、wav、amr、wma、aac、mid、ogg、flac
静止画	jpeg、png、bmp、wbmp、gif、webp、jps、mpo
動画	mp4、m4a、m4v、mpg、3gp、wmv、avi、mkv、flv、asf

静止画・動画は次に示すファイル形式で保存されます。

種　類	ファイル形式
静止画	JPEG
動画	MP4

動画の録画時間（目安）

解像度	DM-02H（本体）※
1920×1080 (Full HD)	最大約34分（1件あたり）

※ お買い上げ時の録画可能時間です。
※ ファイルサイズは4GBに制限されます。
ファイルサイズの制限は、お客様の設定なしで自動的にサポートする機能です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種DM-02Hの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.432W/kg（※2）、身体に装着した場合のSARの最大値は0.313W/kg（※3）です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html
ドコモのホームページ
https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
LG Electronicsホームページ（本端末の「仕様」のページをご確認ください）
http://www.lg.com/jp/mobile-phones/all-phones/index.jsp
（URLは予告なく変更される場合があります。）

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 Xi／FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。
※3 Xi／FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones

This model DM-02H mobile phone complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.
This mobile phone was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves(*1) and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines. This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition.
The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this mobile phone when tested for use near the head is 0.432 W/kg(*2) and when worn

on the body is 0.313 W/kg(*3). There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit.
The actual SAR of this mobile phone while operating can be well below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network. Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device.
This mobile phone can be used in positions other than against your head. Please keep the mobile phone farther than 1.5 cm away from your body by using such as a carrying case or a wearable accessory without including any metals. This mobile phone satisfies the technical regulations and international guidelines.
The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."
Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_english.htm

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm
Association of Radio Industries and Businesses Website:
http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html (in Japanese only)
NTT DOCOMO, INC. Website:
https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/
LG Electronics Inc. Website (Check the Specifications page for this terminal.)
http://www.lg.com/jp/mobile-phones/all-phones/index.jsp (in Japanese only)
(the above URLs are subject to change for without notice.)

*1 Technical regulations are defined by the Ministerial Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio Equipment Regulations).
*2 Including other radio systems that can be simultaneously used with Xi/FOMA.
*3 Including other radio systems that can be simultaneously used with Xi/FOMA.

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver.
Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.*
Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.770 W/kg, and when worn on the body is 0.600 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after search on FCC ID ZNFDM02H. For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Wi-Fi® Caution	This device is capable of operating in 802.11a/n mode. For 802.11a/n devices operating in the frequency range of 5.15 - 5.25 GHz, they are restricted for indoor operations to reduce any potential harmful interference for Mobile Satellite Services (MSS) in the US. WIFI Access Points that are capable of allowing your device to operate in 802.11a/n mode(5.15 - 5.25 GHz band) are optimized for indoor use only. If your WIFI network is capable of operating in this mode, please restrict your WIFI use indoors to not violate federal regulations to protect Mobile Satellite Services.

Regulatory information (FCC ID number, etc.)

For regulatory details, operate from the Home screen, ▶ "Settings" ▶ "About phone" ▶ "Regulatory & Safety" on your phone.

FCC Statement for the USA

This device complies with part15 of FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference.

(2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Part 15.21 statement

Change or Modifications that are not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

Part 15.19 statement

This device complies with part15 of FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference.

(2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Part 15.105 statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Declaration of Conformity

The product "DM-02H" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.
This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.752 W/kg at the ear, and 1.450 W/kg when worn on the body. To comply with the RF Exposure limits a distance of greater than 1.5 cm must be maintained from the user's body.
While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value.
This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

European Union Directives Conformance Statement

CE0168!

Hereby, LG Electronics Inc. declares that this product is in compliance with:

- The essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC
- All other relevant EU Directives

The above gives an example of a typical Product Approval Number.

Wi-Fi® (WLAN)	This device is intended for sale in Japan only. This equipment may be operated in all European countries. The 5150 - 5350 Mhz band is restricted to indoor use only.

Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. Consult airline staff about the use of Airplane Mode in flight.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

NOTE : Excessive sound pressure from earphones and headphones can cause hearing loss.



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

For other Medical Devices:

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

CAUTION

RISK OF EXPLOSION IF BATTERY IS REPLACED BY AN INCORRECT TYPE. DISPOSE OF USED BATTERIES ACCORDING TO THE INSTRUCTIONS.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、地図データ、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「Xi」「Xi ／クロッシィ」「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「おまかせロック」「ｉコンシェル」「spモード」「デコメ®」「エリアメール」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「mopera U」「ビジネスmopera」「トルカ」「おサイフケータイ」「iD」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「マチキャラ」「eトリセツ」「かざしてリンク」「dメニュー」「dマーケット」「dTV」「しゃべってコンシェル」「あんしん遠隔サポート」「フォトコレクション」「マイマガジン」「LIVE UX」および「おサイフケータイ」ロゴ、「dメニュー」ロゴ、「dマーケット」ロゴ、「ｉコンシェル」ロゴ、「しゃべってコンシェル」ロゴ、「エリアメール」ロゴ、「ドコモバックアップ」ロゴ、「トルカ」ロゴ、「iD」ロゴ、「eトリセツ」ロゴ、「メディアプレイヤー」ロゴ、「あんしん遠隔サポート」ロゴ、「フォトコレクション」ロゴ、「ドコモメール」ロゴ、「電話帳」ロゴ、「データ保管BOX」ロゴ、「スケジュール」ロゴ、「メモ」ロゴ、「マイマガジン」ロゴ、「ICタグ・バーコードリーダー」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。



- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。



- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- GoogleおよびGoogle ロゴ、Android、Google PlayおよびGoogle Play ロゴ、Googleマップ、Googleカレンダー、Google+およびGoogle+ロゴ、GmailおよびGmail ロゴ、YouTubeおよびYouTube ロゴは、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
  iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2016 All Rights Reserved.
- Disney elements: © Disney
  本体デザイン及び本体に内蔵されるコンテンツには、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社及びその親会社並びにこれらの関連会社（総称して「ディズニー」）の著作権その他の知的財産権が含まれます。利用条件は、各コンテンツの利用規約をご覧ください。Disney Mobileはディズニーの登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 10は、Microsoft® Windows® 10（Home, Pro, Enterprise, Education）の略です。
  - Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4ビデオ）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者から入手されたMPEG-4ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- JASRAC T-1650068
  ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社

オープンソースソフトウェア通知情報

本製品に搭載されているGPL、LGPL、MPL、およびその他のオープンソースのライセンスのもとで開発されたソースコードを取得するには、
http://opensource.lge.com をご参照ください。
ソースコードをはじめ、該当するすべてのライセンスの内容や著作権の表示、保障責任がないという表示をダウンロードできます。
本製品をお買い求めてから３年以内に、本製品に搭載されているソフトウェアのオープンソースコードをEメール（opensource@lge.com）にてお求めになる場合、媒体の費用や送料など、必要な最小限の費用をお支払いいただいてから、CD-ROMにてご提供いたします。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 他社のSIMカードを取り付ける

2 電源キーを２秒以上押し続ける

- ロック画面には「ネットワークロック中です」と表示されます。

3 画面ロックを設定している場合は、設定した解除方法を行う

4 「SIMネットワークのロック解除PIN」欄にSIMロック解除コードを入力▶「ロック解除」

- 「ネットワークロックを解除しました」と表示され、しばらくするとホーム画面が表示されます。
- SIMロックが解除され、他社のSIMカードが利用可能になります。

索引

ア

アイコンのカスタマイズ…… 64
アカウント…… 193
　削除する …… 193
　設定する …… 193
アクセスポイント…… 175
　確認する …… 175
　初期化する …… 176
　追加で設定する …… 176
アプリ画面…… 67
　アプリ一覧 …… 67
　アプリ画面の見かた …… 67
　アンインストール …… 74
　ホーム画面への追加 …… 74
アプリの権限…… 50
アプリの更新…… 243
暗証番号…… 190
あんしん遠隔サポート…… 236
位置情報…… 188
イルミネーション…… 178
エラーメッセージ…… 234
おサイフケータイ…… 122
主な仕様…… 244

カ

海外設定…… 223
海外利用…… 217
　相手からの電話のかけかた …… 222
　海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける …… 221
　帰国後の確認 …… 224
　国際ローミング（WORLD WING）…… 217
　国際ローミングの設定 …… 223
　事前設定 …… 218
　出発前の確認 …… 218
　滞在国外（日本含む）に電話をかける …… 220
　滞在国での確認 …… 218
　滞在国内に電話をかける …… 221
　滞在先で電話を受ける …… 222
　通信事業者の設定 …… 219
　データローミングの設定 …… 219
　ネットワークモードの設定 …… 219
　利用可能なサービス …… 217
外部機器接続…… 212
　その他の機器との接続 …… 215
　パソコンとの接続 …… 212
　プリンターとの接続 …… 214
各部の名称と機能…… 35
壁紙…… 66

カメラ…… 136
撮影画面の見かた …… 137
撮影するときのご注意 …… 136
静止画を撮影する …… 139
著作権・肖像権について …… 136
動画を撮影する …… 140
画面の表示方向を自動的に切り替える…… 48
画面のロック…… 180
画面表示／アイコンの見かた…… 58
カレンダー…… 155
設定を変更する …… 157
開く …… 155
予定を作成する …… 156
予定を変更／削除する …… 157
キャプチャー＋…… 62
ギャラリー…… 140
緊急速報「エリアメール」…… 113
削除する …… 114
受信したときは …… 113
設定する …… 114
表示する …… 114
緊急通報…… 89
言語とキーボード…… 194
公共モード（電源OFF）設定 …… 97
国際電話を利用する…… 90
一般電話へかける場合 …… 90
携帯電話へかける場合 …… 90
国際ローミング（WORLD WING）…… 217

サ

材質一覧…… 20
サウンド&お知らせ…… 177
システム…… 196
充電…… 40
ACアダプタで充電する …… 41
充電時間（目安）…… 41
充電について …… 40
パソコンで充電する …… 42
利用可能時間（目安）…… 41
商標…… 259
ショートカットキー…… 196
初期設定…… 57
スクリーンショット…… 48
ステータスアイコン…… 59
ステータスバー…… 58
ストレージとUSB …… 182
セーフモード…… 228
セキュリティ…… 188
設定メニュー…… 162
ソフトウェアアップデート…… 240
ソフトウェアキーボード…… 51
10キーキーボード …… 51
QWERTYキーボード…… 52
十字キーボード …… 53
手書き入力キーボード …… 54
文字入力の設定を変更する …… 55

タ

タスクマネージャー…… 75
タッチスクリーン…… 46
　操作 …… 46
　利用上の注意 …… 46
端末情報…… 200
知的財産権…… 258
着信…… 91
　アプリ起動中に着信があった場合 …… 92
　音声着信の場合 …… 91
　ビデオコール着信の場合 …… 91
著作権・肖像権について…… 258
通知LEDライト …… 58
通知アイコン…… 60
通知パネル…… 62
　クイック設定アイコンをカスタマイズする …… 63
　クイック設定アイコンを並び替える …… 63
　詳細を表示する …… 63
　閉じる …… 63
通話設定…… 97
通話中の操作…… 93
　音声通話の場合 …… 93
　ビデオコール通話の場合 …… 94
ディズニーマーケット…… 119
ディスプレイ…… 35
データ保管BOX …… 161
　バックアップする …… 161
　復元する …… 161
データローミング…… 219
テザリング…… 171
デバイス…… 177
テレビ（ワンセグ）…… 126
　視聴エリアを切り替える …… 134
　視聴画面の見かた …… 129
　設定を行う …… 135
　データ放送画面の見かた …… 131
　テレビリンクを利用する …… 134
　番組表を利用する …… 132
　見る …… 129
　録画した番組を視聴する …… 132
　録画予約／視聴予約する …… 133
電源を入れる…… 43
電源を切る…… 43
電卓…… 158
電池
　寿命 …… 41
電話…… 86
　緊急通報 …… 89
　国際電話を利用する …… 90
　通話中の操作 …… 93
　伝言メモ …… 96
　電話帳 …… 99
　電話を受ける …… 91
　電話をかける …… 86
　不在着信の相手に電話をかける／SMSを送信する …… 92

ポーズを入力する …… 88
履歴 …… 95
時計 …… 153
アラームを設定する …… 153
ストップウォッチを設定する …… 155
タイマーを設定する …… 154
ワールドクロックを設定する …… 154
ドコモnanoUIMカード …… 37
取り付ける …… 38
取り外す …… 39
ドコモ電話帳 …… 99
グループを追加／編集する …… 103
削除する …… 102
登録する …… 99
表示アカウントを変更する …… 102
マイプロフィールを登録する …… 104
連絡先をインポート／エクスポートする …… 104
連絡先を確認／利用する …… 101
ドコモのサービス／クラウド …… 186
ドコモバックアップ …… 159
microSDカード …… 159
データ保管BOX …… 161
ドコモメール …… 105
トラブルシューティング …… 225
トルカ …… 125

ナ

ネットワーク暗証番号 …… 191
ネットワークモード …… 219

ハ

パーソナル …… 186
パスキー（PIN） …… 207
パソコンとの接続 …… 212
バックアップとリセット …… 194
バックライト …… 43
バッテリーとパワーセーブ …… 183
比吸収率（SAR） …… 249
非常用節電モード …… 50
日付と時刻 …… 196
表示 …… 179
ファイル管理 …… 201
ファイル形式 …… 248
ファイルやフォルダの操作 …… 204
ブックマーク …… 117
ブラウザ …… 115
シークレットタブを開く …… 116
開く …… 115
ブックマークや履歴を活用する …… 117
メニューを利用する …… 116
プリンターとの接続 …… 214
防水／防塵性能 …… 29
ご使用にあたって …… 30

充電のときには …… 34
注意事項 …… 31
防水性能でできること …… 30
水抜きについて …… 32
ポーズ…… 88
ホームアプリの切り替えかた…… 75
ホーム画面…… 65
アプリやウィジェットなどの移動 …… 66
アプリやウィジェットなどの追加 …… 66
アプリやウィジェットなどのホーム画面からの削除 …… 66
壁紙の変更 …… 66
ホーム画面の追加 …… 65
ホーム画面の見かた …… 65
ホームスクリーン…… 180
ホームタッチボタン…… 47
本書のご使用にあたって…… 1
本体設定…… 162
本体付属品…… 2
本端末のご利用について…… 6
本端末を初期化する…… 195

マ

マイマガジン…… 84
マップ…… 152
開く …… 152
無線LAN（WLAN） …… 163
無線ネットワーク…… 162
メッセージ…… 105
メディアプレイヤー…… 142
音楽ファイルや動画を本端末にコピーする … 142
音楽を再生する …… 144
再生可能なファイル形式 …… 142
設定する …… 149
動画を再生する …… 146
開く …… 143
プレイリストを利用する …… 147
文字入力…… 51
モバイルデータ…… 169

ヤ

ユーザー補助…… 197
輸出管理規制…… 258

ラ

履歴…… 95
連絡先…… 101

ワ

ワンセグ…… 126

英数字

Bluetooth® …… 206
Bluetooth® テザリング …… 173
Chrome …… 115
Declaration of Conformity …… 255
docomo LIVE UX …… 76
　アプリ画面の見かた …… 80
　アプリの管理 …… 81
　「おすすめ」アプリのインストール …… 82
　すべてのアプリ表示 …… 83
　ホームアプリの情報 …… 85
　ホーム画面の管理 …… 77
　ホーム画面のバックアップと復元 …… 83
　ホーム画面の見かた …… 76
dマーケット …… 118
dメニュー …… 118
European Union Directives Conformance Statement …… 256
Eメール …… 108
　Eメールを作成して送信する …… 109
　アカウントを設定する …… 108
　アカウントを追加する …… 109
　受信したEメールを表示する …… 108
　設定を変更する …… 110
FAQ …… 225
FCC Statement for the USA …… 254
Gmail …… 112
Google Play …… 120
GPS …… 150
iDアプリ …… 126
Important Safety Information …… 256
microSDカード …… 202
　Googleアカウントの連絡先をdocomoのアカウントにコピーする …… 160
　初期化する …… 204
　取り付ける …… 202
　バックアップする …… 159
　復元する …… 160
NFC／おサイフケータイ …… 173
NFC通信 …… 210
PINコード …… 191
　設定する …… 192
　入力する …… 192
　変更する …… 192
PINロック …… 192
PINロック解除コード …… 191
Playストア …… 120
　アプリをアンインストールする …… 121
　アプリをインストールする …… 120
　アプリを購入する …… 120
Qスライドアプリ …… 49
Qメモ＋ …… 157
Radio Frequency (RF) Signals …… 252
SIMロック解除 …… 261
SmartShare Beam …… 215

設定 …… 215
ファイルを受信する …… 216
ファイルを送信する …… 215
SMS …… 105
受信する／読む …… 106
送信する …… 105
Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones …… 250
USBテザリング …… 171
VPN …… 174
削除する …… 175
接続する …… 175
追加する …… 174
常に使用する …… 175
編集する …… 175
Wi-Fi® …… 163
詳細設定を行う …… 168
接続する …… 164
切断する …… 165
追加する …… 165
Wi-Fi Direct® …… 167
Wi-Fi® Miracast対応機器 …… 216
Wi-Fi® テザリング …… 172
Windows Media Player …… 212
WORLD CALL …… 90

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなど静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

■ 駅のホームや道路などで歩きながらスマートフォンを使用すると、視野が極端に狭くなり、接触事故の原因となります。

■ スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ **マナーモード（バイブレートのみ、サイレント）→ P177**

操作音・着信音など本端末から鳴る音を消します。

※ ただし、シャッター音は消せません。

■ **公共モード（電源OFF）→ P97**

電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

■ **バイブ → P177**

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

その他にも、留守番電話サービス（P97）、転送でんわサービス（P97）などのオプションサービスが利用できます。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

オンラインでの各種お手続き・ご契約内容の確認など

■ 本端末から
dメニュー ▶「My docomo（お客様サポート）」▶「ドコモオンライン手続き」

■ パソコンから
My docomo（https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/）▶「ドコモオンライン手続き」内の項目を選択

● **システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。**
● **「ドコモオンライン手続き」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「ID ／パスワード」が必要です。**

海外での紛失、盗難、故障および各種お問い合わせ先（24時間受付）

■ ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600＊（無料）**

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※ DM-02Hからご利用の場合は、+81-3-6832-6600 でつながります（「+」は「0」をロングタッチします）。

■ 一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151＊**

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※ 主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

● **番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。**
● **紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。**
● **お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。**

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※ 一般電話などからはご利用になれません。

■ 一般電話などからの場合

0120-800-000

※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9:00 ～午後8:00（年中無休）

故障お問い合わせ・修理お申し込み先

■ ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※ 一般電話などからはご利用になれません。

■ 一般電話などからの場合

0120-800-000

※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間（年中無休）

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。
  ドコモホームページ　https://www.nttdocomo.co.jp/

試供品のお問い合わせ先

■ LGモバイルお客様ご相談センター

0120-011-167　受付時間　午前9:00 ～午後6:00（土・日・祝日・年末年始を除く）

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 試供品については、本書内でご確認ください。



マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。



危険です、歩きスマホ。



Li-ion00



キケン！水ぬれ充電

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　LG Electronics Inc.

'16.6（1.1版）
MFL69388301